

3 用途別実態把握の共通記載内容

■ 対象施設

本編の1章2章では、入間市が保有する公共施設(179施設・建物延床面積33.1万㎡)とインフラ資産(道路340.8万㎡、橋りょう1.9万㎡、上水道510km、下水道481km)を対象施設とし、将来の施設の建替え・改修にかかるコスト試算等を行っています。

3章では、入間市が保有する公共施設(179施設・建物延床面積33.1万㎡)について用途別の実態把握を行っています。

■ 用途別実態把握の構成

第3章の用途別実態把握では、下記の構成で整理しています。なお、施設によっては、省略される項目があります。

1) 施設概要

① 施設一覧

施設一覧では、当該用途の設置目的に加え、施設名称、住所、延床面積、建築年度など、各用途の施設情報を整理しています。

<記載例>

設置目的：	
市民活動センター	市民が主役の元気なまちづくりを推進するとともに、営利を目的としない自主的な社会貢献活動の支援と、さまざまな市民活動の交流の場としての活用を図ることを目的とする
男女共同参画推進センター	男女がお互いを尊重し、個性と能力を十分に発揮して、対等な立場で政治・経済・社会・文化など、あらゆる活動に参画することのできる社会、家事・育児・介護なども責任を分かち合い、支えあうことのできる男女共同参画社会の実現を目的とする
青少年活動センター	加治丘陵の豊かな自然の中で行う生活、自然、社会、科学、芸術、スポーツ、レクリエーションなどさまざまな体験活動を通じて、青少年の健全な育成を図るための社会教育施設として設置する

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)		建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・併 設施設	土地 所有	備考
							その他集 会施設		
豊岡 第一	1 市民活動センター	豊岡4-2-2	1,081.80	1,529.32	昭和55	RC造	●	市	平成28年度に 耐震工事完了
	2 男女共同参画推進 センター		447.52			RC造			
東金子	3 青少年活動セン ター	小谷田1681 - 1	2,579.80		昭和44	RC造		市	
合計			4,109.12						

② 事業内容

事業内容は、各施設の事業内容や施設機能を整理しています。

<記載例>

<市民活動センター>

市に登録されている NPO 法人や市民活動団体が、打合せや講座・教室の開催を行っています。

- ・ まちづくり勉強会・市民活動支援講座・人財塾等
- ・ 市民活動団体ポスター展及び交流会・各種ワークショップ等

<男女共同参画推進センター>

男女共同参画活動を行っている団体を対象に施設の提供や講座・教室の開催（主催イベント）、相談事業等を行っています。

- ・ 男女共同参画に関する講座、女性就労・キャリアアップ支援事業、LGBTQ講演会等
- ・ 女性相談：悩みごと相談、就労相談

③ 開館時間・開館日数

開館時間・開館日数は、施設ごとの開館（開庁）時間、休館日、開館日数を整理しています。

<記載例>

施設名	開館時間	休館日	開館日数
市民活動センター	午前 9 時～ 午後 9 時 30 分	年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）	359 日
男女共同参画 推進センター			
青少年活動センター	午前 9 時～午後 10 時 （日帰り使用時間）		359 日

※開館日数は入間市施設カルテ令和 4（2022）年度の利用関連情報

④ 予約方法

予約方法は、各施設の利用方法や予約方法、利用料金を整理しています。

<記載例>

市民活動 センター	利用には団体の登録が必要です。 活動室は利用月の 3 か月前から予約を受け付けています。 利用できるのは特定非営利活動法人（NPO 法人）、公共又は公益活動を行う団体、まちづくりのためのボランティア団体です。
男女共同参画 推進センター	会議室を使用するには使用許可申請書の提出が必要です。 会議室は、市内または所沢市、飯能市、狭山市、日高市で男女共同参画の活動を行っている団体が利用できます。

⑤ 配置状況

配置状況は、施設の配置状況を整理しています。

<記載例>

図表 配置状況

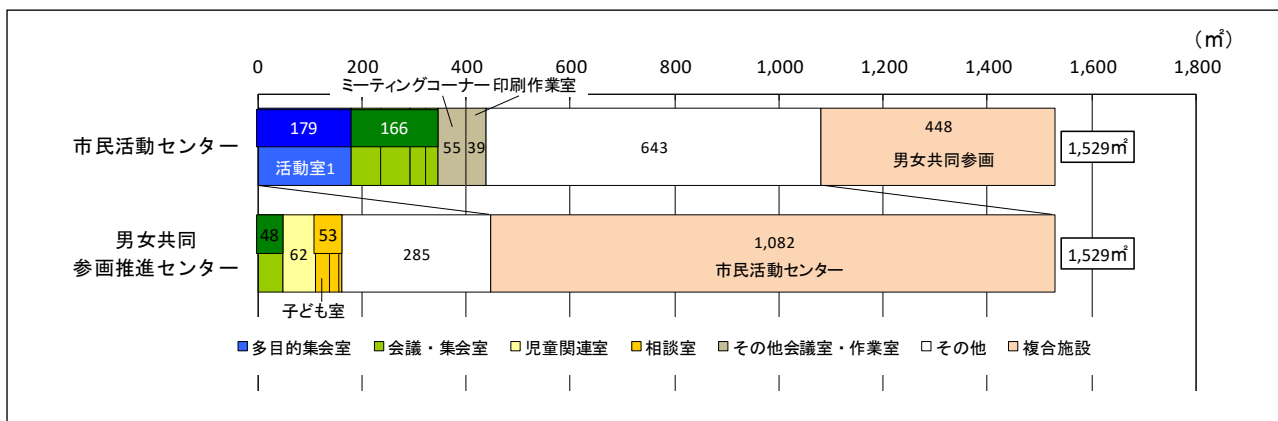


⑥ スペース構成

スペース構成は、施設ごとの諸室機能、延べ床面積を整理しています。

<記載例>

図表 スペース構成



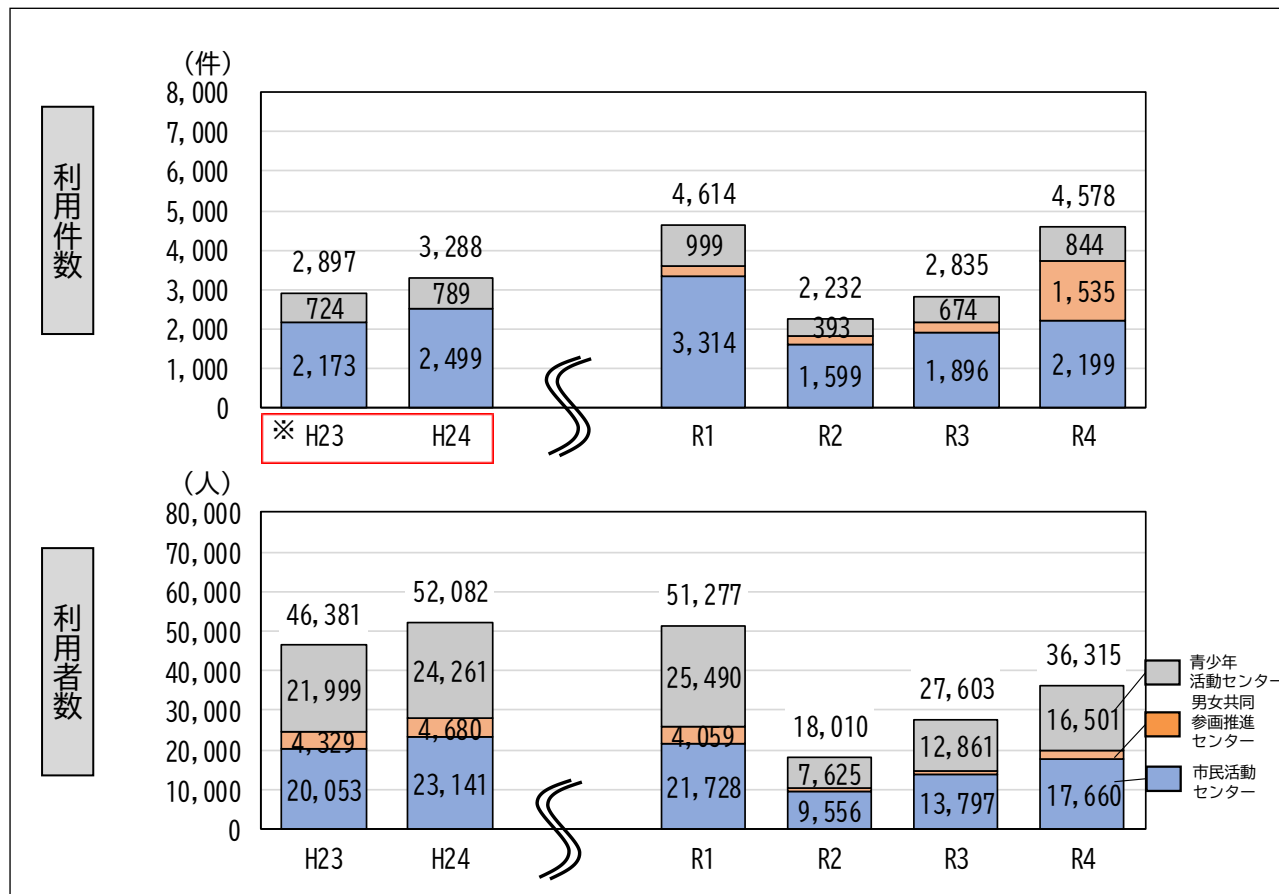
2) 実態把握

① 利用状況

利用状況は、利用者数・利用件数の利用推移、施設別利用状況、施設別稼働率などを整理しています。

<記載例>

図表 利用件数及び利用者数の推移



② 運営状況

運営状況は、施設の管理方法、運営人員を整理しています。

<記載例>

図表 運営状況の記載例

		市民活動センター	男女共同参画推進センター	青少年活動センター	合計
	運営形態	直営	直営	直営	
管理運営に要する人員	一般職員(正規職員)	0	5	1	6
	再任用職員	0	1	1	2
	嘱託職員	0	0	1	1
	パート職員	0	8	0	8
	計	0	14	3	17

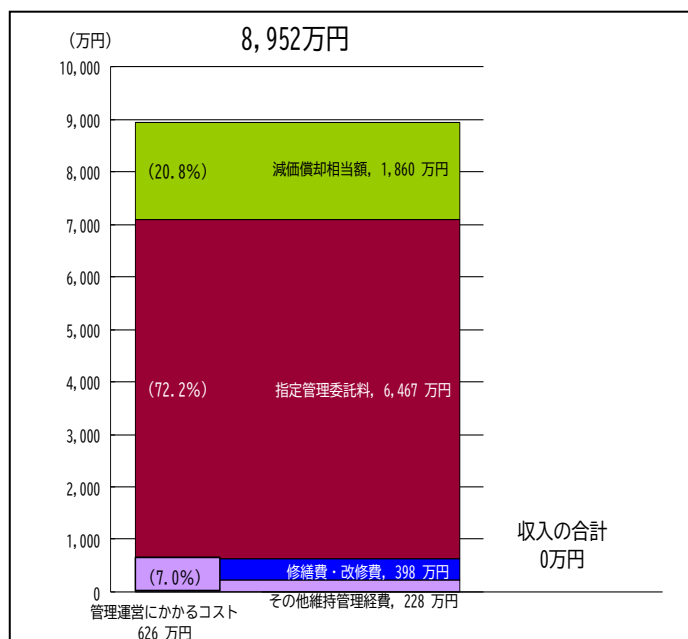
③ コスト情報

コスト情報は、図表の中で「管理運営にかかるコスト」として建物にかかるコストの改修費や修繕費を表記しています。

<記載例>

図表 児童センター トータルコスト

Ⅰ.現金収支を伴うもの【コストの部】		児童センター
か管理運営にかかるコスト	修繕費	3,982,737
	委託費	1,870,000
	その他物件費	409,463
	管理運営にかかるコスト	6,262,200
指定管理委託料		64,665,338
現金収支を伴うコスト 計		70,927,538
【収入の部】		
収入	使用料収入	0
収入の合計		0
Ⅱ.現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	18,595,600
Ⅲ.総括		
コストの部合計(トータルコスト)		89,523,138

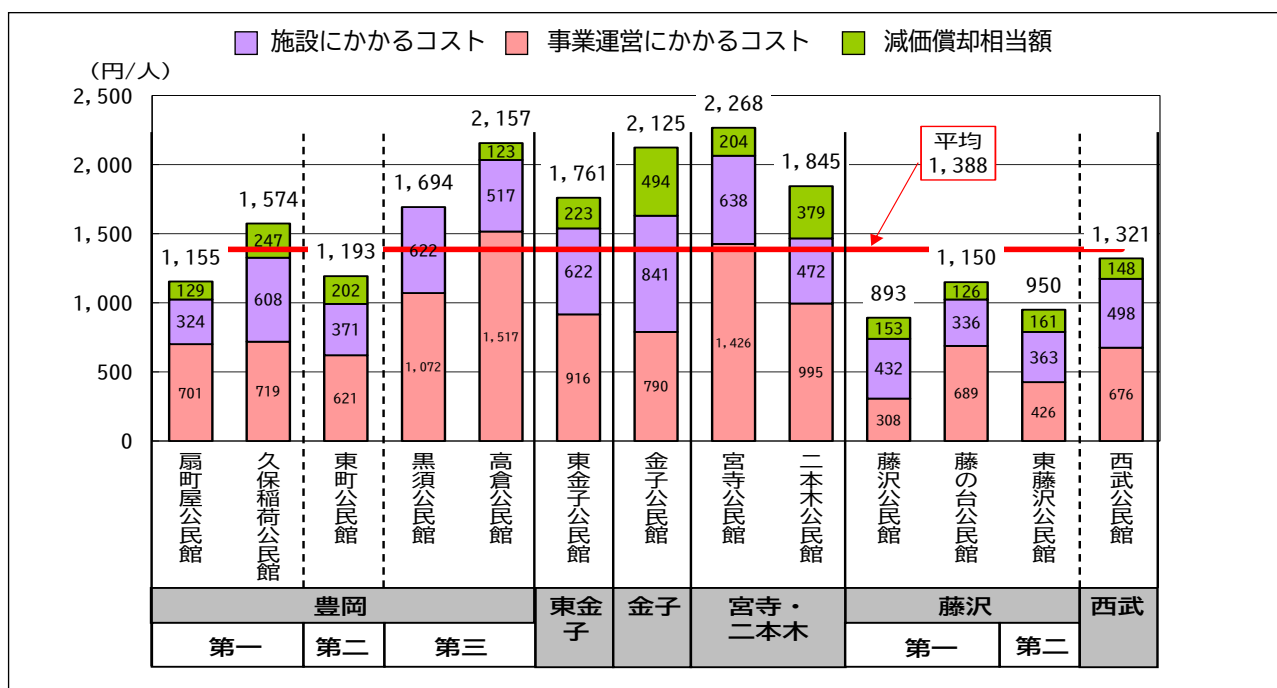


3) 分析

分析は、利用1件当たりのコスト、利用者1人当たりのコストを算出した結果を、分析の手掛かりとし、施設別平均コストを示しています。施設別平均コストの算出方法は、以下の通りです。

①利用1件当たりの平均コスト：(用途全体のトータルコスト) ÷ (用途の全利用件数)

②利用1人当たりの平均コスト：(用途全体のトータルコスト) ÷ (用途の全利用者数)



また、分析の最後に、各用途の実態について整理しています。

<記載例>

児童センター

■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 利用者数は、令和2（2020）年度の新型コロナウイルスの影響で大きく減少しました。令和3（2021）年度、令和4（2024）年度と増加傾向となっていますが、新型コロナウイルス影響前の水準まで回復していません。

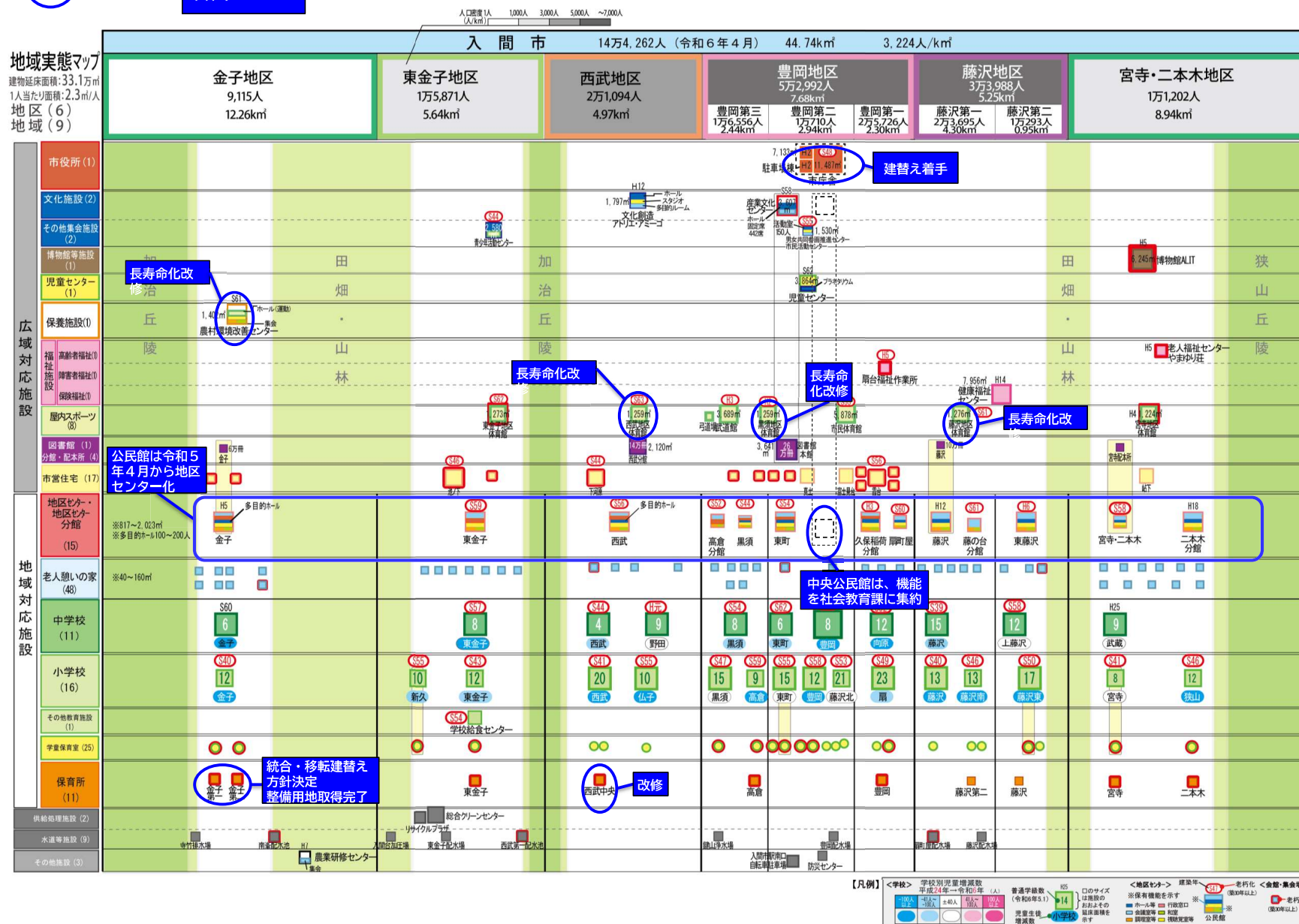
<コスト状況>

- ② 児童センターのトータルコスト 8,952 万円のうち 72%が指定管理委託料となっています。
- ③ 平成24（2012）年度と比較するとトータルコストは若干減少していますが、利用者数の減少により1人当たりのトータルコストは増加しています。

4) 課題の明確化

- 施設が老朽化していることから、今後は更にコストがかかる可能性が考えられます。また、少子高齢化、利用対象者の拡大や地域ニーズの変化などの社会情勢の変化に対して柔軟に対応していく必要があります。
- 施設の老朽化状況を勘案しながら効果的・効率的な事業運営や機能維持、利用者のニーズに応じたサービスを再検討し、今後の施設機能の方向性、サービス・事業の規模を検討する必要性があります。

地域実態マップ
建物延床面積:33.1万㎡
1人当たり面積:2.3㎡/人
地区(6)
地域(9)



あずま幼稚園の廃止、黒須保育所（公設民営）の建物譲渡・民営化。

5 主な施設の実態把握

(1) 市庁舎

1) 施設概要

① 施設一覧

市庁舎は、入間市に暮らす市民のために、生活福祉や保健・年金、子育て・教育などに関することや、道路や橋の維持補修・整備、飲料水の供給、ごみ処理などの業務などの管理・サービスを提供しています。管理運営は、市の直営となっています。なお、支所及び出張所機能は、令和5(2023)年4月より地区センターへ機能移転を行っています。

設置目的：さまざまな行政課題を解決するとともに、市民生活に不可欠なサービスを提供することを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	土地 所有	備考
豊岡 第一	1 市庁舎	豊岡1-16-1	22,491.12	昭和48	SRC造	市有	

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

	業務内容
企画部	入間市の総合計画の立案・検討、行政改革の推進・行政評価、情報化施策、情報システムの開発・管理など
総務部	市役所の管理、情報の管理・公開、職員の配置、市民税等の証明、公共施設マネジメントなど
市民生活部	協働のまちづくり、国際交流の推進、男女共同参画の推進、戸籍の登録・管理、印鑑登録、パスポートの発行、国民年金、地区センターの管理など
危機管理安全部	災害対策基本法、防災会議及び災害対策本部などの防災・防犯に関すること
環境経済部	環境政策の立案、環境基本計画の検討、地球温暖化対策、犬の登録等の管理、ごみ処理および処分、農業の振興、商工業の振興など
都市整備部	都市計画、住宅施策、都市公園等の設置および管理、道路・水路・橋梁の管理、道路等の維持補修・整備、都市計画法に基づく申請、土地地区画整理事業の計画調整など
福祉部	福祉施策の企画、調査及び調整、生活困窮等の相談受付、生活困窮者の自立支援、障害者の福祉・手当など
こども支援部	児童手当、児童扶養手当等の子育て支援、保育所・保育園・地域型保育事業、青少年教育、学童保育室、放課後子ども教室など
健康推進部	健康福祉センターの施設管理、夜間診療所の管理運営、母子健康手帳交付予防接種、市民スポーツの振興・指導・育成、国民健康保険など
上下水道部	水道料金・下水道使用料に関すること、送配水施設・浄水施設の維持管理、水道施設、送配水管の整備など

その他事務局	本会議、委員会の運営、会議録の作成、選挙に関すること、事務事業の執行に関する監査・検査・審査、農地法に関することなど
教育部	学校施設等の管理・営繕、学校事務に関すること、教職員の人事、学校給食、社会教育の振興、博物館、図書館の管理に関することなど

③ 開庁時間・開庁日数

開庁時間	閉庁日	開庁日数
【平日】 午前 8 時 30 分～ 午後 5 時 15 分まで 【休日】 毎月第 2、第 4 土曜日 午前 8 時 30 分～ 午前 12 時まで	土曜日、日曜日・祝日、 年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)	243 日

※開館日数は入間市施設カルテ令和 4（2022 年）度の利用関連情報

④ 配置状況

図表 市庁舎位置図



2) 実態把握

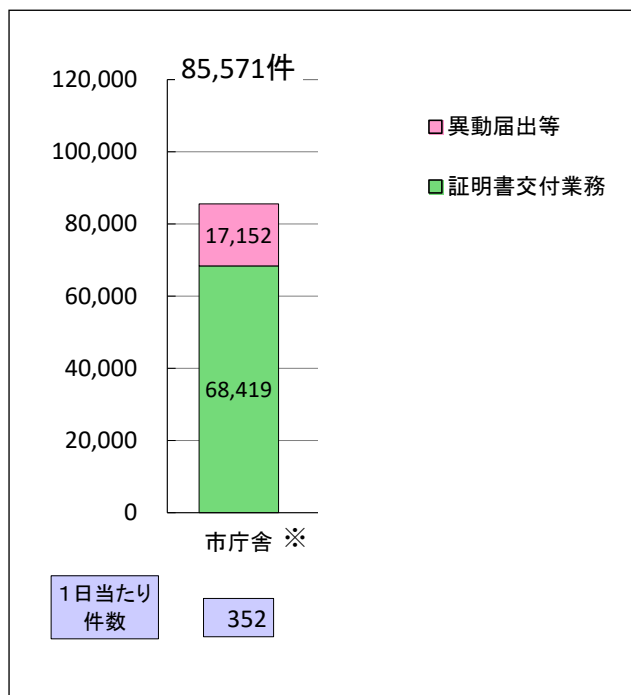
① 利用状況

令和4（2022）年度の窓口利用件数は、8万5,571件、1日当たりの利用件数は、352件/日となっており、平成24（2012）年度と比較すると、年間の窓口利用件数は約3万件減少しています。この要因として、DXの取組による証明書のコンビニ交付及びマイナンバーの普及が挙げられます。

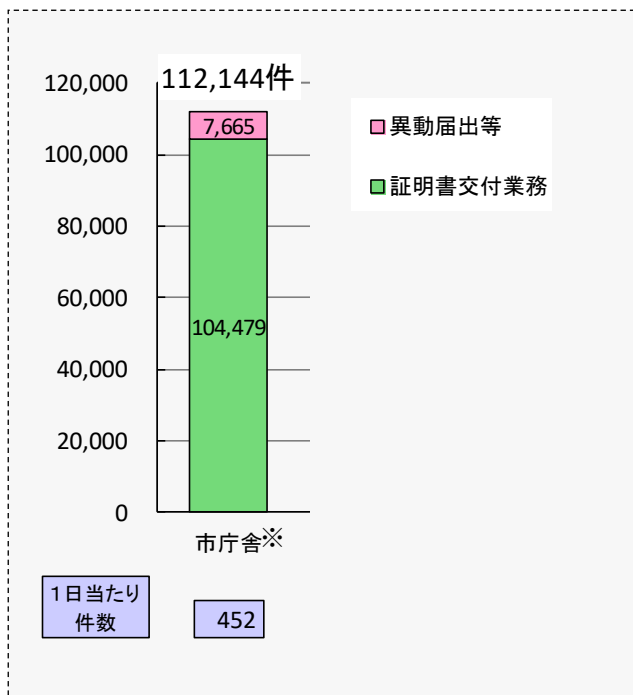
取扱業務ごとの内訳をみると、令和4（2022）年度は平成24（2012）年度と比較すると、異動届出等の交付が増加しています。

図表 年間利用件数（令和4（2022）年度）

【参考】年間利用件数（前回白書【平成24（2012）年度】）



※市民課利用件数のみを集計しています



出典：入間市統計書

② 運営状況

■ 運営人員

市の業務は直営です。

本庁舎の維持管理に携わる運営人員の内訳として、正規職員が4人、パート職員が1人となっています。

図表 運営人員（令和4（2022）年度）

(人)	
	市庁舎
運営形態	直営
一般職員（正規職員）	4
パート職員	1
計	5

③ コスト情報

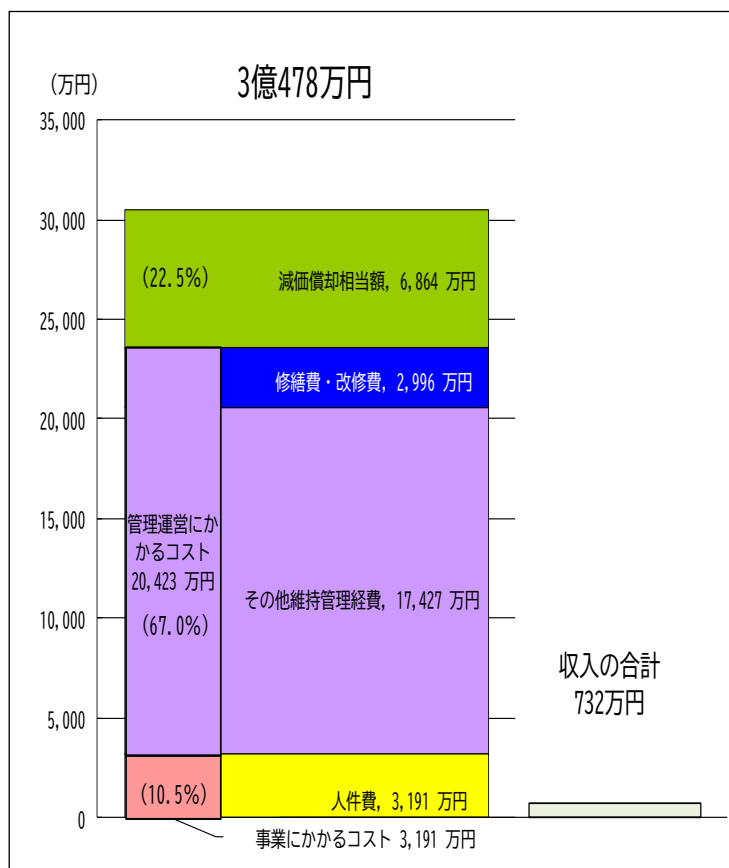
■ 行政窓口の運営にかかるコスト状況

年間トータルコストは、3 億 478 万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは 2 億 423 万円（67%）、事業にかかるコストは 3,191 万円（11%）、減価償却費相当額は 6,864 万円（23%）です。

図表 施設別行政コスト計算書（令和 4（2022）年度） 図表 施設のトータルコスト（令和 4(2022)年度）

(円)		
I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		
かかるコスト 管理運営に	修繕費	6,561,513
	改修費	23,400,000
	光熱水費	77,144,785
	委託費	79,062,949
	使用料及び賃借料	3,003,944
	その他物件費	15,058,666
	管理運営にかかるコスト	204,231,857
事業にかかるコスト	人件費	31,913,000
	事業にかかるコスト	31,913,000
事業運営にかかるコスト		31,913,000
現金収支を伴うコスト 計		236,144,857
【収入の部】		
収入	使用料収入	7,320,899
収入の合計		7,320,899
II. 現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	68,635,507
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）		304,780,364



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 窓口利用件数は、8万5,571件で、平成24（2012）年度と比較して約3万件減少しています。その要因として、DXの取組による証明書のコンビニ交付及びマイナンバーの普及が挙げられます。

<コスト状況>

- ② トータルコストは、3億478万円のうち67%が管理運営にかかるコストとなっています。庁舎は、耐震性能不足が確認されたことから、庁舎の建替え整備が検討されており、整備費用の捻出によるコストの増加が予想されます。

3) 課題の明確化

- 市庁舎A・B棟の耐震化に向けて様々な整備方法を検討した結果、防災性能や市民サービスの向上、費用対効果といった視点から、新庁舎整備として既存のC棟は使い続けA・B棟を現在の敷地内で建替える方針を定め、現在事業を実施中です。その際、現在提供しているサービスと施設機能を維持しつつ、市民の利便性を考慮したワンストップ窓口化を検討する必要があります。
- 新庁舎の特徴として、窓口の低層階（1・2階）への配置、関連窓口の近接化、相談や打合せへの職員が出向く対応、デジタル技術やデータの駆使、防災拠点としての機能の充実、誰もが利用しやすい施設、市民協働棟の設置などの実現を目指しています。

(2) 地区センター・地区センター分館

1) 施設概要

① 施設一覧

地区センターは、地域住民の利便性向上や福祉の発展を目的に、「支所機能」「公民館機能」「自治振興支援機能」「防災拠点機能」「福祉総合相談窓口機能」「地域包括支援センター」の6つの機能を備えた複合施設です。

本市では、地区公民館13館、支所5か所、出張所2か所、地域包括支援センター9か所の施設を9地区センター・4分館へ令和5(2023)年4月に再編しました。

設置目的：市民の主体的なまちづくり活動及び学習活動を支援するとともに、市民相互の交流や連携の促進を図り、もって地域の活性化と市民福祉の増進に寄与することを目的とする

図表 【地区センター】施設一覧

地区		名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合施設	土地 所有	備考	利用件数 (件)
							図書館			
豊岡	第一	1 扇町屋地区センター	扇町屋1-9-34	985.75	昭和60	RC造		市有		3,075
	第二	2 東町地区センター	東町3-1-35	1,053.35	昭和54	RC造		賃貸借 (一部)	令和5年度改修完了	2,995
	第三	3 黒須地区センター	黒須2-3-13	817.70	昭和44	RC造		市有		1,918
東金子		4 東金子地区センター	小谷田77-3	1,421.54	昭和59	RC造		賃貸借 (一部)	令和5年度改修完了	2,507
金子		5 金子地区センター	寺竹535-1	1,802.35	平成5	RC造	図書館	賃貸借 (一部)		2,410
宮寺・ 二本木		6 宮寺・二本木地区センター	宮寺2405-1	898.02	昭和58	RC造	配本所	市有		1,311
藤沢	第一	7 藤沢地区センター	下藤沢5-17-1	3,097.12	平成12	RC造	図書館	市有		5,295
	第二	8 東藤沢地区センター	東藤沢3-19-19	1,064.05	平成6	RC造		市有		3,556
西武		9 西武地区センター	野田496	1,340.33	昭和56	RC造		市有		2,404
合計				12,480.21						

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

図表 【地区センター分館】施設一覧

地区		名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合施設	土地 所有	備考
							図書館 配本所		
豊岡	第一	1 扇町屋地区センター 久保稲荷分館	久保稲荷3-9-3	1,125.77	平成3	RC造		賃貸借	
	第三	2 黒須地区センター 高倉分館	高倉4-6-20	641.53	昭和52	RC造		市有	
宮寺・ 二本木		3 宮寺・二本木地区センター 二本木分館	二本木256-1	1,216.70	平成18	RC造		市有	
藤沢 第一		4 藤沢地区センター 藤の台分館	上藤沢406-31	728.08	昭和61	RC造		市有	
合計				3,712.08					

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和4(2022)年度固定資産台帳

② 事業内容

地区センターでは、次の6つの機能を提供しています。

窓口でできる行政手続き (支所機能)	・証明書(住民票・戸籍・市税等)の交付 ・住民異動・戸籍などの届出 ・国民健康保険の手続き ・各種収納業務(市税、保育料など) ・マイナンバーカードの一部手続き(交付申請書の発行) ・コミュニティバス特別乗車証の交付
イベント・貸館 (公民館機能)	・サークル活動、公民館活動への支援 ・教室、講演会などの学びの場の提供 ・「人」「団体」をつなぎ、交流の輪を広げる支援 ・会議室等の貸出し
自治振興 (自治振興支援機能)	・区・自治会への支援 ・地域防犯活動への支援 ・コミュニティ活動団体への支援 ・地域で活動する人や団体をつなぎ、地域のまちづくりを協議する機会を創出
防災機能 (防災拠点機能)	・災害時は地域の拠点(現場本部)として災害対策本部と地域、避難所等の中継し、減災対応 ・平常時は自主防災会を支援、地区自主防災連絡会の備蓄品の管理等及び危機管理課と連携した防災訓練を実施
福祉総合相談 (福祉総合相談窓口機能)	・担当が不明な困りごと等を身近で相談できる窓口 ・地域センターでタブレット(ビデオ通話アプリ)を活用し、市役所担当職員の顔が見えるオンライン相談を実施 ・適切な窓口を相談者に紹介。必要な手続き・届出の支援(社会福祉協議会、地域包括支援センター等との連携)
地域包括支援センター	・介護保険に関する相談 ・介護予防に関する支援・事業 ・高齢者の虐待防止や早期発見 ・高齢者の人権や財産の保護等

※分館について

分館は、令和10(2026)年度末まで貸施設として利用でき、それまでは公民館事業を実施しますが、市の主催事業は分館から地区センターに徐々に移行することとなっています。

③ 開館時間・開館日数

開館時間	休館日	開館日数
午前 8 時 30 分～午後 10 時	祝日及び年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）	344 日

※開館日数は入間市施設カルテ令和 4（2022）年度の利用関連情報

④ 予約方法

貸館については、各施設ともあらかじめ利用申し込み手続きが必要です。使用する日の前月の 1 日から利用日までインターネット、携帯電話やロビー端末等から公共施設予約システムを用いて仮予約を行い、窓口で申請手続きを行うことで利用することができます。

※初めて利用する時は、使用したい施設に出向き、利用者の登録手続きをします。登録完了後、利用者登録カードを受け取り、公共施設予約システムが利用可能となります。

福祉総合相談は、事前に地区センターへ電話し、予約した方がスムーズに相談できます。

■ 使用料金

各施設とも、原則として有料です。登録している社会教育団体等、利用の目的・利用団体等によっては使用料の減免制度があります。

	使用料(1 時間当たり)
大会議室	600～800 円
中会議室	200～400 円
会議室(和室)	200～400 円
会議室(洋室)	200～600 円
料理実習室	400～600 円
工作室	200～400 円
視聴覚室	400 円
弓道場	1,200 円
スタジオ	400 円
移動式観覧席	800 円
舞台照明	1600 円
陶芸窯	5,000 円/回

⑤ 配置状況

地区センターは、9地区に1施設ずつ設置されています。地区センター分館は、扇町屋地区、黒須地区、藤沢地区、宮寺・二本木地区に設置されています。

図表 地区センター位置図



■ 地区センターの基本対象区域

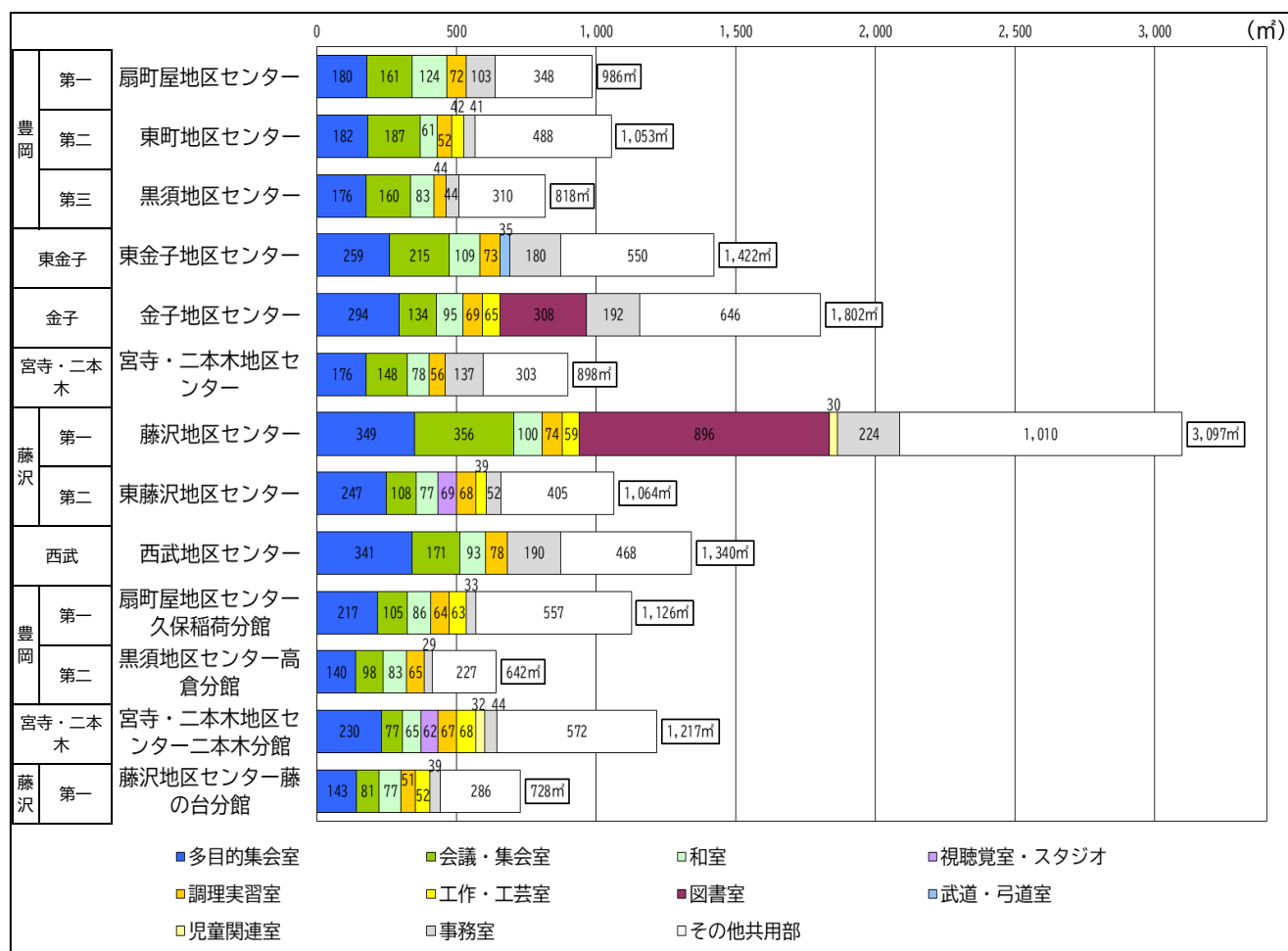
- ・扇町屋地区センター・・・扇町屋、扇台、久保稲荷、豊岡、善蔵新田
- ・東町地区センター・・・向陽台、東町
- ・黒須地区センター・・・河原町、宮前町、黒須、春日町、鍵山、高倉
- ・東金子地区センター・・・小谷田、新久、狭山ヶ原、牛沢町、森坂、上小谷田
- ・金子地区センター・・・木蓮寺、南峯、寺竹、金子中央、西三ツ木、三ツ木台、上谷ヶ貫、下谷ヶ貫、花ノ木、中神、根岸
- ・宮寺・二本木地区センター・宮寺、二本木、狭山台、駒形富士山、高根
- ・藤沢地区センター・・・上藤沢、下藤沢
- ・東藤沢地区センター・・・東藤沢
- ・西武地区センター・・・野田、仏子、新光

⑥ スペース構成（地区センター）

地区センター・地区センター分館の規模は、黒須地区センター高倉分館の 642 m²から藤沢地区センターの 3,097 m²となっています。すべての地区センター・地区センター分館で、多目的ホール機能として 140 m²～349 m²程度の平土間タイプで演台とピアノを常設している多目的集会室を保有しています。その他の主な保有スペースは、会議・集会機能として会議室・学習室・和室、その他に調理室・工作室・視聴覚室となっています。

金子地区センターと藤沢地区センターは、図書館分館が複合化しており、宮寺・二本木地区センターには配本所が設置されています。

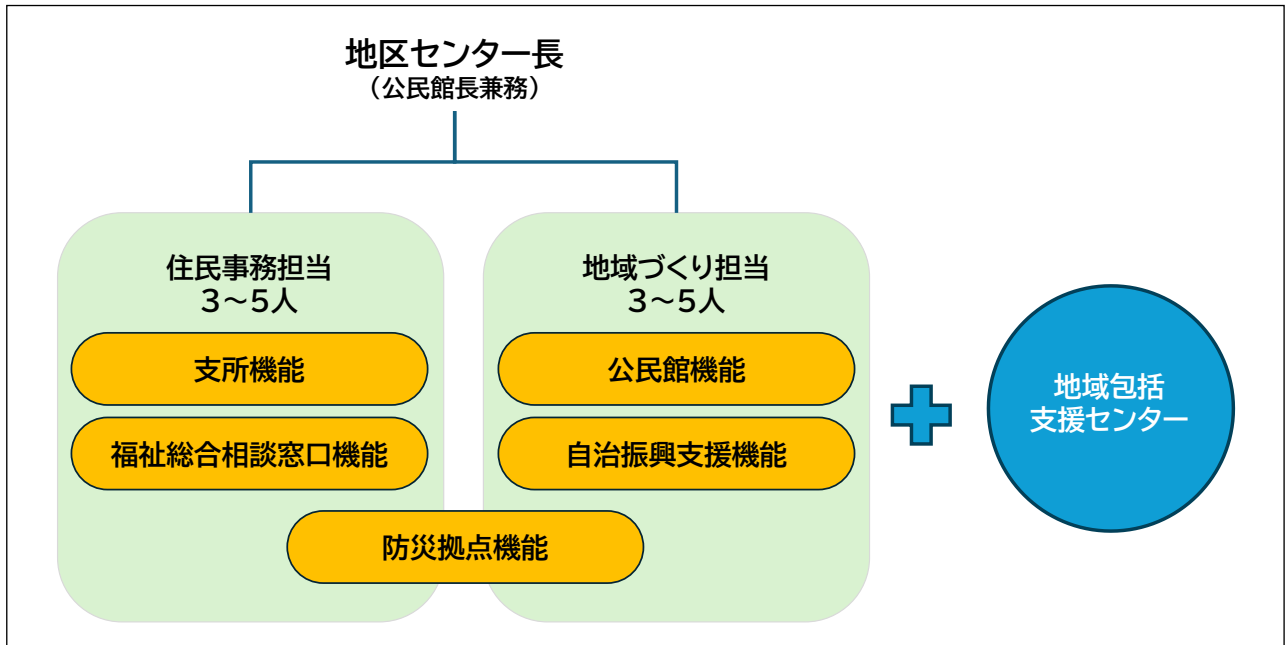
図表 スペース構成（令和 5（2023）年度）



⑦ 運営状況

地区センターの管理運営は、全 13 施設（分館含む）で市の直営となっています。一部、分館の窓口業務は委託業者が行っています。

地区センター長（公民館長兼務）のもと、住民事務担当 3～5 人、地域づくり担当 3～5 人の職員が従事し、6 つの機能を 1 つの施設として連携して運営しています。



2) 実態把握

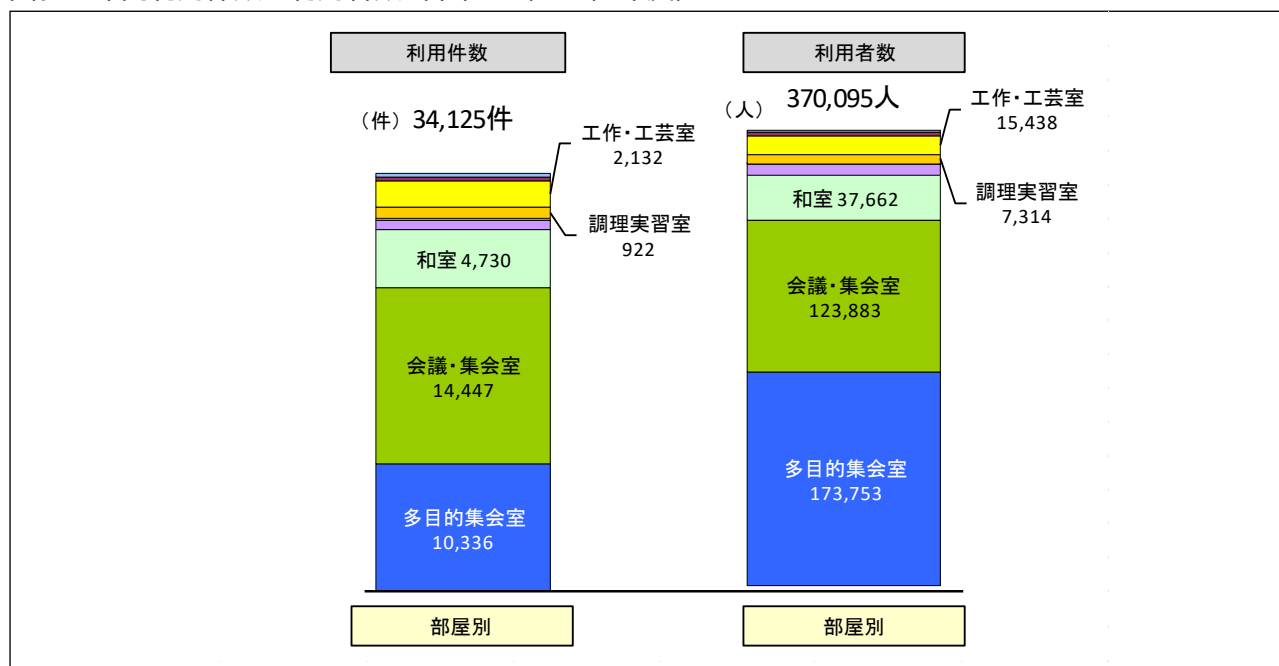
地区センターは令和 5（2023）年 4 月に供用開始のため、実態把握は令和 4（2022）年度までの「公民館」と「支所」について整理します。

① 利用状況【公民館機能】

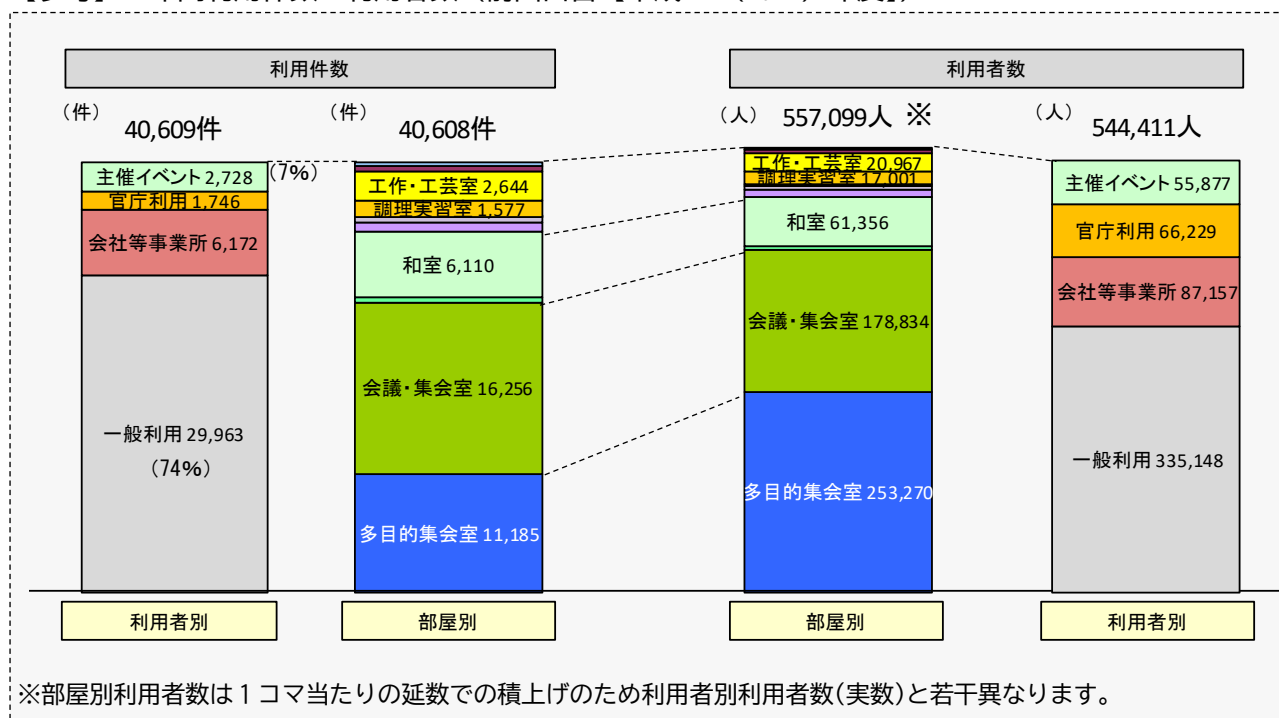
■ 全体の利用状況

令和 4（2022）年度の公民館の全体利用件数は 3 万 4,125 件、利用者数は 37 万 95 人です。
平成 24（2012）年度と比較すると、利用者件数、利用者数とも減少しています。

図表 年間利用件数・利用者数（令和 4（2022）年度）



【参考】 年間利用件数・利用者数（前回白書【平成 24（2012）年度】）

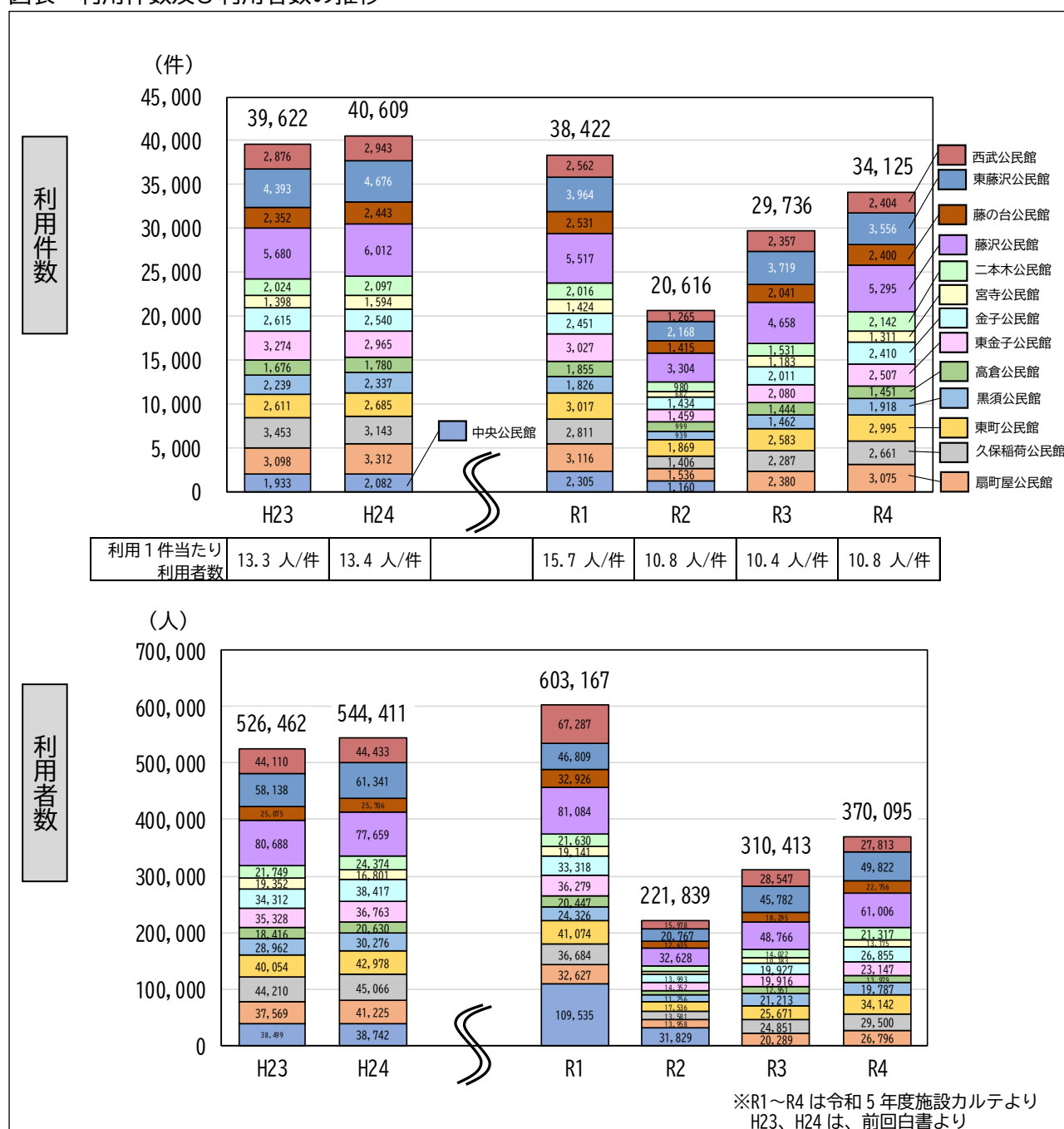


■ 利用推移

利用件数の推移は、平成 23（2011）年度 3 万 9,622 件、平成 24（2012）年度 4 万 609 件、令和元（2019）年度 3 万 8,422 件とほぼ横ばいで推移していますが、令和 2（2020）年度は新型コロナウイルス感染症により 2 万 616 件と減少し、令和 3（2021）年度も利用人数の制限を行ったため 2 万 9,736 件にとどまり、令和 4（2022）年度になって 3 万 4,125 件となりました。また利用者数も同様に、令和 2（2020）年度は 22 万 1,839 人に減少し、令和 3（2021）年度は 31 万 413 人、令和 4（2022）年度は 37 万 95 人と増加傾向にあります。

利用 1 件当たりの利用者数は、平成 23（2011）年度、平成 24（2012）年度は約 13 人/件でしたが、令和 4（2022）年度は約 11 人/件と微減となっています。

図表 利用件数及び利用者数の推移



※令和 2（2020）年度の利用関連情報は、新型コロナウイルスの影響を受けて

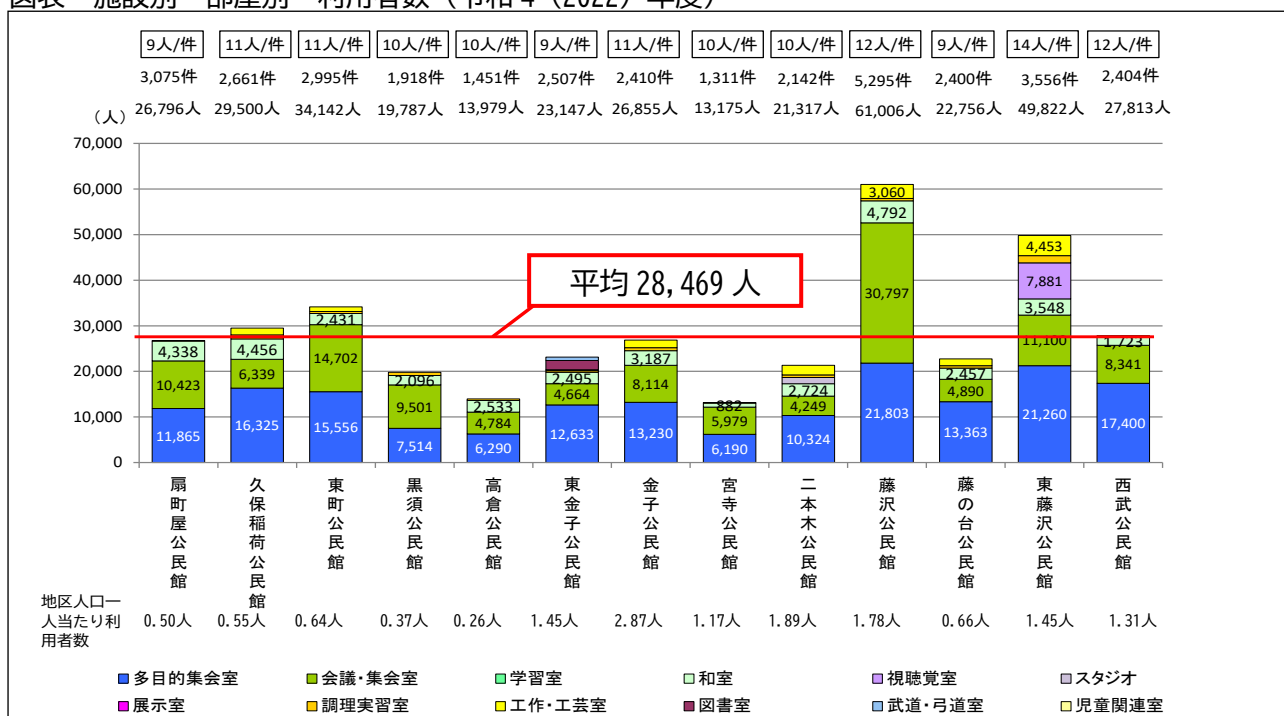
■ 施設別の利用状況

令和4（2022）年度の施設別利用件数と利用者数をみると、利用件数は藤沢公民館が5,295件、利用者数についても藤沢公民館が6万1,006人と最も多くなっています。

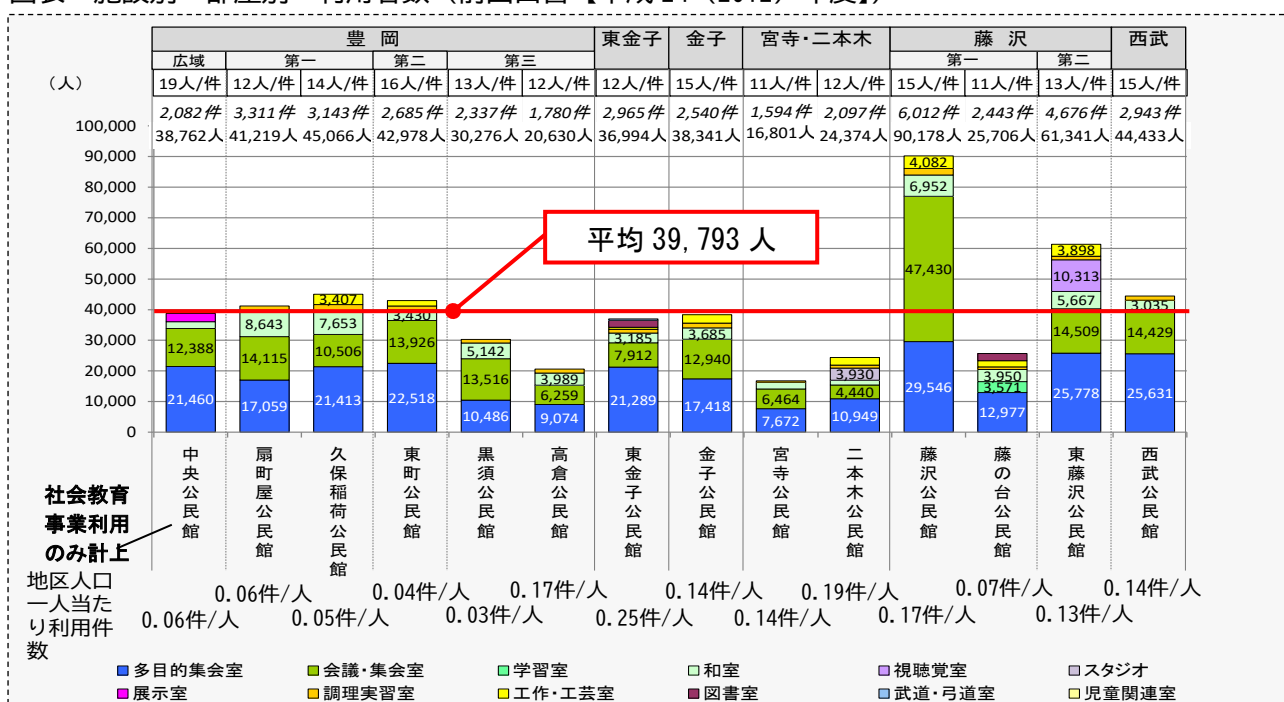
平成24（2012）年度も利用件数・利用者数ともに藤沢公民館が最も利用の多い施設となっています。

地区人口1人当たりの利用者数は、高倉公民館の0.26人から金子公民館の2.87人とばらつきがあります。

図表 施設別・部屋別 利用者数（令和4（2022）年度）



図表 施設別・部屋別 利用者数（前回白書【平成24（2012）年度】）

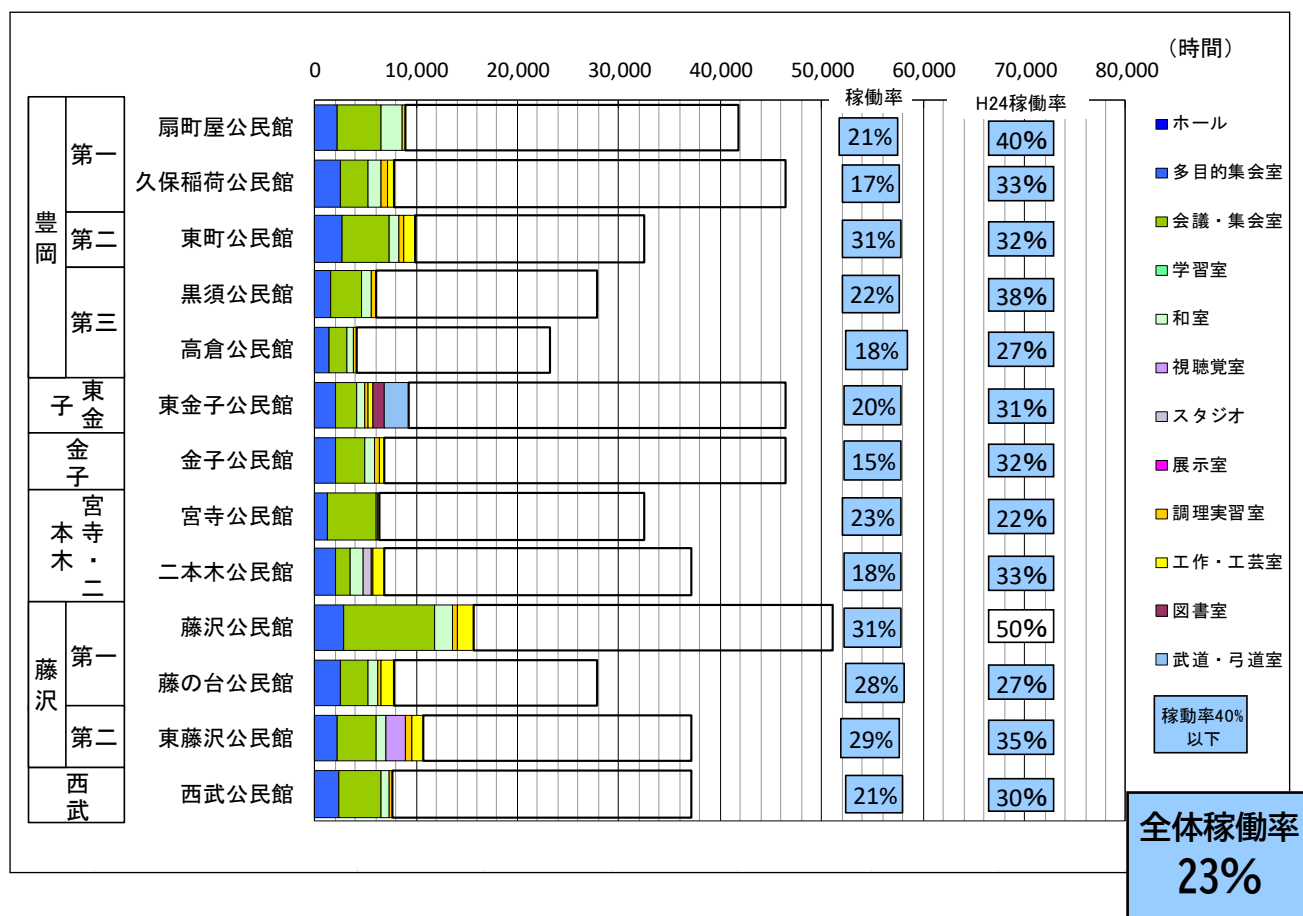


■ 施設別稼働率

公民館全 13 施設の全体稼働率は約 23%です。施設別の稼働率は金子公民館の約 15%から東町公民館と藤沢公民館の約 31%となっています。東町公民館と藤沢公民館を除く 11 施設で 30%以下の稼働率となっています。

平成 24（2012）年度の稼働率と比較すると、令和 4（2022）年度は平成 24（2012）年度より全体的に稼働率が減少しています。平成 24（2012）年度には、稼働率が 50%あった藤沢公民館も令和 4（2022）年度には 31%と 19 ポイントも減少しています。

図表 施設別稼働率（令和 4（2022）年度）

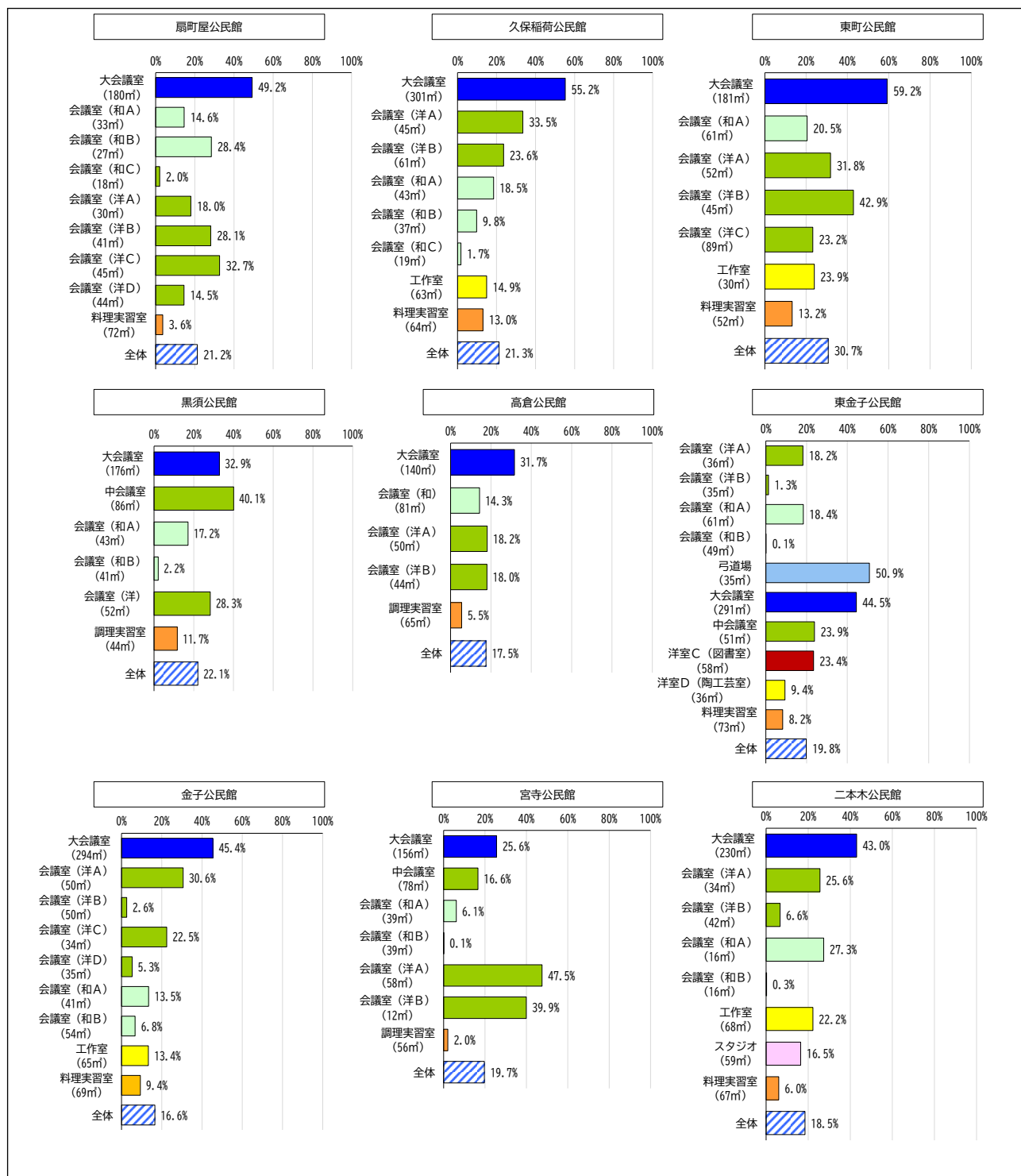


■ 地区公民館施設別部屋別稼働率

公民館 13 施設の部屋別稼働率は黒須公民館、東金子公民館、宮寺公民館を除き、大会議室の稼働率が各施設の稼働状況の中で最も高くなっています。大会議室は概ね 150 m²から 350 m²の多目的に使用できる諸室であるため、他の諸室に比べ利用が多いものと思われます。

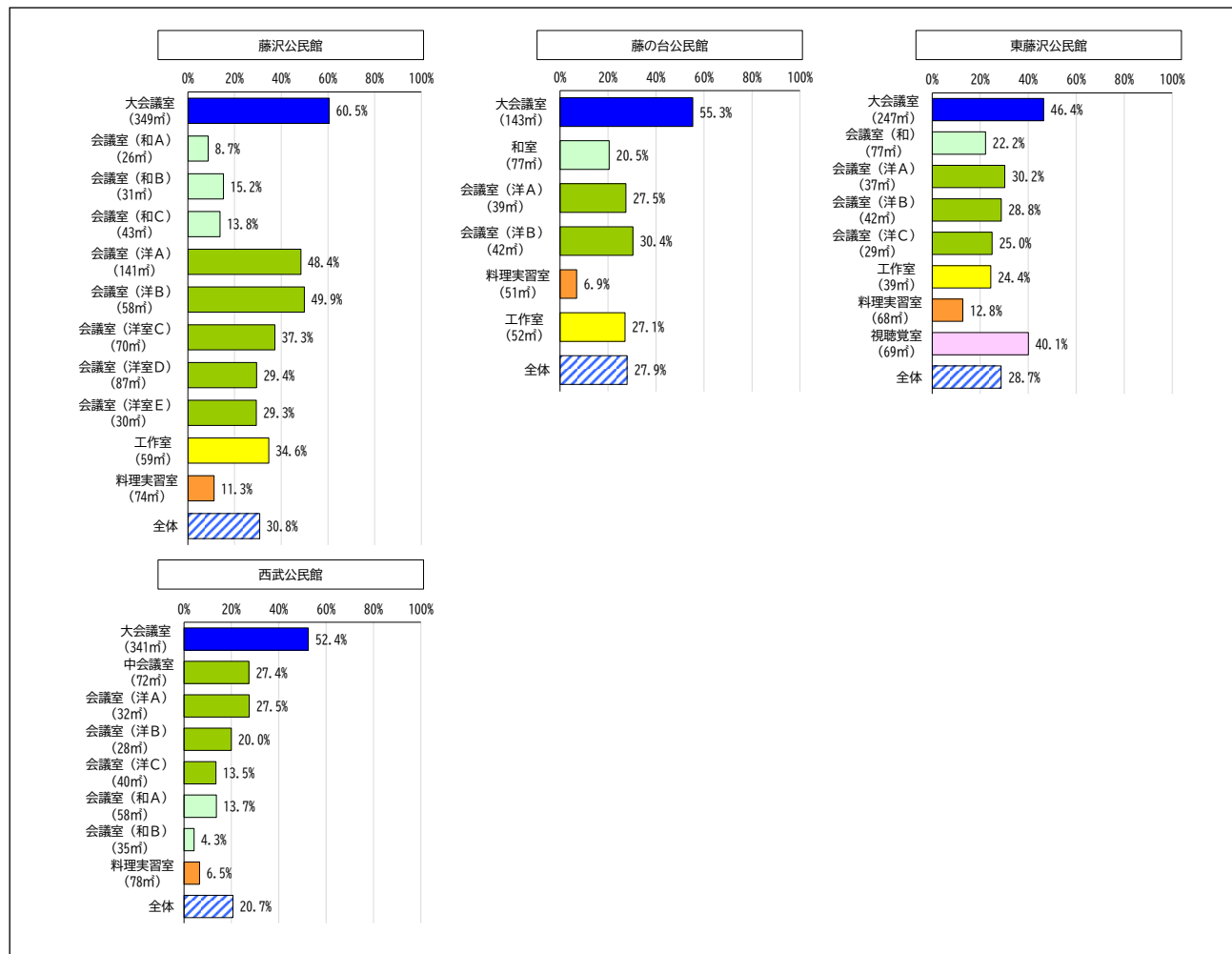
一方で、料理実習室はいずれの施設も 15%以下であり、使用目的が限定的なために特に利用が少なくなっています。この傾向は、平成 24（2012）年度と変わっていません。

図表 施設別部屋別稼働率（令和 4（2022）年度）



(2) 地区センター・地区センター分館

図表 部屋別施設別稼働率（令和4（2022）年度）



② 運営状況

公民館、支所の管理運営は、全施設で市の直営となっています。

令和4（2022）年度の公民館の運営人員は52人、支所の運営人員は27人となっています。

公民館の内訳は、一般職員（正規職員）が25人、再任用職員が5人、嘱託職員が9人、パート職員が13人となっています。

支所の内訳は、一般職員（正規職員）が14人、再任用職員が5人、嘱託職員が0人、パート職員が8人となっています。

図表 【公民館】運営人員（令和4（2022）年度）

（人）

	扇町屋公民館	久保稲荷公民館	東町公民館	黒須公民館	高倉公民館	東金子公民館	金子公民館	宮寺公民館	二本木公民館	藤沢公民館	藤の台公民館	東藤沢公民館	西武公民館	合計
運営形態	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	直営	
管理運営に要する人員	一般職員（正規職員）	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	25
	再任用職員	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	5
	嘱託職員	0	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1	0	9
	パート職員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	13
	計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	52

図表 【支所】運営人員（令和4（2022）年度）

（人）

	東金子支所	金子支所	宮寺支所	藤沢支所	西武支所	合計	
運営形態	直営	直営	直営	直営	直営		
管理運営に要する人員	一般職員（正規職員）	3	2	2	4	3	14
	再任用職員	1	1	1	1	1	5
	嘱託職員	0	0	0	0	0	0
	パート職員	0	2	2	2	2	8
	計	4	5	5	7	6	27

③ コスト情報

公民館の13施設の年間トータルコストは、5億1,356万円です。

図表 【公民館】施設別行政コスト計算書（令和4（2022）年度）

(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		扇町屋公民館	久保稲荷公民館	東町公民館	黒須公民館	高倉公民館	東金子公民館	金子公民館	宮寺公民館
かかるコスト 管理運営に	修繕費	1,864,830	198,550	317,900	625,790	764,225	89,100	805,750	498,520
	光熱水費	2,319,917	5,038,896	3,694,463	1,535,500	2,278,437	3,448,773	4,432,450	1,365,716
	委託費	3,636,986	6,988,990	6,955,349	3,076,932	3,491,124	8,673,097	13,272,624	3,685,048
	使用料及び賃借料	82,804	3,840,414	830,096	110,799	270,149	1,676,241	944,456	83,090
	その他物件費	752,554	1,867,175	829,647	6,914,923	387,345	486,472	897,074	1,868,219
	燃料費	24,201	0	31,291	49,456	34,016	30,279	2,243,187	903,703
	管理運営にかかるコスト	8,681,292	17,934,025	12,658,746	12,313,400	7,225,296	14,403,962	22,595,541	8,404,296
かかる事業に	人件費合計	18,793,000	21,208,000	21,208,000	21,208,000	21,208,000	21,208,000	21,208,000	18,793,000
	事業にかかるコスト	18,793,000	21,208,000	21,208,000	21,208,000	21,208,000	21,208,000	21,208,000	18,793,000
現金収支を伴うコスト 計		27,474,292	39,142,025	33,866,746	33,521,400	28,433,296	35,611,962	43,803,541	27,197,296
【収入の部】									
収入 使用料収入		1,106,486	1,107,639	1,207,132	581,903	528,382	1,033,764	960,197	364,008
収入の合計		1,106,486	1,107,639	1,207,132	581,903	528,382	1,033,764	960,197	364,008
II. 現金収支を伴わないもの									
コスト 減価償却相当額		3,467,600	7,296,520	6,881,017	0	1,720,880	5,156,000	13,258,160	2,687,310
III. 総括									
コストの部合計(トータルコスト)		30,941,892	46,438,545	40,747,763	33,521,400	30,154,176	40,767,962	57,061,701	29,884,606

(円)

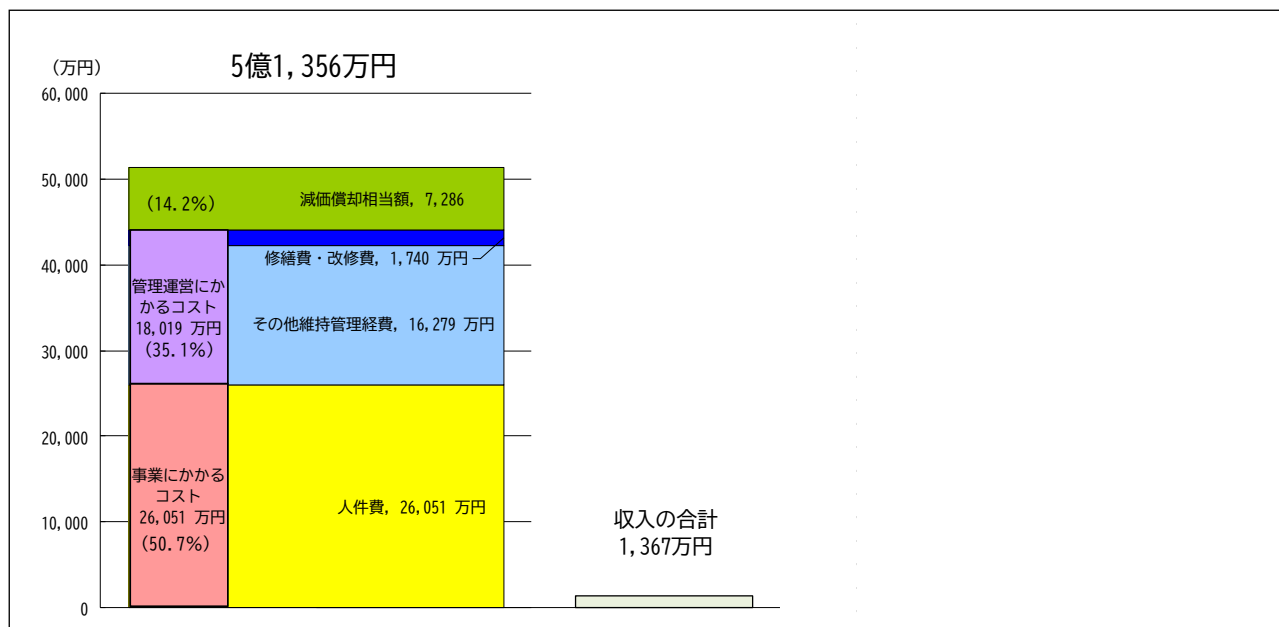
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		二本木公民館	藤沢公民館	藤の台公民館	東藤沢公民館	西武公民館	合計
かかるコスト 管理運営に	修繕費	169,950	9,462,420	43,230	1,197,438	1,358,830	17,396,533
	光熱水費	3,988,780	7,791,046	2,943,575	3,410,805	6,578,219	48,826,577
	委託費	4,000,737	6,157,706	3,464,370	4,544,362	4,465,068	72,412,393
	使用料及び賃借料	84,086	1,069,175	125,368	104,478	225,755	9,446,911
	その他物件費	1,777,780	1,848,479	1,061,997	8,846,746	1,179,125	28,717,536
	燃料費	34,113	0	2,552	0	37,884	3,390,682
	管理運営にかかるコスト	10,055,446	26,328,826	7,641,092	18,103,829	13,844,881	180,190,632
かかる事業に	人件費合計	21,208,000	18,793,000	15,673,000	21,208,000	18,793,000	260,509,000
	事業にかかるコスト	21,208,000	18,793,000	15,673,000	21,208,000	18,793,000	260,509,000
現金収支を伴うコスト 計		31,263,446	45,121,826	23,314,092	39,311,829	32,637,881	440,699,632
【収入の部】							
収入 使用料収入		1,047,076	2,505,942	885,814	1,362,089	975,679	13,666,111
収入の合計		1,047,076	2,505,942	885,814	1,362,089	975,679	13,666,111
II. 現金収支を伴わないもの							
コスト 減価償却相当額		8,070,200	9,333,480	2,862,000	8,021,640	4,108,840	72,863,647
III. 総括							
コストの部合計(トータルコスト)		39,333,646	54,455,306	26,176,092	47,333,469	36,746,721	513,563,279

(2) 地区センター・地区センター分館

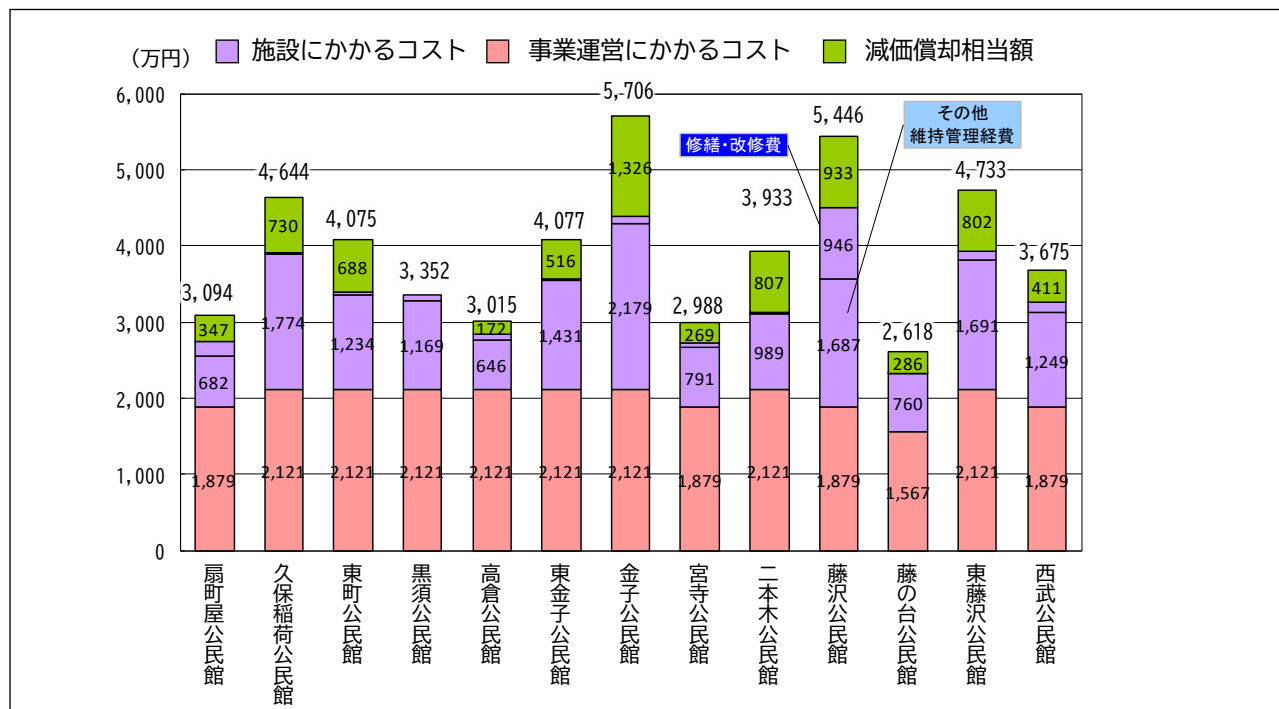
公民館の年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは1億8,019万円(35%)、事業にかかるコストは2億6,051万円(51%)、減価償却相当額は7,286万円(14%)です。

施設別トータルコストでは、藤の台公民館の2,618万円から金子公民館の5,706万円となっています。

図表 【公民館】 全施設トータルコスト(令和4(2022)年度)



図表 【公民館】 施設別トータルコスト(令和4(2022)年度)



(2) 地区センター・地区センター分館

支所の5施設の年間トータルコストは、1億3,733万円です。

支所の年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは202万円(1%)、事業にかかるコストは1億2,904万円(94%)、減価償却相当額は627万円(5%)です。

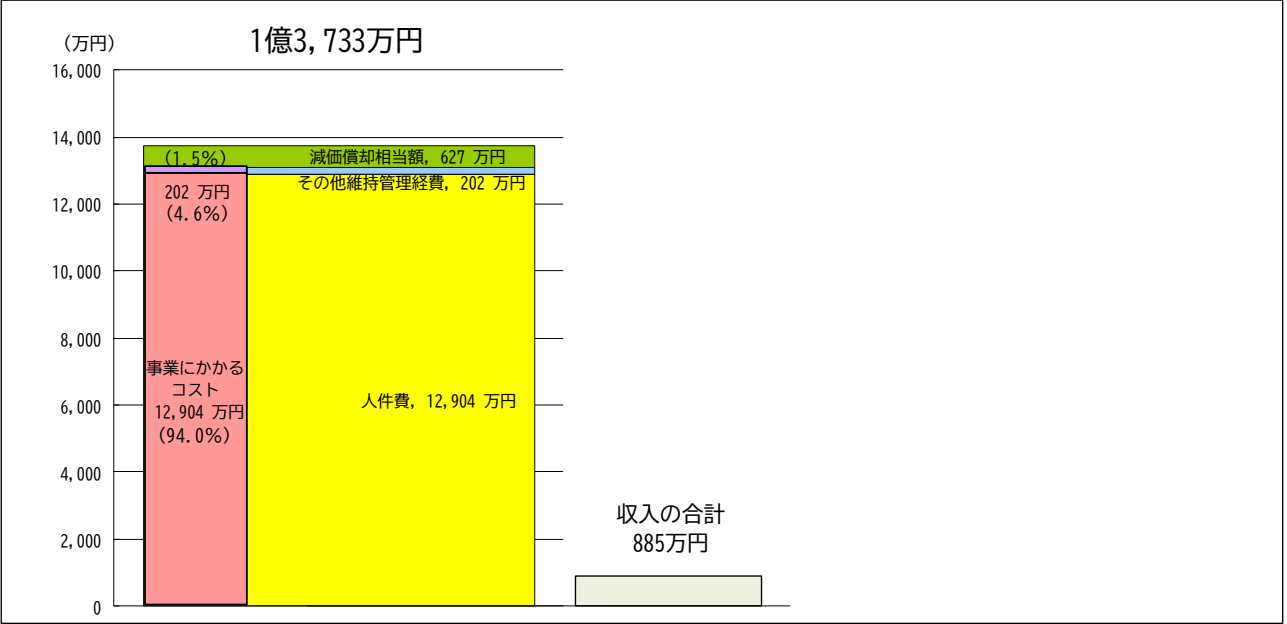
施設別トータルコストでは、金子支所の2,109万円から藤沢支所の4,045万円となっています。

図表 【支所】施設別行政コスト計算書(令和4(2022)年度)

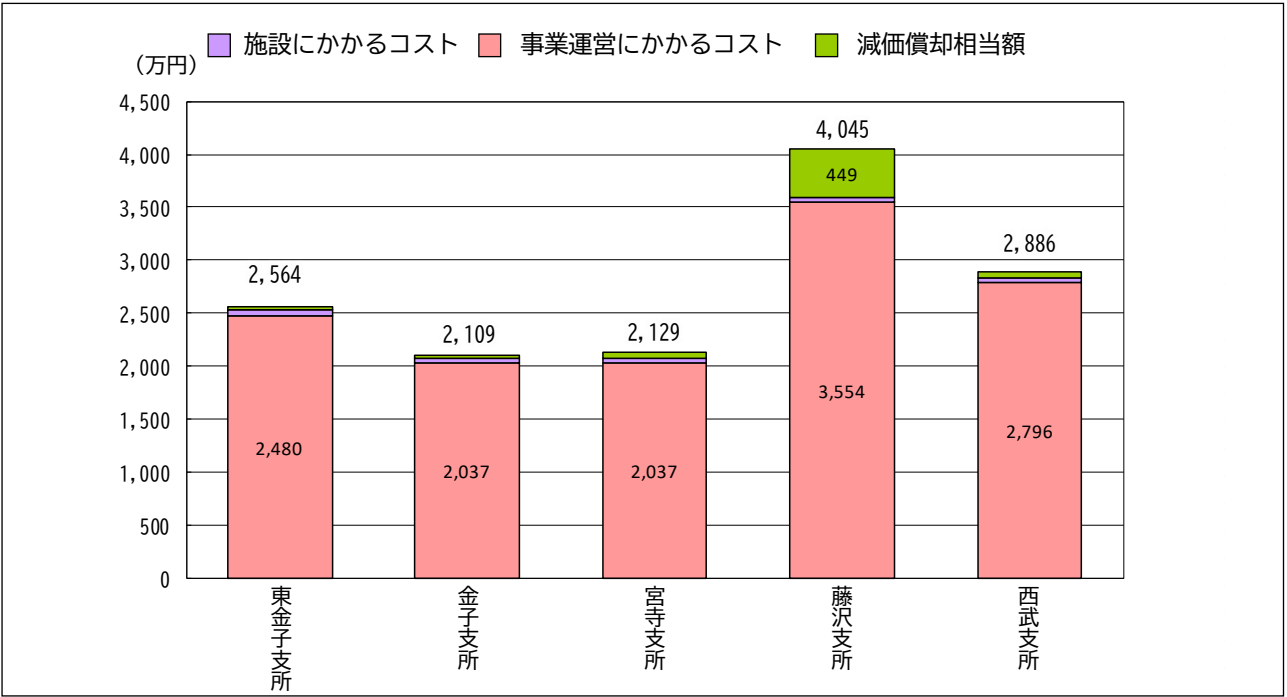
(円)

I. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		東金子支所	金子支所	宮寺支所	藤沢支所	西武支所	合計
かかるコスト 管理運営に	光熱水費	20,251	0	0	0	0	20,251
	委託費	13,200	13,200	13,200	13,200	13,200	66,000
	使用料及び賃借料	21,042	21,042	21,042	21,042	21,042	105,210
	その他物件費	416,740	348,237	325,116	390,274	347,634	1,828,001
	管理運営にかかるコスト	471,233	382,479	359,358	424,516	381,876	2,019,462
かかる事業に	人件費合計	24,799,000	20,371,000	20,371,000	35,539,000	27,955,000	129,035,000
	事業にかかるコスト	24,799,000	20,371,000	20,371,000	35,539,000	27,955,000	129,035,000
現金収支を伴うコスト 計		25,270,233	20,753,479	20,730,358	35,963,516	28,336,876	131,054,462
【収入の部】							
収入	手数料収入	1,225,400	1,249,600	1,361,200	2,942,850	2,069,200	8,848,250
収入の合計		1,225,400	1,249,600	1,361,200	2,942,850	2,069,200	8,848,250
II. 現金収支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	366,120	338,328	556,440	4,489,500	521,160	6,271,548
III. 総括							
コストの部合計(トータルコスト)		25,636,353	21,091,807	21,286,798	40,453,016	28,858,036	137,326,010

図表 【支所】 全施設トータルコスト（令和 4（2022）年度）



図表 【支所】 施設別トータルコスト（令和 4（2022）年度）



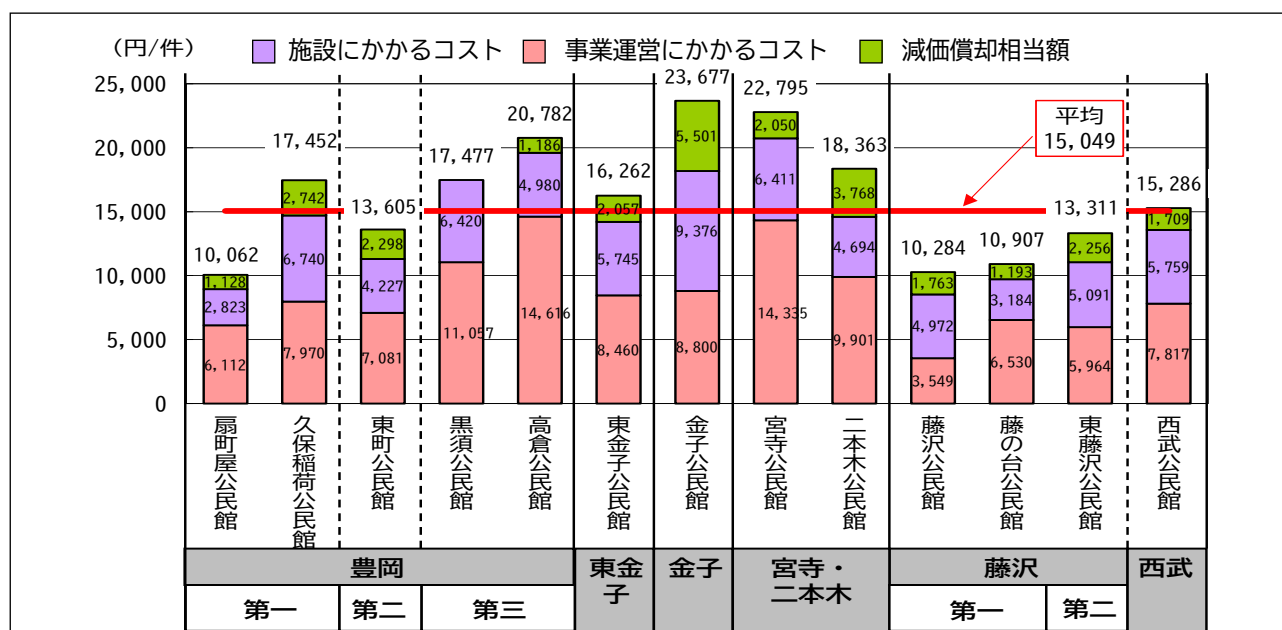
3) 分析

■ 利用 1 件当たりのコスト

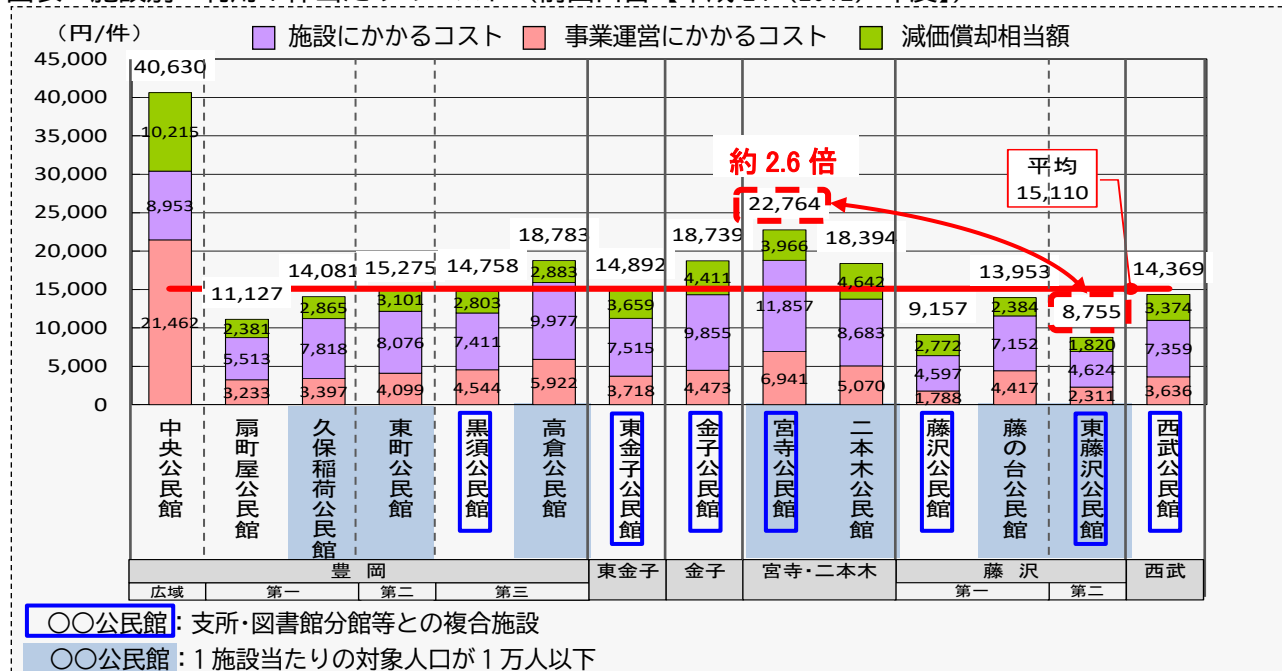
年間利用件数とトータルコストから、利用 1 件当たりにかかるコストを算出すると、扇町屋公民館の 1 万 62 円/件から金子公民館の 2 万 3,677 円/件となっています。

平成 24 年度と比較すると、施設にかかるコストが全体的に減少する一方で、事業運営にかかるコストが全体的に高くなっています。施設別にみると、平成 24 (2012) 年度は宮寺公民館の利用 1 件当たりのコストが最も高くなり、令和 4 (2022) 年度は金子公民館が高くなっています。金子公民館は利用状況に対してトータルコストが他の施設より高い傾向にあります。全 13 施設の平均コストは、平成 24 (2012) 年度と比べほとんど差がありません。

図表 【公民館】施設別 利用 1 件当たりのコスト (令和 4 (2022) 年度)



図表 施設別 利用 1 件当たりのコスト (前回白書【平成 24 (2012) 年度】)

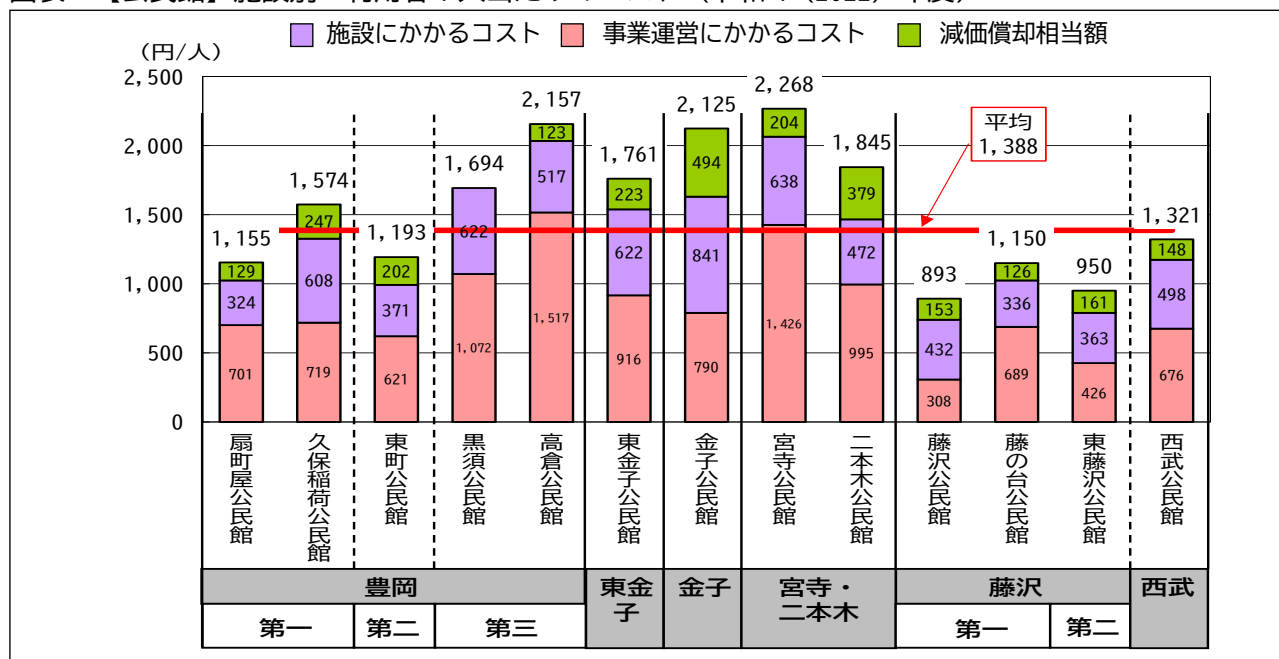


■ 利用者 1 人当たりのコスト

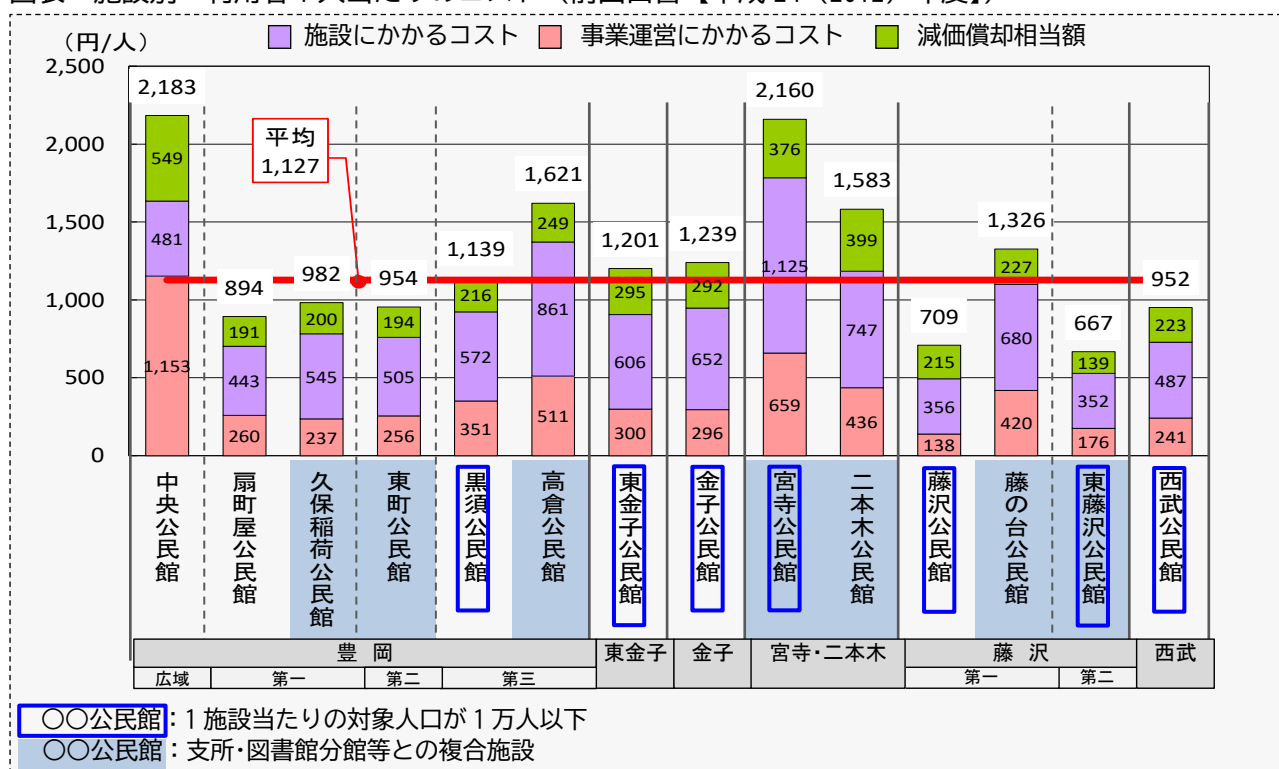
年間利用者数とトータルコストから、利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、藤沢公民館の 893 円/人から宮寺公民館の 2,268 円/人となっています。なお、全公民館の平均は 1,388 円/人となっています。

平成 24（2012）年度と比較すると、藤の台公民館を除く 12 施設は利用者 1 人当たりのコストが増加しており、施設別にみると金子公民館が 886 円と最も増加しています。

図表 【公民館】施設別 利用者 1 人当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



図表 施設別 利用者 1 人当たりのコスト（前回白書【平成 24（2012）年度】）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 利用件数及び利用者数の推移をみると、令和 2（2020）年度に大きく落ち込み、令和 3 年度から回復していますが、平成 24（2012）年度の水準まで戻っていません。
- ② 施設別にみると、令和 4（2022）年度の年間利用者数は全公民館で平成 24（2012）年度の年間利用者数より減少していますが、年間利用件数でみると東町公民館と二本木公民館の令和 4（2022）年度の年間利用件数は、平成 24（2012）年度より増加しています。

<コスト状況>

- ③ 公民館のトータルコストは、5 億 1,356 万円となっています。利用者 1 人当たりのコストでは最大と最小で約 2.5 倍の差が出るほど施設間で違いが生じています。
- ④ 支所のトータルコストは、1 億 3,733 万円となっています。

4) 課題の明確化

- 各施設、利用機能の見直しを検討する必要があります。
- 分館は委託による運営に変わっており、その効果や課題の整理など地区センターとしての運営方式を検証する必要があります。
- 稼働率、利用回数、コストパフォーマンス等のバラつきがあることから、地区当たりの施設数及び施設の管轄範囲・対象人口の見直しなど、本館・分館の位置付けを踏まえた施設適正量の見直しを検討する必要があります。

(3) その他広域対応集会施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、市民活動センター、男女共同参画推進センター、青少年活動センターの3施設を保有しています。業務の一部は外部に委託化し、直営による管理運営を行っています。

なお、市民活動センター（イルミン）は複合施設であり、その一部を男女共同参画推進センターとして管理運営しています。

設置目的：	
市民活動センター	市民が主役の元気なまちづくりを推進するとともに、営利を目的としない自主的な社会貢献活動の支援と、さまざまな市民活動の交流の場としての活用を図ることを目的とする
男女共同参画推進センター	男女がお互いを尊重し、個性と能力を十分に発揮して、対等な立場で政治・経済・社会・文化など、あらゆる活動に参画することのできる社会、家事・育児・介護なども責任を分かち合い、支えあうことのできる男女共同参画社会の実現を目的とする
青少年活動センター	加治丘陵の豊かな自然の中で行う生活、自然、社会、科学、芸術、スポーツ、レクリエーションなどさまざまな体験活動を通じて、青少年の健全な育成を図るための社会教育施設として設置する

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)		建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・併 設施設	土地 所有	備考
							その他集 会施設		
豊岡 第一	1 市民活動センター	豊岡4-2-2	1,081.80	1,529.32	昭和55	RC造	●	市	平成28年度に 耐震工事完了
	2 男女共同参画推進 センター		447.52			RC造			
東金子	3 青少年活動セン ター	小谷田1681 - 1	2,579.80		昭和44	RC造		市	
合計			4,109.12						

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

<市民活動センター>

市に登録されている NPO 法人や市民活動団体が、打合せや講座・教室の開催を行っています。

- ・ まちづくり勉強会・市民活動支援講座・人財塾等
- ・ 市民活動団体ポスター展及び交流会・各種ワークショップ等

<男女共同参画推進センター>

男女共同参画活動を行っている団体を対象に施設の提供や講座・教室の開催（主催イベント）、相談事業等を行っています。

- ・ 男女共同参画に関する講座、女性就労・キャリアアップ支援事業、LGBTQ講演会等
- ・ 女性相談：悩みごと相談、就労相談

<青少年活動センター>

青少年及び育成者の団体を対象に施設の提供を行う他、青少年を対象にした各種体験事業、指導者及び団体の育成事業を開催しています。市主催の他、多様な青少年関連団体との協力、協働により実施しています。

- ・ 居場所づくり：施設開放事業、むささび食堂等
- ・ 社会体験：プレーパーク運営（冒険の森、いるぱーく）、イベント事業（青少年活動センターフェスティバル）等
- ・ 自然体験：未就学児対象事業（おやこ森あそび）、森あそびクラブ等
- ・ 科学学習：植物画作成等
- ・ 芸術文化：七宝焼体験等
- ・ 指導者養成：青少年活動者研修、青少年活動センターボランティア活動等

③ 開館時間・開館日数

施設名	開館時間	休館日	開館日数
市民活動センター	午前 9 時～ 午後 9 時 30 分	年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）	359 日
男女共同参画 推進センター			
青少年活動センター	午前 9 時～午後 10 時 （日帰り使用時間）		359 日

※開館日数は入間市施設カルテ令和 4（2022）年度の利用関連情報

④ 予約方法

市民活動センター	利用には団体の登録が必要です。 活動室は利用月の3か月前から予約を受け付けています。 利用できるのは特定非営利活動法人（NPO 法人）、公共又は公益活動を行う団体、まちづくりのためのボランティア団体です。
男女共同参画推進センター	会議室を使用するには使用許可申請書の提出が必要です。 会議室は、市内または所沢市、飯能市、狭山市、日高市で男女共同参画の活動を行っている団体が利用できます。
青少年活動センター	利用できるのは市内及び西部地域まちづくり協議会圏域（所沢市・飯能市・狭山市・日高市）内に活動拠点のある青少年（小学校就学の始期から18歳に達するまでの者）、または青少年指導者の団体、青少年の健全育成を目的とした活動を行う団体です。

■ 使用料金

市民活動センター、男女共同参画推進センター及び青少年活動センターは無料です。

⑤ 配置状況

図表 その他広域対応集会施設位置図



⑥ スペース構成

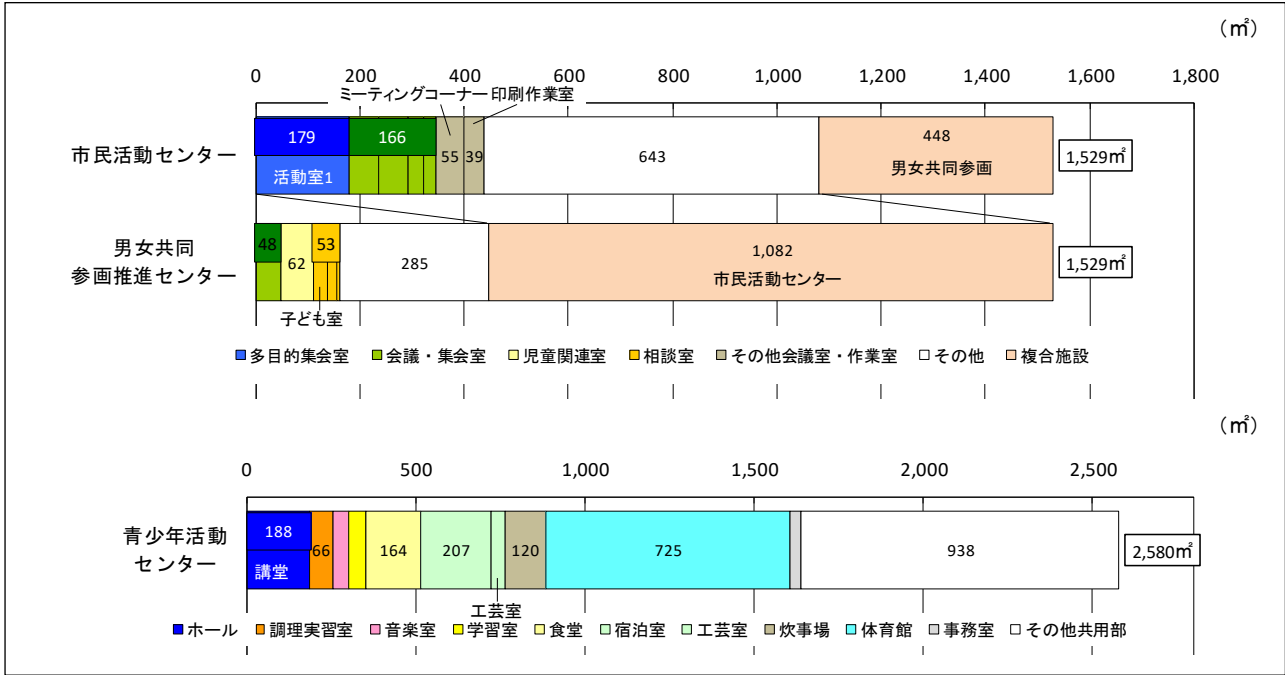
市民活動センター（イルミン）は、男女共同参画推進センター部分を含めて 1,529 m²、青少年活動センターは 2,580 m²となっています。

市民活動センターは、活動室やミーティングコーナー、印刷作業室を保有しています。

男女共同参画推進センターは、相談室やこども室、展示交流室等を保有しています。

青少年活動センターは、宿泊機能を有することから講堂、学習室の他、食堂、調理室、宿泊室等を保有しています。また、本館施設の他に体育館と野外活動施設（キャンプ場・炊事場）を保有しています。

図表 スペース構成（令和 5（2023）年度）



2) 実態把握

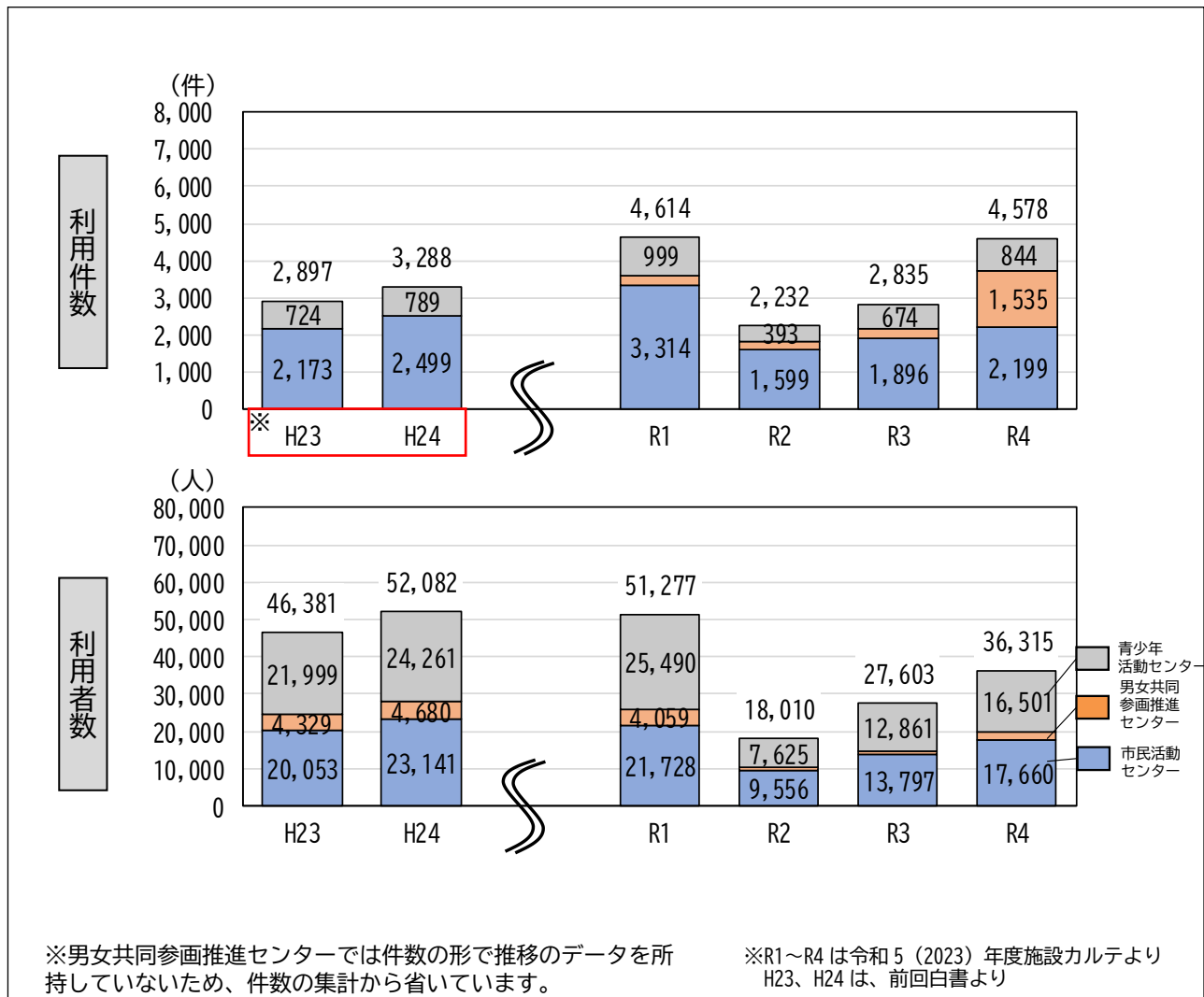
① 利用状況

■ 利用推移

利用件数の推移は、令和元年度の4,614件から令和2（2020）年度は2,232件と大幅に落ち込みましたが、令和3（2021）年度は2,835件、令和4（2022）年度は4,578件と増加傾向で推移しています。

また利用者数も同様に令和2（2020）年度で大幅に落ち込みましたが、令和3（2021）年度は2万7,603人、令和4（2022）年度は3万6,315人と回復傾向にあります。しかしながら、新型コロナウイルスの影響前の水準までは達していません。

図表 利用件数及び利用者数の推移



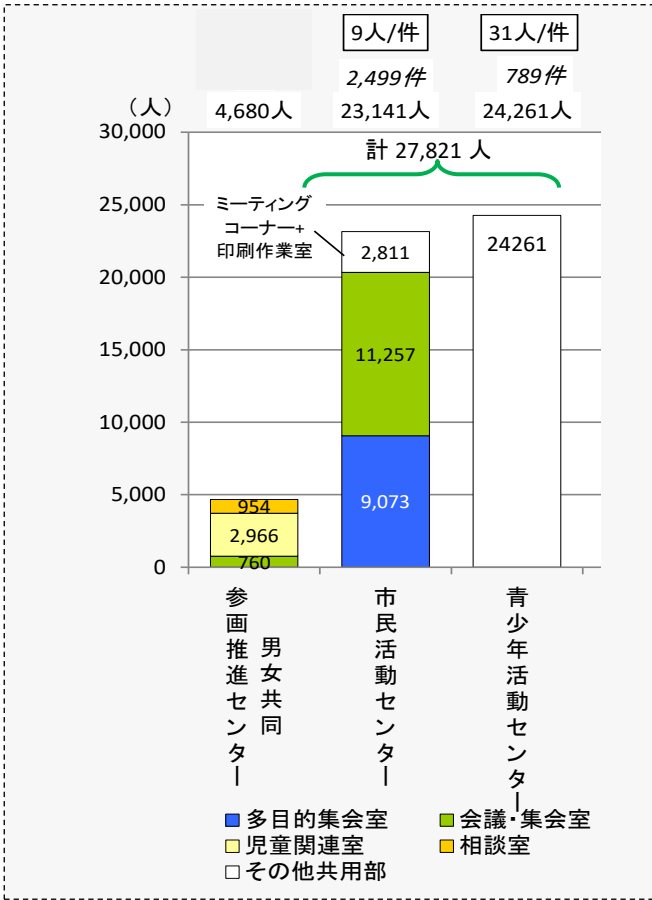
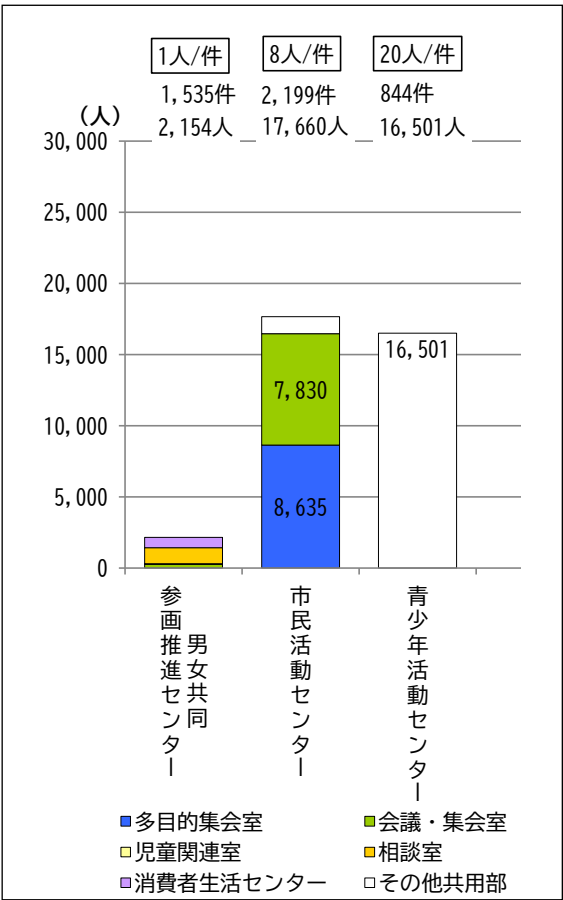
※令和2（2020）年度の利用関連情報は、新型コロナウイルスの影響を受けています。

■ 施設別の利用状況

令和 4（2022）年度の施設別利用件数と利用者数をみると、男女共同参画推進センターの利用が 2,154 人、市民活動センターの利用が 1 万 7,660 人、青少年活動センター 1 万 6,501 人となっています。

青少年活動センターは、新型コロナウイルスの影響以降、本来の対象者の利用に配慮しつつ、施設開放の拡大に向け、青少年を含む家族やグループ、対象年齢外の未就学児やその保護者に開放するなど施設の利用促進に取り組み、平成 24（2012）年度と比較すると利用件数は 55 件増加したものの、利用人数は 8,000 人弱減少しています。また、男女共同参画推進センターと市民活動センターも平成 24（2012）年度より利用者数が減少しています。

図表 施設別・部屋別 利用者数（令和 4（2022）年度） 【参考】 前回白書【平成 24（2012）年度】

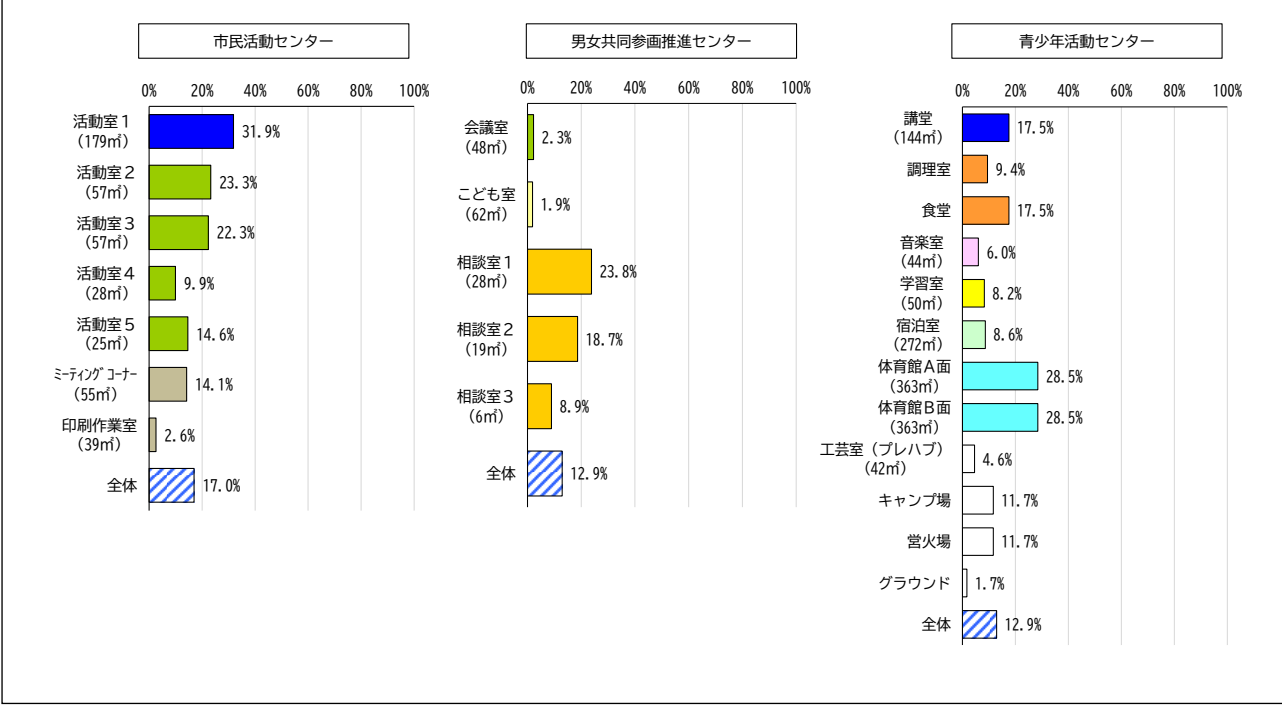


(3) その他広域対応集会施設

施設別部屋稼働率は、市民活動センターが17%、男女共同参画推進センターが13%、青少年活動センターが13%となっています。

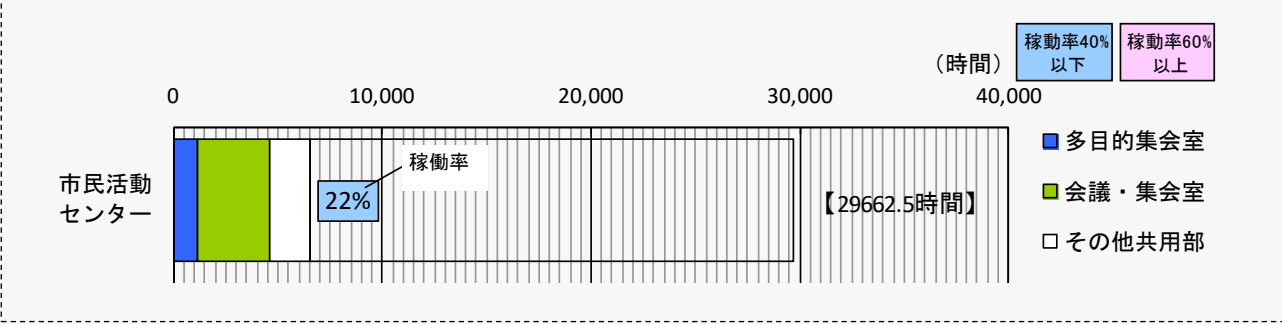
平成24（2012）年度と比較すると、市民活動センターの稼働率は減少しています。

図表 施設別部屋稼働率（令和4（2022）年度）



【参考】施設別稼働率（前回白書【平成24（2012）年度】）

※他施設のコマ単位での稼働率と比較して時間単位の方が稼働率は低くなる傾向があります



② 運営状況

全施設とも一部業務を外部委託化し、直営で管理運営を行っています。

令和4(2022)年度の3施設の運営人員は17人です。内訳は、一般職員(正規職員)が6人、再任用職員が2人、嘱託職員が1人、パート職員が8人となっています。

図表 運営人員(令和4(2022)年度)

(人)

		市民活動センター	男女共同参画推進センター	青少年活動センター	合計
運営形態		直営	直営	直営	
管理運営に要する人員	一般職員(正規職員)	0	5	1	6
	再任用職員	0	1	1	2
	嘱託職員	0	0	1	1
	パート職員	0	8	0	8
	計	0	14	3	17

※ 市民活動センターの管理運営は、地域振興課が所管していますが、当該施設での勤務ではないため、0人としています。

③ コスト情報

その他広域対応集会施設の3施設の年間トータルコストは、1億8,428万円です。

年間トータルコストのうち、管理運営にかかるコストは5,733万円(31%)、事業にかかるコストは6,668万円(36%)、減価償却相当額は6,026万円(33%)です。

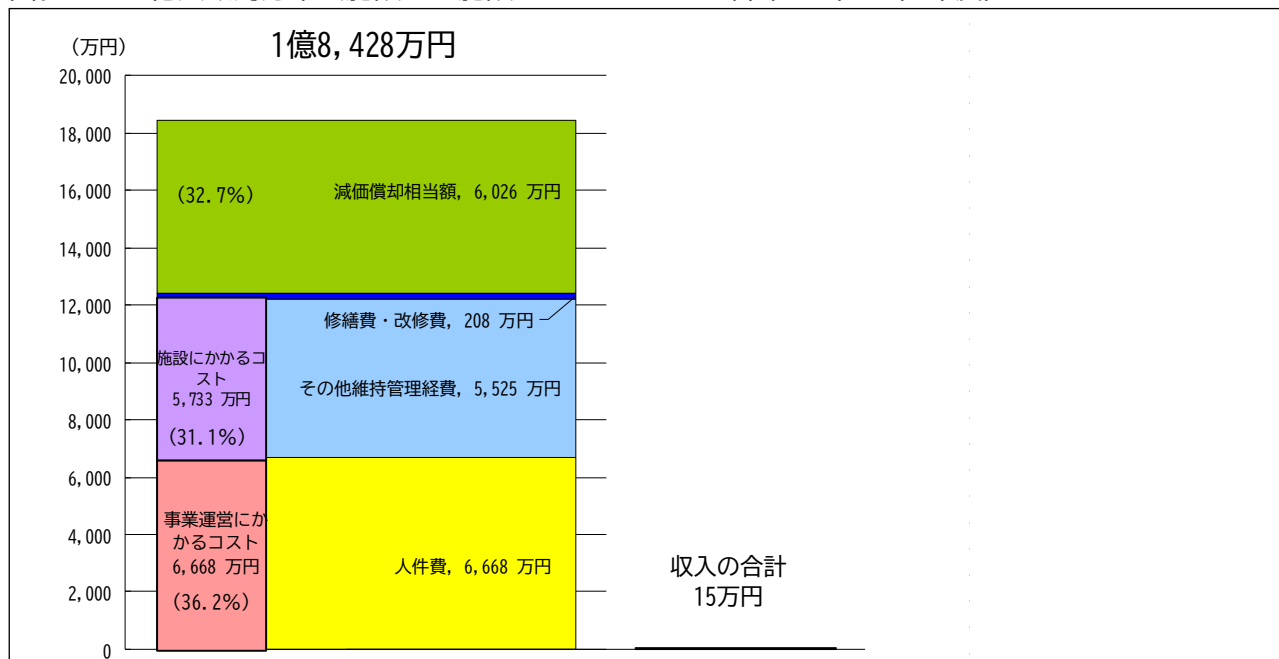
図表 施設別行政コスト計算書(令和4(2022)年度)

(円)

Ⅰ.現金収支を伴うもの【コストの部】		男女共同参画 推進センター	市民活動セン ター	青少年活動セ ンター	合計
管理 運営に かかる コスト	修繕費	470,294	0	1,610,785	2,081,079
	光熱水費	3,483,420	0	3,022,035	6,505,455
	委託費	2,816,000	6,061,004	16,494,019	25,371,023
	使用料及び賃借料	1,879,666	231,769	820,662	2,932,097
	その他物件費	10,733,157	23,983	9,609,251	20,366,391
	燃料費	0	0	73,958	73,958
	管理運営にかかるコスト	19,382,537	6,316,756	31,630,710	57,330,003
事業 にかかる コスト	人件費合計	52,589,000	0	14,095,000	66,684,000
	事業にかかるコスト	52,589,000	0	14,095,000	66,684,000
現金収支を伴うコスト 計		71,971,537	6,316,756	45,725,710	124,014,003
【収入の部】					
収入	使用料収入	0	46,004	101,217	147,221
収入の合計		0	46,004	101,217	147,221
Ⅱ.現金収支を伴わないもの					
コスト	減価償却相当額	3,596,971	3,596,971	53,068,797	60,262,739
Ⅲ.総括					
コストの部合計(トータルコスト)		75,568,508	9,913,727	98,794,507	184,276,742

※男女共同参画推進センターの減価償却相当額は、市民活動センターの減価償却相当額を2分割して計上

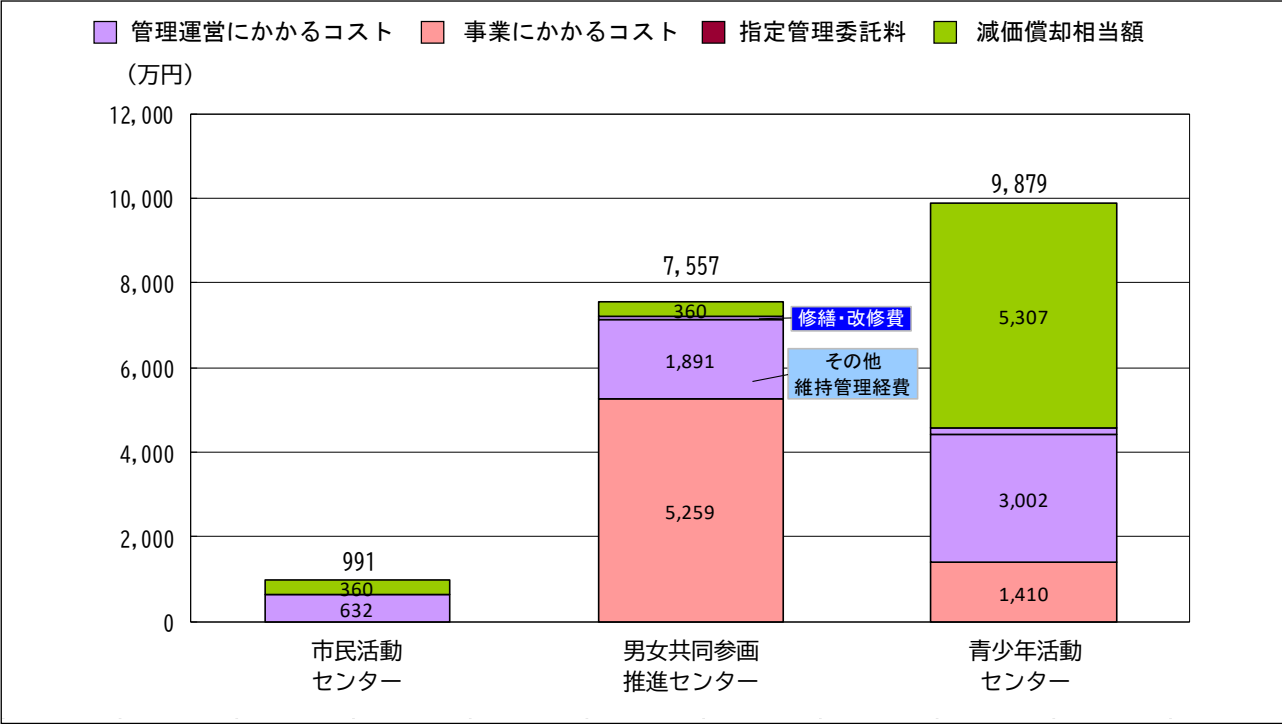
図表 その他広域対応集会施設 全施設トータルコスト(令和4(2022)年度)



(3) その他広域対応集会施設

施設別トータルコストでは、市民活動センターは991万円、男女共同参画センターは7,557万円、青少年活動センターは9,879万円となっています。

図表 その他広域対応集会施設 施設別トータルコスト（令和4（2022）年度）



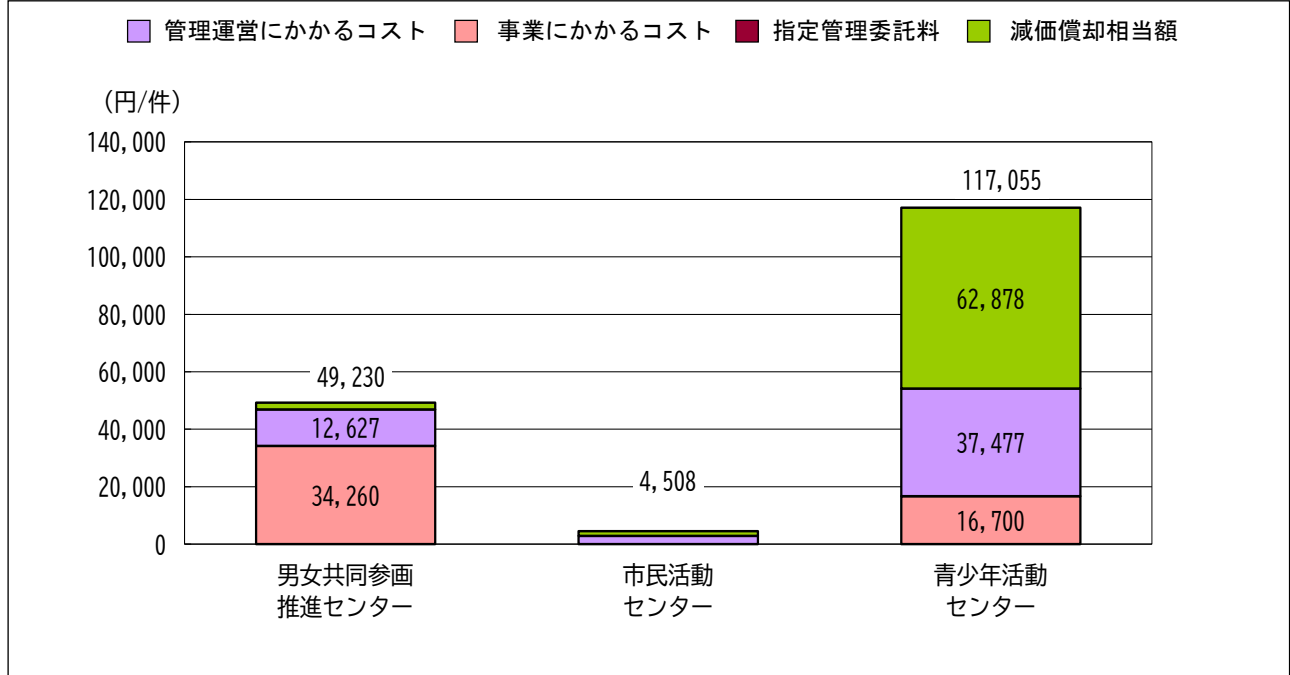
3) 分析

■ 利用 1 件当たりのコスト

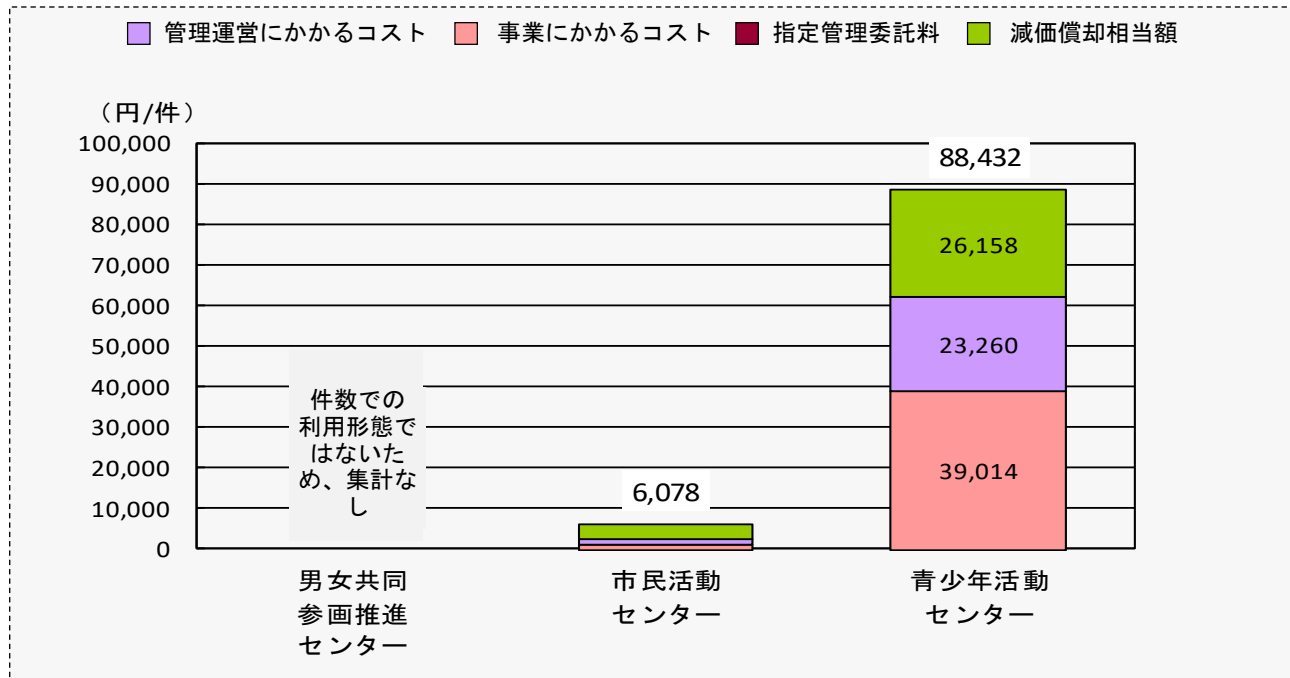
年間利用件数とトータルコストから、利用 1 件当たりにかかるコストを算出すると、男女共同参画推進センターが 4 万 9,230 円/件、市民活動センターが 4,508 円/件、青少年活動センターが 11 万 7,055 円/件となっています。

平成 24（2012）年度と比較すると、市民活動センターのコストは減少しています。

図表 施設別 利用 1 件当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



【参考】施設別 利用 1 件当たりのコスト（前回白書【平成 24（2012）年度】）

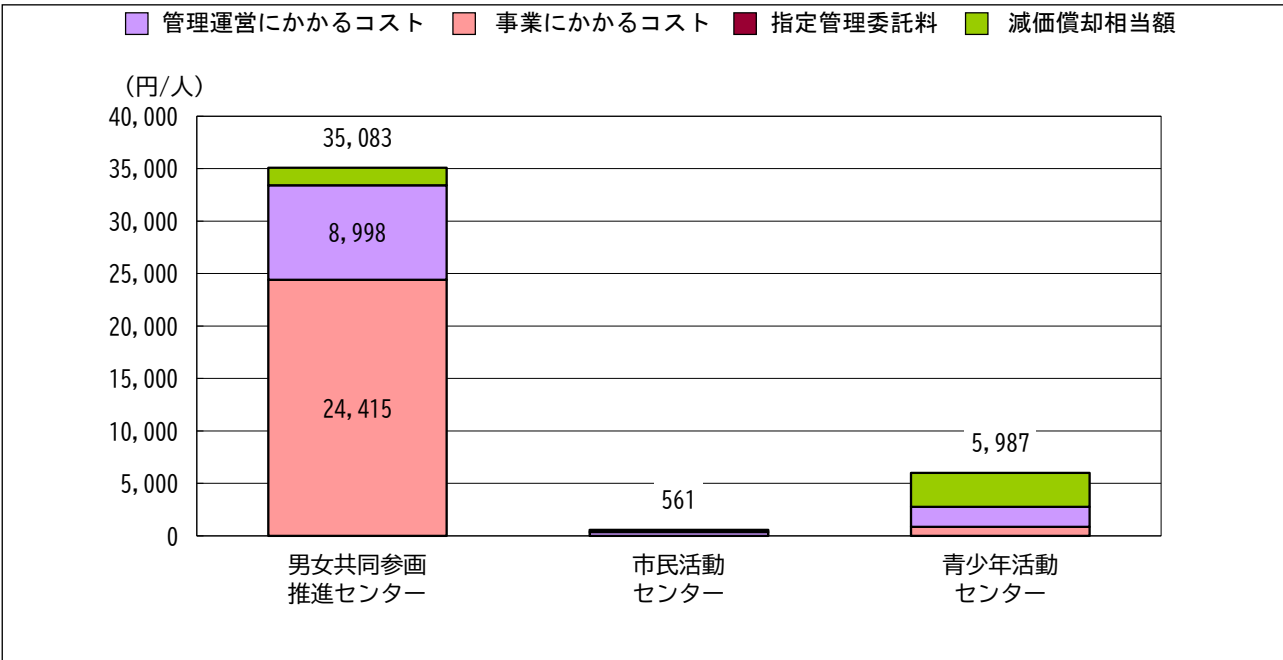


■ 利用者 1 人当たりのコスト

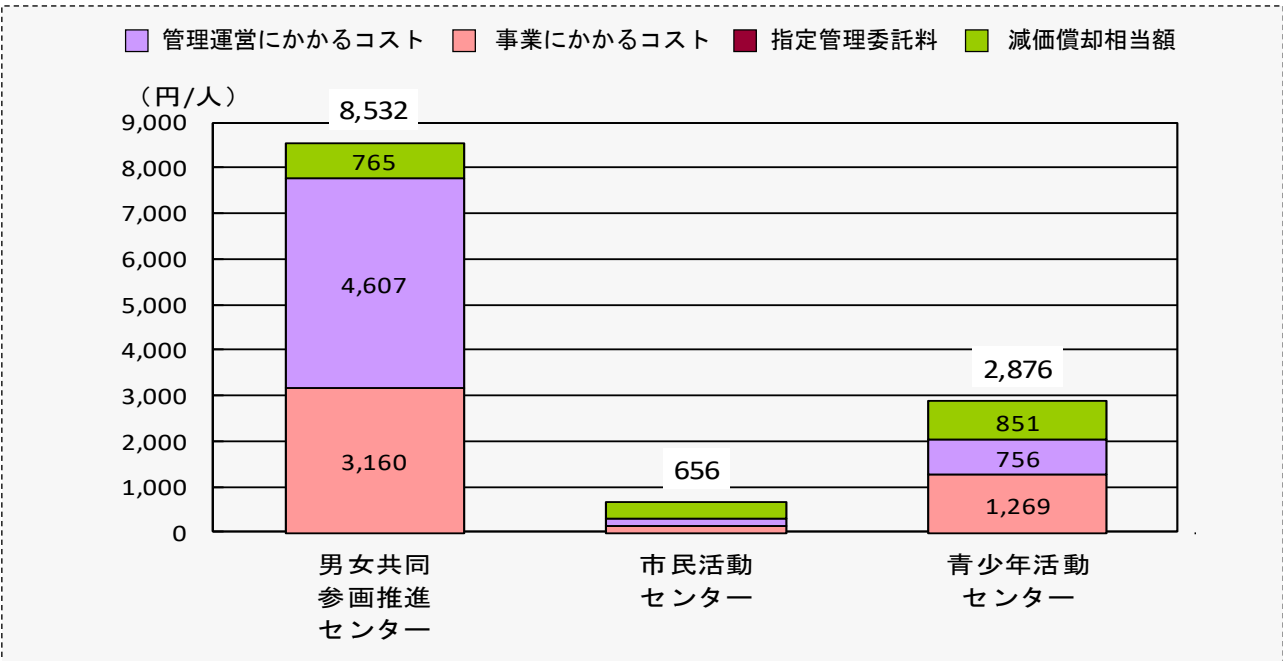
年間利用者数とトータルコストから、利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、男女共同参画推進センターが 3 万 5,083 円/人、市民活動センターが 561 円/人、青少年活動センター 5,987 円/人となっています。

平成 24（2012）年度と比較すると、男女共同参画推進センターは、利用者数が約半分に減少しているのに対してトータルコストは約 2,000 万円増加しているため、利用者 1 人当たりにかかるコストが特に割高となっています。

図表 施設別 利用者 1 人当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



【参考】施設別 利用者 1 人当たりのコスト（前回白書【平成 24（2012）年度】）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 青少年活動センターは、令和 2（2020）年度の新型コロナウイルスの影響で一度落ち込んだが、本来の対象者の利用に配慮しつつ、青少年を含む家族やグループ、対象年齢外の未就学児やその保護者などに施設利用の対象を広げたことから、令和 4（2022）年度の利用件数では新型コロナウイルスの影響前の水準並に回復したものの、利用者数は減少となっています。
- ② 市民活動センター・男女共同参画推進センターの利用者数は新型コロナウイルスの影響前の水準まで回復していません。
- ③ 1 日当たりの利用者数は、市民活動センター：49 人/日、男女共同参画推進センター：6 人/日、青少年活動センター：46 人/日となっています。

≪部屋別の利用実態≫

- ④ 3 施設の稼働率は全体で 20%以下となっており、同一施設内でも稼働率は最大で 30%程度と低いです。

<コスト状況>

- ⑤ 全施設のトータルコストは 1 億 8,428 万円となっており、施設別にみると市民活動センターが 991 万円、男女共同参画推進センター 7,557 万円、青少年活動センターが 9,879 万円となっています。
- ⑥ 青少年活動センターのトータルコストのうち、53%が減価償却相当額となっています。

4) 課題の明確化

- その他広域対応集会施設は、3 施設とも築 40 年以上経過しており老朽化対応が必要です。
- 青少年活動センターは令和 4（2022）年度の利用件数が平成 24（2012）年度の利用件数を上回る一方で利用者数は減少しています。男女共同参画推進センターは利用人数が減少しており前回白書時と比べ割高となっています。全施設稼働率が低いことから、現在の利用実態（利用件数及び利用者数）やニーズと施設の規模（部屋数及び部屋機能）が適正であるかを検証し、今後の機能、サービスのあり方を含めて検討する必要があります。
- 3 施設とも稼働率が 20%以下となっており、今後の機能、サービスの在り方を含めて検討する必要があります。

(4) 文化施設

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、産業文化センター、文化創造アトリエ・アミーゴ（以下グラフでは、文化創造アトリエと表記）の2施設を保有しています。2施設の管理運営は、指定管理者に委託しています。

なお、市民会館は耐震性能が不足しているため、利用者の安全確保に配慮し、令和3（2021）年4月から閉鎖しています。

設置目的：	
産業文化センター	産業振興を図るとともに、魅力ある文化事業を実施し、市民の日頃の文化活動やその発表の場としての活用を図ることを目的とする
文化創造アトリエ・アミーゴ	市民自らが音楽、演劇、その他の芸術・芸能活動の練習、発表を行うとともに、市民交流、地域産業の振興を図ることを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・併設 施設	土地 所有	備考
						図書館		
豊岡 第二	1 産業文化センター	向陽台1-1-7	7,247.85	昭和59	RC造	●	市	令和2年に ホール改修 完了
西武	2 文化創造アトリエ・アミーゴ	仏子766-3	1,796.63	※	木造		市	
合計			9,044.48					

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

※建物によっては60年以上経過

出典：「延床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

<産業文化センター>

ホール、集会室、実習室等を設置し、施設の提供（貸館業務）、コンサート・落語などの開催（主催事業）を行っています。コミュニティホール内のホールは、演奏会、講演会、映画会などに利用されています。コミュニティホール、教育センター、商工会、工業会、図書館本館からなる複合施設です。

<文化創造アトリエ・アミーゴ>

ホール、スタジオ、ギャラリー、織物・染色工房等を設置し、施設の提供（貸館業務）、コンサート・落語などの開催（主催事業）を行っています。また、NPO法人のスタッフとともに、音楽や美術・古典等の各種講座を市民ディレクター（市民スタッフ）が実施しています。

③ 開館時間・開館日数

施設名	開館時間	休館日	開館日数
産業文化センター	午前9時～午後9時30分	毎週月曜日 (この日が国民の祝日の場合、開館となります。) 年末年始(12月29日～1月3日)	312日
文化創造アトリエ・アミーゴ	午前9時～午後10時30分 (受付は午前8時30分～午後8時)	年末年始(12月29日～1月3日)	358日

※開館日数は入間市施設カルテ令和4(2022)年度の利用関連情報

④ 予約方法

産業文化センター	市内(所沢市、飯能市、狭山市、日高市を含む)の利用者は利用する日の6ヶ月前の月初(休館日の場合は翌開館日)8:30から先着順にて受付します。 ※市外からの利用者は、5ヶ月前より予約可能です。
文化創造アトリエ・アミーゴ	市内(所沢市、飯能市、狭山市、日高市を含む)の利用者は利用する日の6ヶ月前の月初から先着順にて受付します。 ※利用申請前に、あらかじめ相談が必要です。 ※市外からの利用者は、4ヶ月前より予約可能です。

■ 使用料金

産業文化センター、文化創造アトリエ・アミーゴともに、諸室ごと、時間帯ごとに料金が異なっています。

<産業文化センター>

(円)

				時間区分	午前	午後	夜間	全日
使用区分					午前9時～午前12時	午後1時～午後5時	午後5時30分～午後9時30分	午前9時～午後9時30分
ホール	入場料無料の場合	平日		6,600	11,400	16,600	31,100	
		土曜・日曜・祝日		8,600	14,800	21,600	40,500	
	入場料等を徴収する場合	平日	500円以下	8,300	14,300	20,800	39,100	
			500円を超え1,000円以下	9,800	17,000	24,700	46,400	
			1,000円を超えるもの	13,200	22,800	33,200	62,300	
		土曜・日曜・祝日	500円以下	10,500	18,100	26,400	49,500	
			500円を超え1,000円以下	13,200	22,800	33,200	62,300	
			1,000円を超えるもの	17,800	30,700	44,700	83,900	
会議室・展示室 ※料金は曜日に関係なく一律		1階 第1集会室 (A)	900	1,600	2,300	4,300		
		1階 第2集会室 (B)	900	1,600	2,100	4,300		
		2階 学習室	300	600	900	1,600		
		2階 第2集会室 (A)	1,500	2,700	3,900	7,300		
		2階 第2集会室 (B)	1,500	2,700	3,900	7,300		
		2階 研修室 (A)	800	1,400	2,000	3,800		
		2階 研修室 (B)	800	1,400	2,000	3,800		
		3階 小研修室	600	1,000	1,400	2,700		

※この使用料は入間市内(所沢市、飯能市、狭山市、日高市を含む)の基本料金

出典：市HP

<文化創造アトリエ・アミーゴ>

(円)

時間区分 利用区分		午前 午前9時～午 前12時	午後 午後1時～午 後5時	夜間 午後6時～午 後10時30分	全日 午前9時～午 後10時30分
本館(アミーゴ1)	和室	200	300	400	800
	多目的ルーム	500	700	800	1,800
スタジオ棟(アミーゴ2)	スタジオ	600	700	800	2,000
サロン棟(アミーゴ3)	サロン(和)	200	300	400	800
	サロン(洋)	500	600	700	1,600
	テラス	200	200	200	600
パティオ(アミーゴ4)	パティオ	400	500	600	1,400
ホール棟(アミーゴ5)	ギャラリー	700	800	1,000	2,400
	ホール	1,000	1,200	1,500	3,500
染色工房棟(アミーゴ7)	講義室1	300	400	500	1,100
	講義室2	200	300	400	800

出典：市 HP

⑤ 配置状況

図表 文化施設位置図



⑥ スペース構成

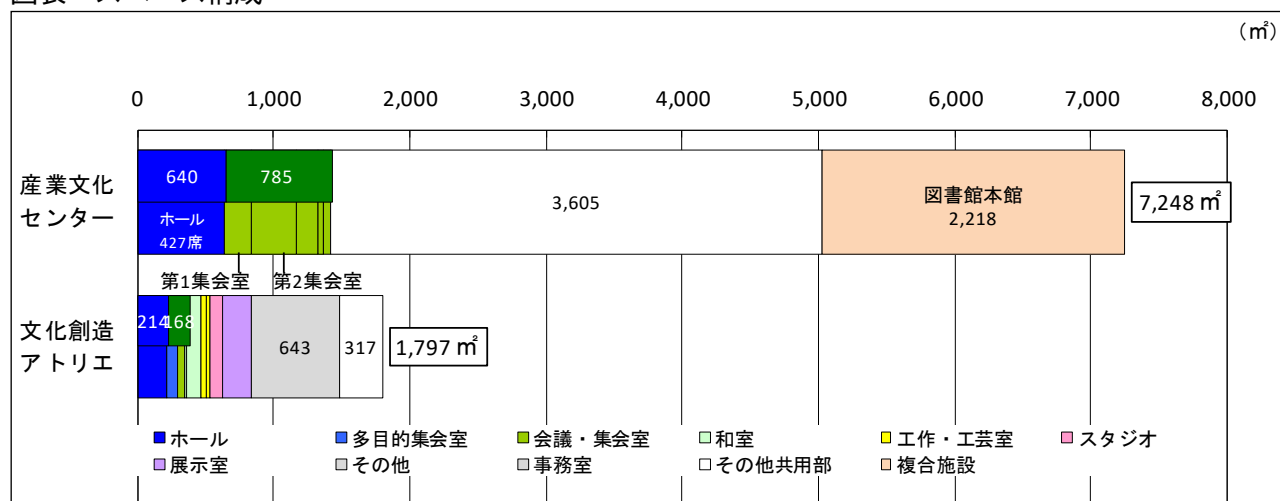
産業文化センターは、図書館本館（2,218 m²）を併設した施設であるため、文化施設としての規模は、図書館を除いた 5,029 m²となります。文化創造アトリエ・アミーゴの文化施設としての規模は 1,797 m²になります。両施設ともにホール、多目的集会室、会議・集会室を保有しています。

産業文化センターには、コンサート、講演会、演劇などに利用できるホール（延床面積：640 m²、固定席：427 席）があります。集会室は、第 1 集会室（203 m²）、第 2 集会室（320 m²）、研修室（169 m²）、小研修室（58 m²）、学習室（36 m²）があり、会議、集会、研修等に利用できます。また、第 1 集会室は畳敷きで、茶会や茶道の稽古、会議、ヨガなどに活用できる施設です。

文化創造アトリエ・アミーゴは、ホール（214 m²）、多目的ルーム（86 m²）と、防音施設のあるスタジオ（105 m²）や、ギャラリー（205 m²）があり、音楽や創作などの文化芸術活動を行うスペースと、それらを鑑賞するための機能を提供しています。また、クラフト講座やアート講座などのイベントが開催できる講義室（34 m²）も設置されています。

文化創造アトリエ・アミーゴでは、織物工房、染色工房を保有しています。

図表 スペース構成



産業文化センター（ホール）



文化創造アトリエ・アミーゴ（ホール）



（多目的ルーム）



2) 実態把握

① 利用状況

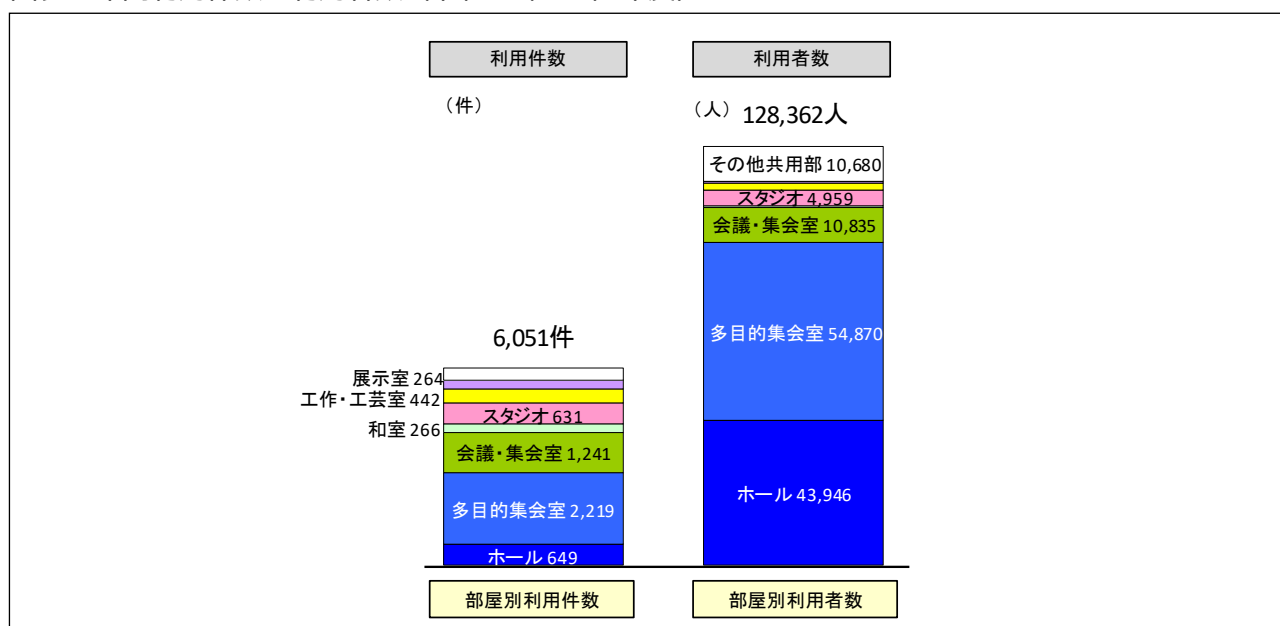
■ 全体の利用状況

令和4（2022）年度の文化施設の全体利用件数は6,051件、利用者数は12万8,362人です。

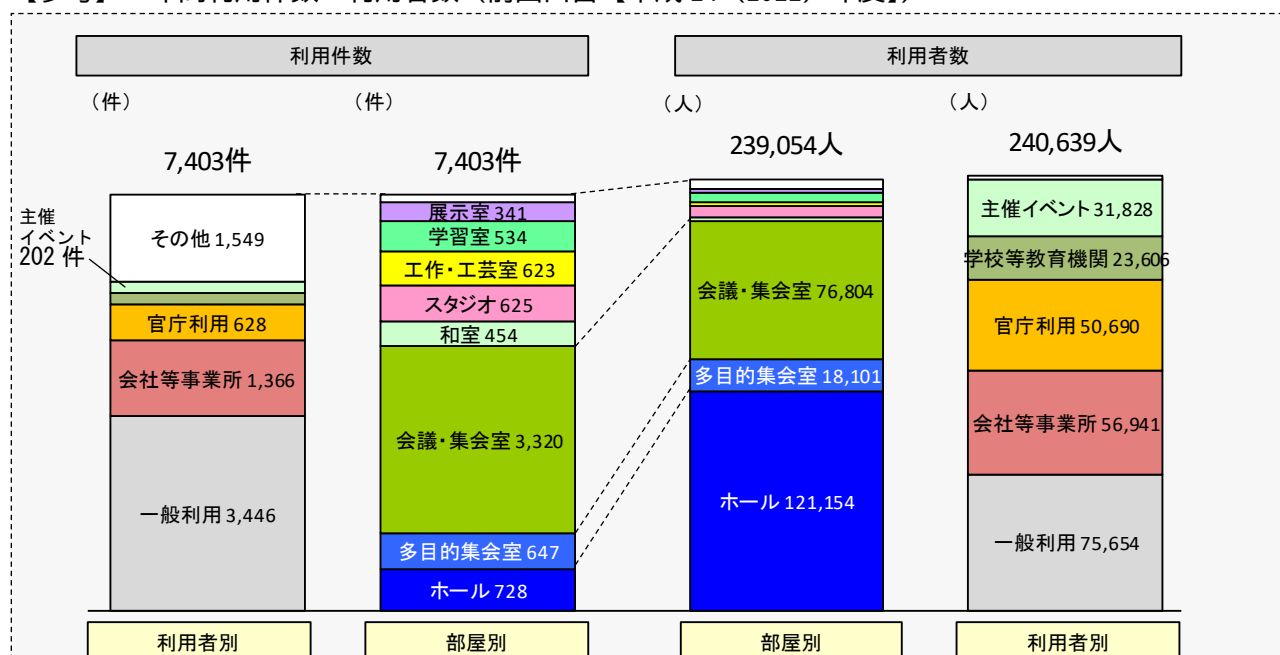
部屋別の利用件数では、多目的集会室2,219件（約37%）、次いで会議・集会室が1,241件（約21%）となっています。利用者数は、ホールが4万3,946人（約34%）で、このうち3万5,337人が産業文化センター、8,609人が文化創造アトリエ・アミーゴの利用です。

部屋別では、ホール、多目的会議室、会議室・集会室が利用の多い施設です。

図表 年間利用件数・利用者数（令和4（2022）年度）



【参考】 年間利用件数・利用者数（前回白書【平成24（2012）年度】）



※部屋別利用者数は1コマ当たりの延数での積上げのため利用者別利用者数(実数)と若干異なります

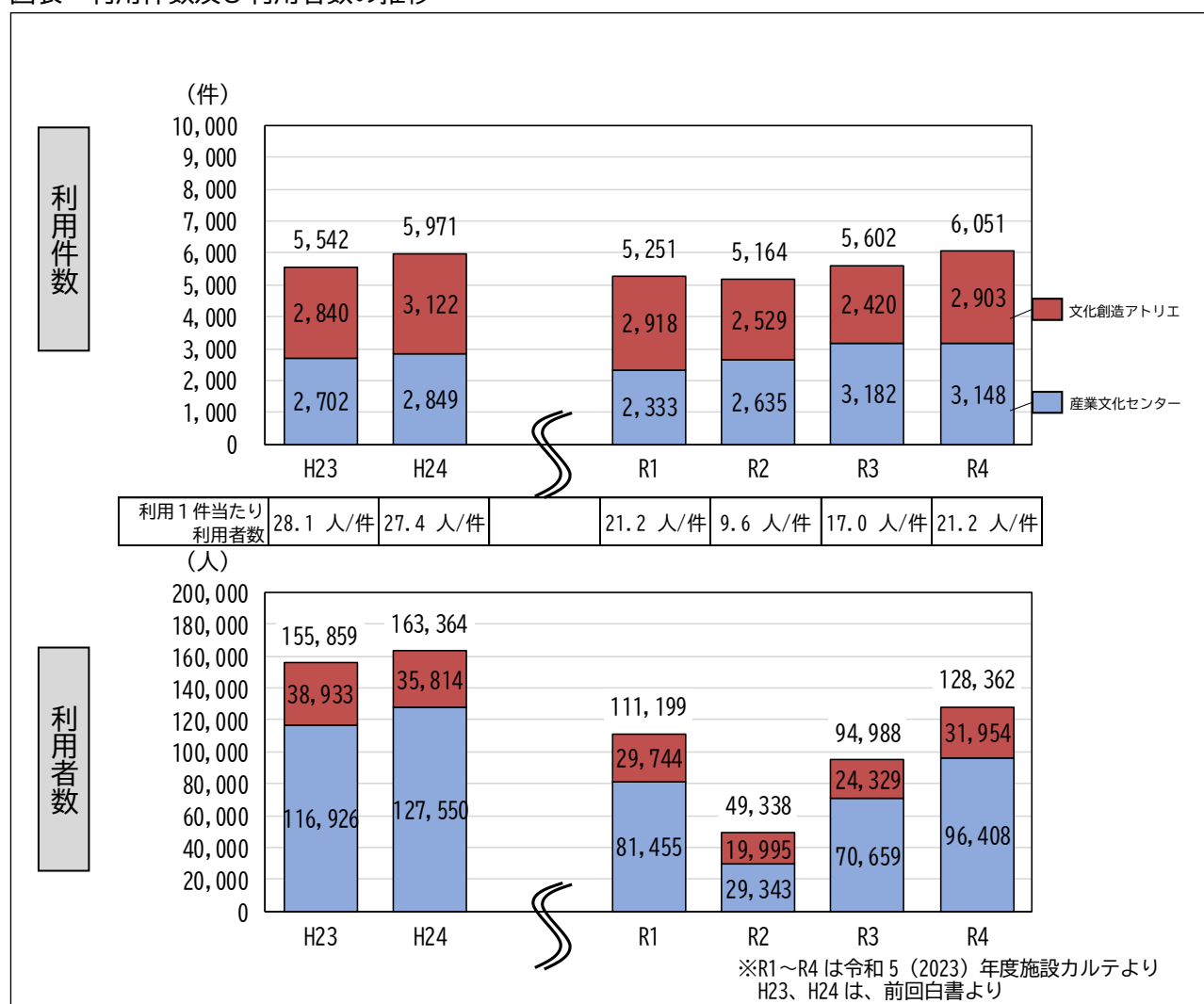
※1：利用件数には、宮寺公民館併設の宮寺配本所の利用件数を含む

令和元（2019）年度から令和 4（2022）年度にかけての利用件数は増加傾向にあり、令和 4（2022）年度は 6,051 件で、平成 24（2012）年度の利用件数よりも微増しています。

令和元（2019）年度から令和 4（2022）年度にかけての利用者数は、令和元（2019）年度の 11 万 1,199 人から令和 2（2020）年度は 4 万 9,338 人と大きく落ち込みましたが、令和 3（2021）年度に 9 万 4,988 人、令和 4（2022）年度は 12 万 8,362 人と増加傾向にあります。

利用 1 件当たりの利用者数をみると、令和 4（2022）年度は 21.2 人/件となっています。平成 24（2012）年度と比較すると、1 件当たり 6 人程度利用者数が減少しており、利用のされ方が変化している可能性があります。

図表 利用件数及び利用者数の推移



※令和 2（2020）年度の利用関連情報は、新型コロナウイルスの影響を受けていま

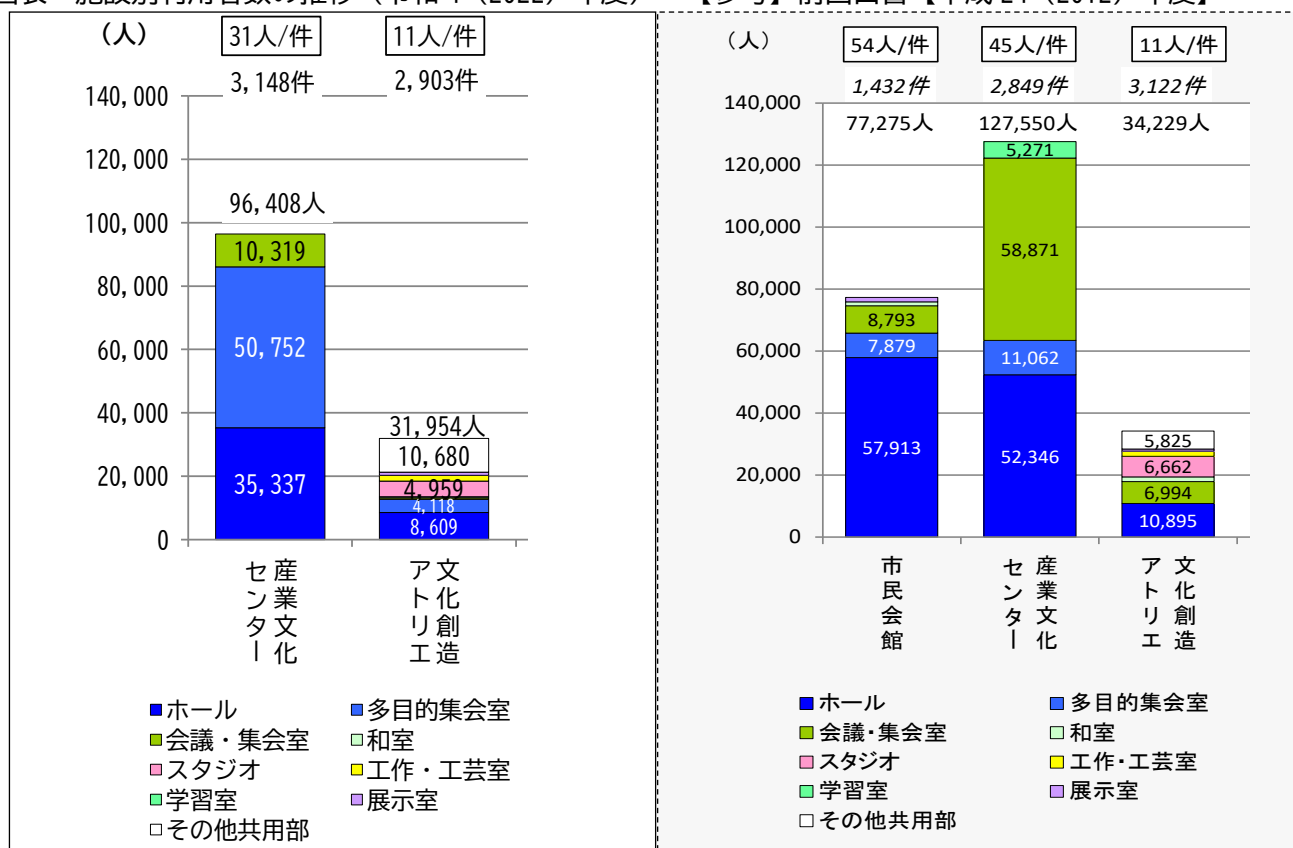
■ 施設別の利用状況

施設別利用状況は、産業文化センターが利用件数 3,148 件、利用者数 9 万 6,408 人、利用 1 件当たり利用者数 31 人/件、文化創造アトリエ・アミーゴが利用件数 2,903 件、利用者数 3 万 1,954 人、利用 1 件当たり利用者数 11 人/件となっています。

平成 24（2012）年度と比較すると、産業文化センターは、利用件数は微増ですが利用者数は約 3 万人減少しています。特に、会議・集会室の利用者数の減少が大きく、利用のされ方が変わってきている可能性があります。文化創造アトリエ・アミーゴは利用者数・利用件数ともに微減となっています。

図表 施設別利用者数の推移（令和 4（2022）年度）

【参考】前回白書【平成 24（2012）年度】

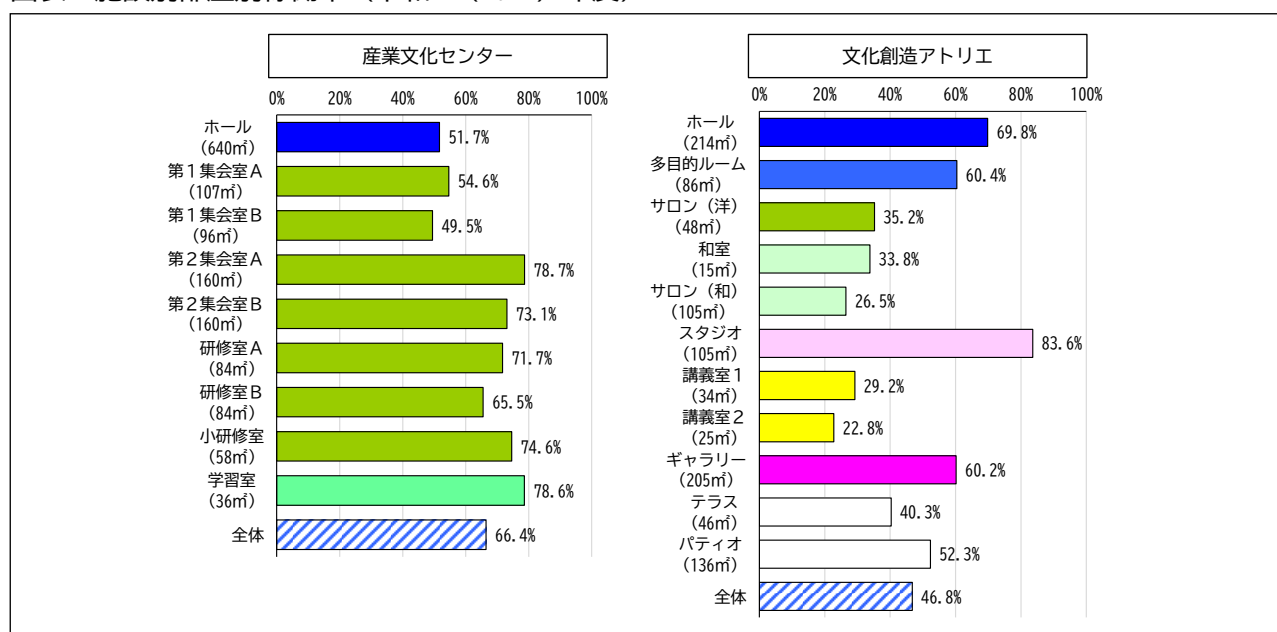


■ 施設別稼働率及び施設別部屋別稼働率

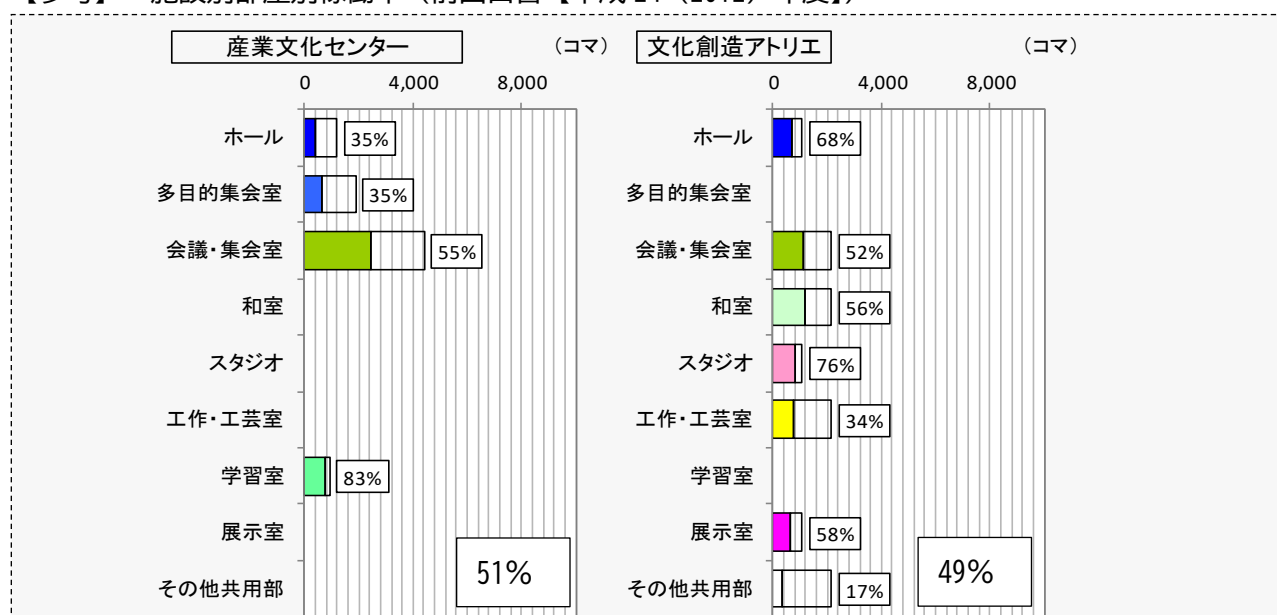
施設別の全体稼働率は産業文化センターが66.4%、文化創造アトリエ・アミーゴが約46.8%となっています。部屋別機能別にみると、産業文化センターはコンサートや講演会等で活用できるホール（固定席427席）が51.7%、集会室や研修室では稼働率70%以上の諸室もあるなど、比較的高い稼働率となっています。文化創造アトリエ・アミーゴは、防音施設のスタジオが83.6%と稼働率が高く、平土間のホールや多目的ルームも稼働率は60%を超えています。一方で、講義室(2)22.8%、サロン(和)26.5%と稼働率の低い諸室もあり、部屋ごとの稼働率にばらつきがみられます。

平成24（2012）年度と比較すると、産業文化センターの稼働率は増加しており、文化創造アトリエ・アミーゴは同程度となっています。

図表 施設別部屋別稼働率（令和4（2022）年度）



【参考】 施設別部屋別稼働率（前回白書【平成24（2012）年度】）



① コスト情報

文化施設の2施設の年間トータルコストは、2億4,166万円です。

年間トータルコストのうち、指定管理委託料が1億8,799億円（78%）、管理運営にかかるコストは828万円（3%）、減価償却相当額は4,540万円（19%）です。

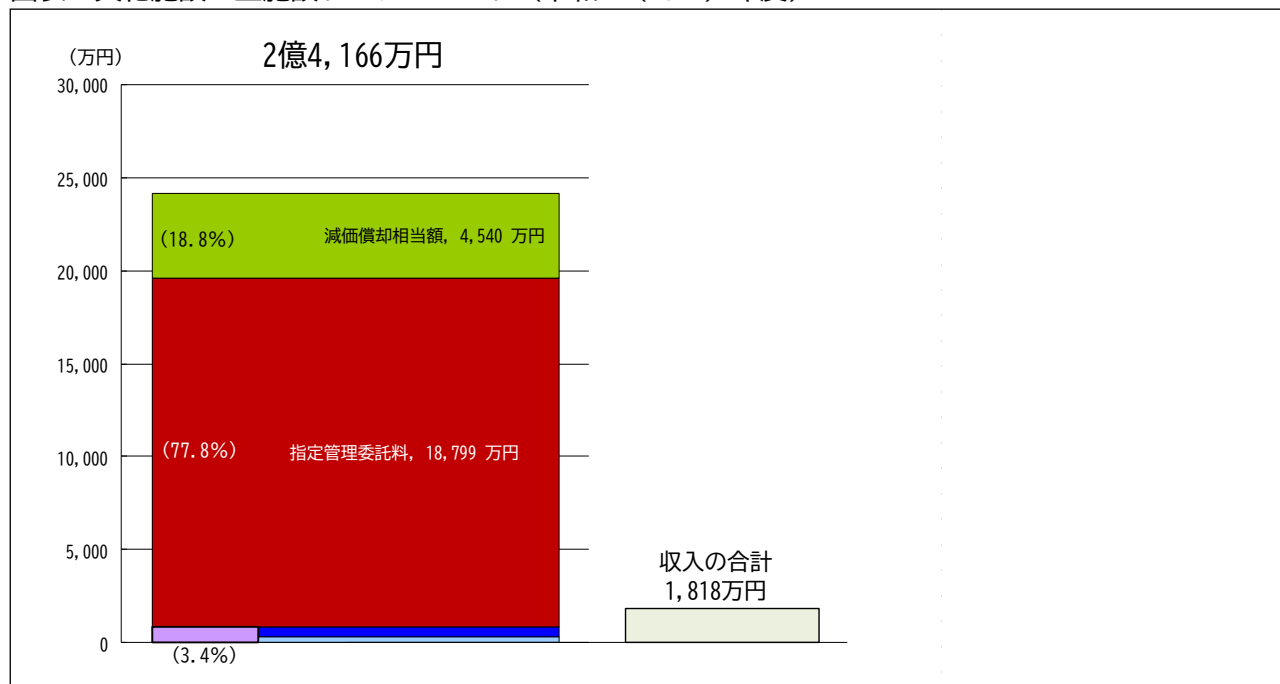
施設別トータルコストは産業文化センターが1億9,080万円、文化創造アトリエ・アミーゴが5,085万円で、そのうち指定管理委託料は産業文化センターが1億4,638万円、文化創造アトリエ・アミーゴが4,161万円となっています。

図表 施設別行政コスト計算書（令和4（2022）年度）

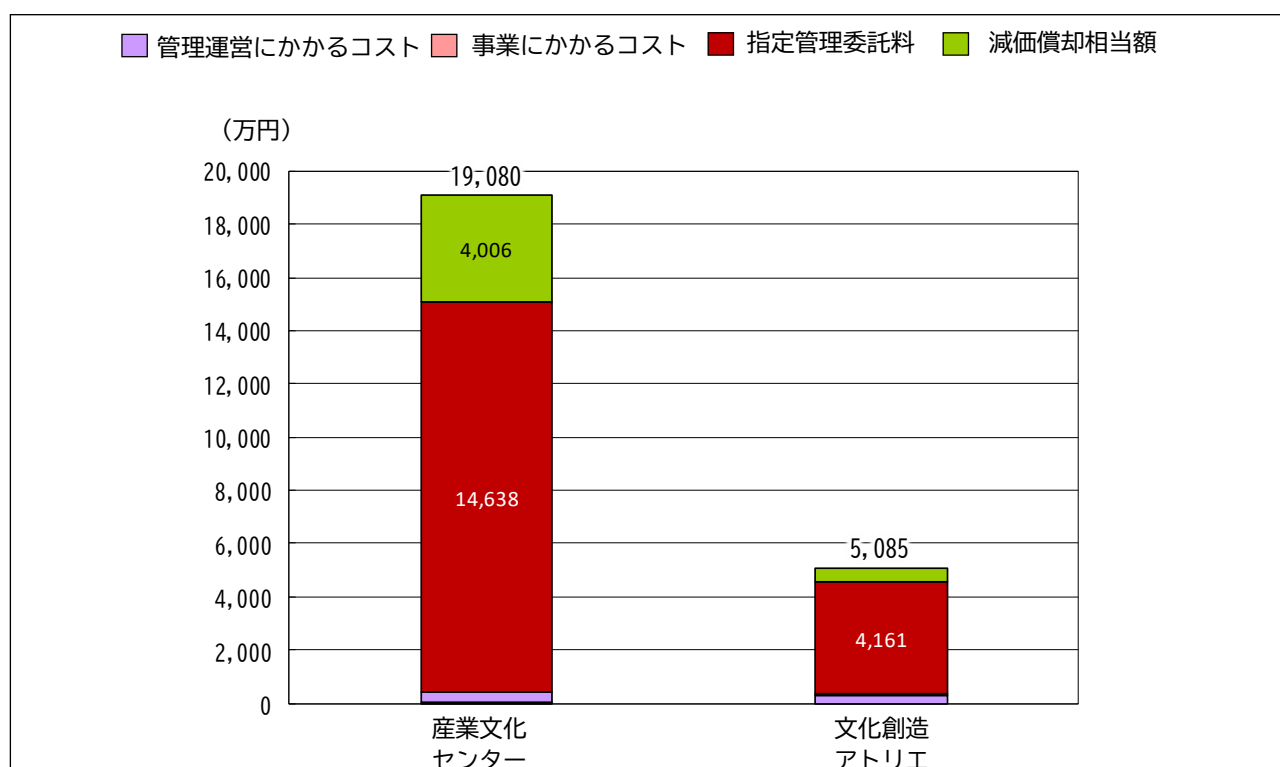
（円）

I.現金収支を伴うもの【コストの部】		産業文化 センター	文化創造 アトリエ	合計
管理 運営に かかる コスト	修繕費	3,553,000	1,100,000	4,653,000
	改修費	609,400	0	609,400
	使用料及び賃借料	0	2,723,010	2,723,010
	その他物件費	197,342	92,877	290,219
	管理運営にかかるコスト	4,359,742	3,915,887	8,275,629
指定管理委託料		146,379,648	41,605,571	187,985,219
現金収支を伴うコスト 計		150,739,390	45,521,458	196,260,848
【収入の部】				
収入	使用料収入	18,160,770	14,400	18,175,170
収入の合計		18,160,770	14,400	18,175,170
II.現金収支を伴わないもの				
コスト	減価償却相当額	40,064,477	5,331,983	45,396,460
III.総括				
コストの部合計（トータルコスト）		190,803,867	50,853,441	241,657,308

図表 文化施設 全施設トータルコスト（令和4（2022）年度）



図表 文化施設 施設別トータルコスト（令和4（2022）年度）



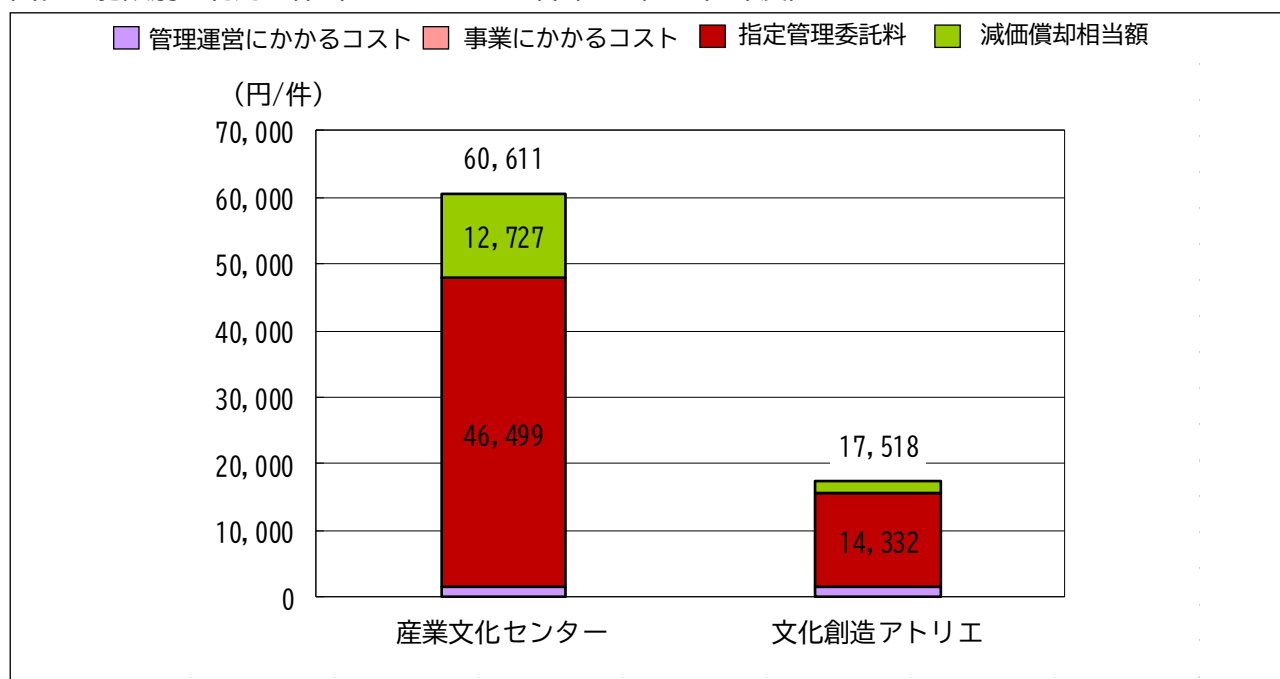
3) 分析

■ 利用 1 件当たりのコスト

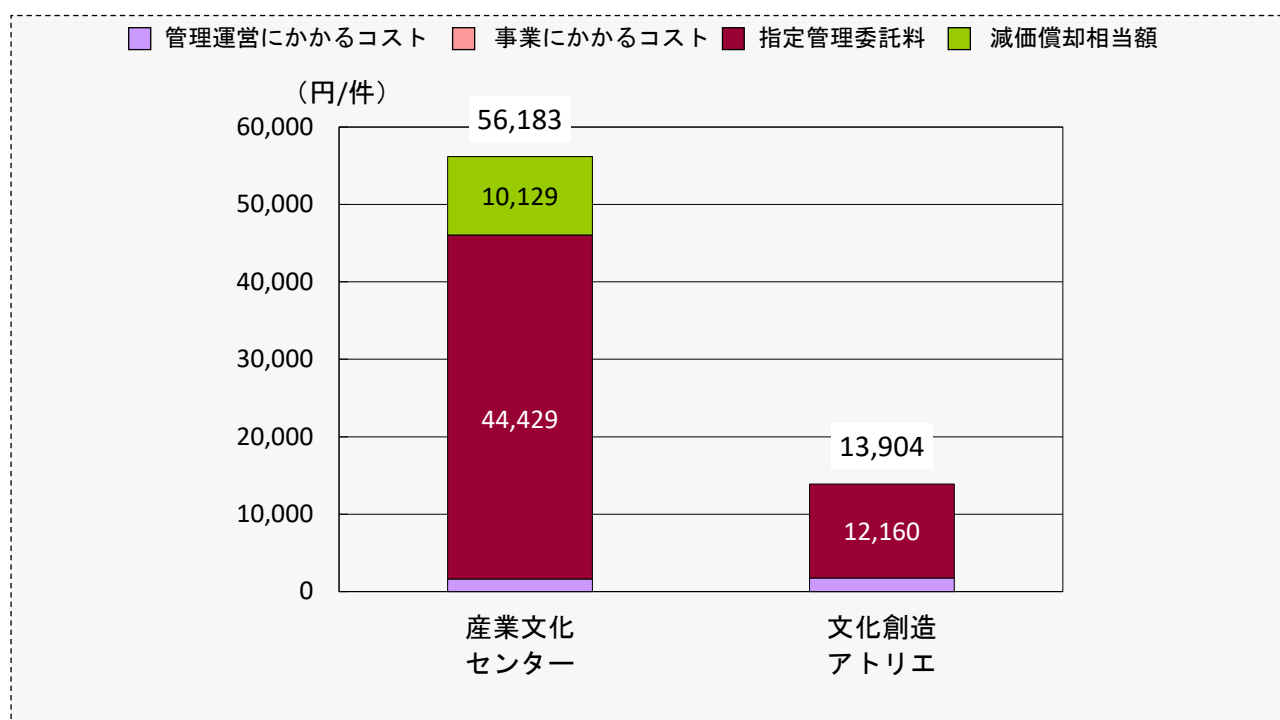
利用 1 件当たりのトータルコストは、産業文化センターは 6 万 611 円/件、文化創造アトリエ・アミーゴは 1 万 7,518 円/件となっています。

平成 24（2012）年度と比較すると、2 施設とも令和 4（2022）年度の利用 1 件当たりのコストが増加しています。

図表 施設別 利用 1 件当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



【参考】 施設別 利用 1 件当たりのコスト（前回白書【平成 24（2012）年度】）

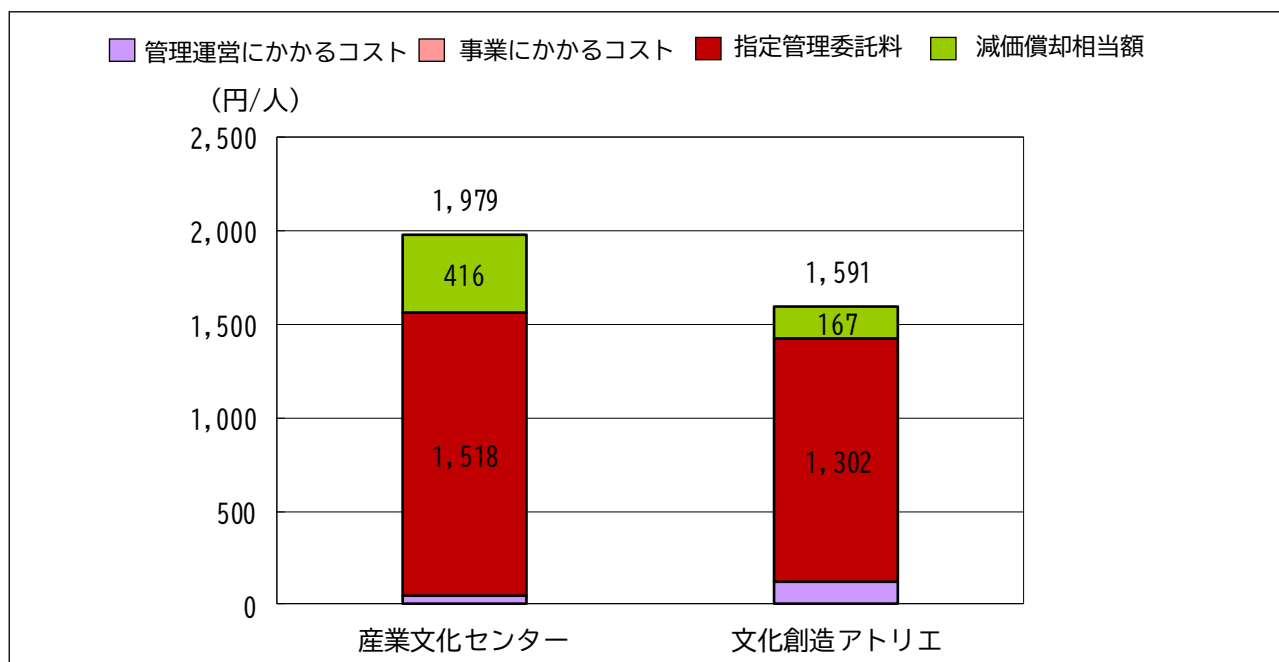


■ 利用者1人当たりのコスト

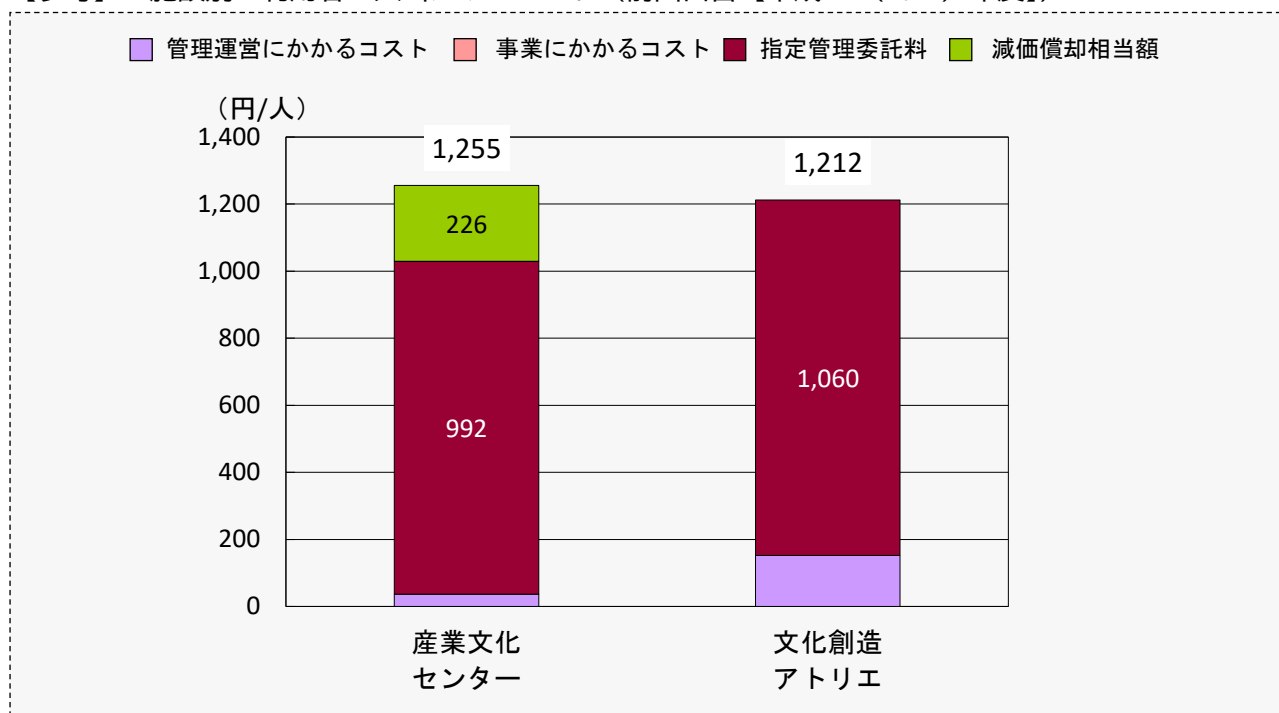
利用者1人当たりのトータルコストは、産業文化センターは1,979円/人、文化創造アトリエ・アミーゴは1,591円/人となっています。

平成24(2012)年度と比較すると、2施設とも令和4(2022)年度の利用1人当たりのコストが増加しています。

図表 施設別 利用者1人当たりのコスト（令和4(2022)年度）



【参考】 施設別 利用者1人当たりのコスト（前回白書【平成24(2012)年度】）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 利用推移をみると、利用件数は横ばいの推移ですが、利用者数は平成 23（2011）年度、平成 24（2012）年度の 15 万人以上の利用に対して、令和 4（2022）年度は 13 万人程度に減少しています。
- ② 産業文化センターの施設別利用者数の推移は、平成 24（2012）年度と比較して多目的集会室の利用が 5 倍に増加しています。

≪部屋別の利用実態≫

- ③ 産業文化センターの部屋別の稼働率は、全体が 66%で諸室別にみても 50%を超えており、一様に利用されています。
- ④ 文化創造アトリエ・アミーゴの部屋別の稼働率は、スタジオの 84%が最も高く、次いでホールの 70%、多目的ルームの 60%となっている一方、最も低い講義室 2 は 23%となっており、部屋の利用にばらつきがみられます。

<コスト状況>

- ⑤ 文化施設のトータルコスト 2 億 4,166 億円のうち 78%が指定管理委託料となっています。1 人当たりのコストパフォーマンスは、平成 24（2012）年度と比較して増加しています。

4) 課題の明確化

- 低稼働率の諸室機能やその配置は、利用者ニーズに応じた見直しについても検討する必要があります。
- 文化創造アトリエ・アミーゴは、築年数が経過しており、施設の安全性確保のためには、施設のあり方を検討する必要があります。

(5) 図書館

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、図書館を5施設保有しています。図書館の管理運営は、本館が市の直営、分館は指定管理者に委託しています。

図書館本館は産業文化センターと複合化しています。西武分館は単独施設、金子分館、藤沢分館は、地区センターとの複合施設となっています。宮寺配本所は地区センターの部屋に設置しています。

設置目的：市民の読書を推進する知的基盤として、さまざまな資料や情報を収集、保存、提供する情報拠点施設を目指すとともに、市民生活の課題解決を支援し、地域の発展を促進する各種サービスをすべての市民に提供していくことと併せて、地域資料や行政資料の収集を行うことで、本市の歴史を未来に伝え、市民の郷土愛を育むことを目的とする

図表 施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる 建物)	複合・併設施設		土地 所有	備考
						文化系施設	地区 センター		
豊岡 第二	1 図書館本館	向陽台1-1-7	2,218.36	昭和59	RC造	●		市	
金子	2 図書館金子分館	寺竹535-1	307.77	平成5	RC造		●	賃貸借 (一部)	
宮寺・ 二本木	3 宮寺配本所	宮寺2405-1	57.75	昭和58	RC造		●	市	洋室Aを兼用で使用
藤沢 第一	4 図書館藤沢分館	下藤沢5-17-1	1,123.42	平成12	RC造		●	市	
西武	5 図書館西武分館	仏子1084-12	2,120.11	平成4	RC造			市	
合計			5,827.41						

昭和●：建築年度のオレンジハッチは、老朽化（築30年以上）を示す（令和6（2024）年度基準）

出典：「延床面積」 令和4（2022）年度固定資産台帳

② 事業内容

図書の貸し出し、閲覧、市民からの相談業務にあたる他に図書館本館及び分館において子どもから、お年寄りまで自由に参加できる主催事業を行っています。

- ・主催事業：おたのしみ会・おはなし会・古典朗読会・工作ワークショップ・映画上映会等
- 西武分館のみ分館自体に会議室等を設けて貸室事業を行っています。

③ 開館時間・開館日数

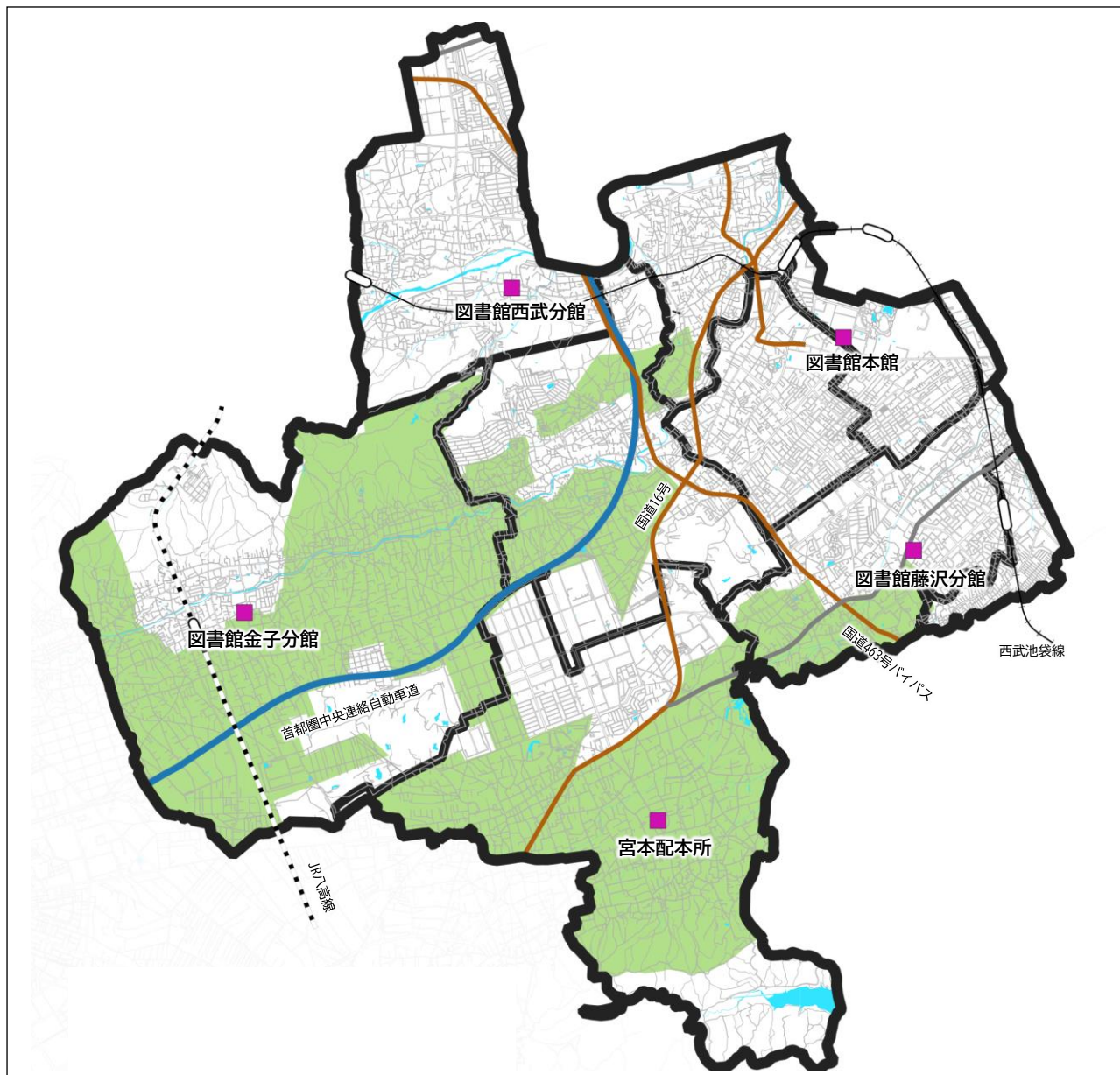
施設名	開館時間	休館日	開館日数
図書館本館	火曜日～金曜日 午前 9 時～午後 8 時 ※閲覧席の利用は午後 9 時 30 分まで 土曜日・日曜日、休日 午前 9 時～午後 5 時	毎週月曜日（休日は開館します） 年未年始（12 月 29 日～1 月 4 日） 特別整理日（年間 5 日間程度） 館内整理日（毎月末。ただし、末日が土曜日・日曜日・月曜日・休日の場合と 8 月は翌月最初の平日）	283 日
金子分館	火曜日～日曜日、休日 午前 9 時～午後 5 時		284 日
宮寺配本所	火曜日～土曜日 午前 9 時 30 分～午後 4 時	毎週、日曜日・月曜日・休日 年未年始（12 月 29 日～1 月 4 日） 特別整理日（年間 5 日間程度） 館内整理日（毎月末。ただし、末日が土曜日・日曜日・月曜日・休日の場合と 8 月は翌月最初の平日）	—
藤沢分館	火曜日～金曜日 午前 9 時～午後 8 時 土曜日・日曜日、休日 午前 9 時～午後 5 時	毎週月曜日（休日は開館します） 年未年始（12 月 29 日～1 月 4 日） 特別整理日（年間 5 日間程度） 館内整理日（毎月末。ただし、末日が土曜日・日曜日・月曜日・休日の場合と 8 月は翌月最初の平日）	284 日
西武分館	火曜日～金曜日 午前 9 時～午後 8 時 土曜日・日曜日、休日 午前 9 時から午後 5 時		284 日

※開館日数は入間市施設カルテ令和 4（2022）年度の利用関連情報

出典：図書館要覧、市 HP

④ 配置状況

図表 図書館位置図

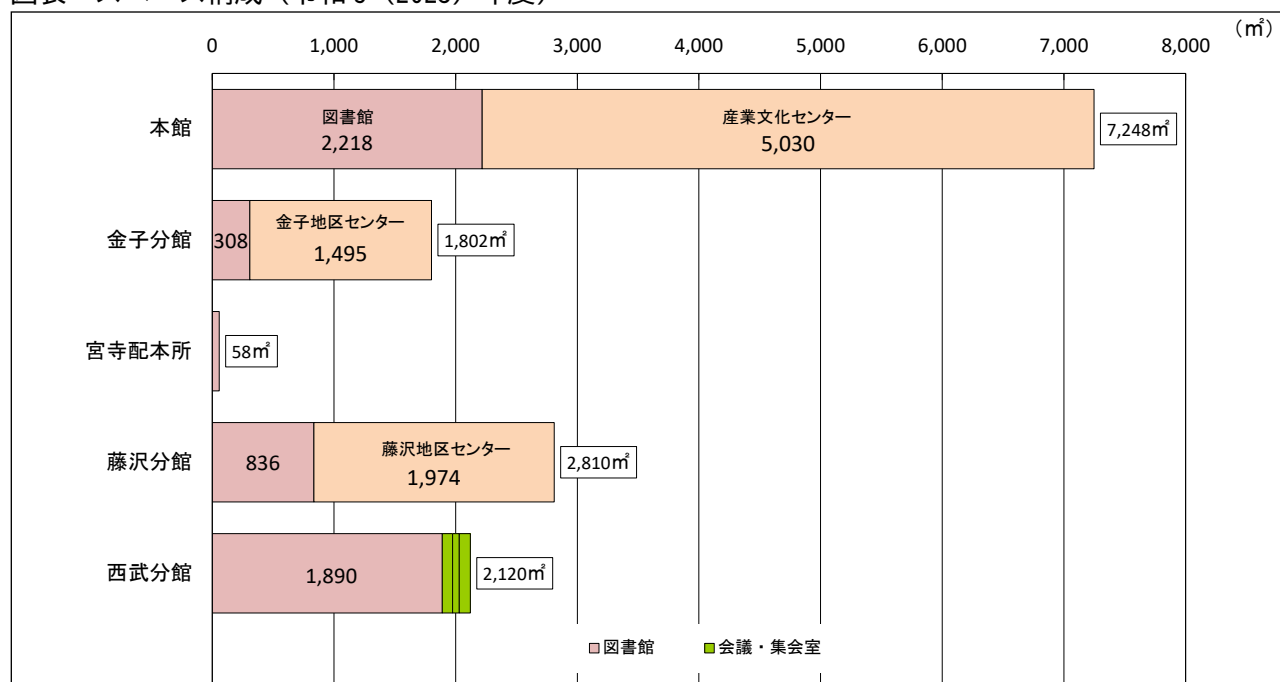


⑤ スペース構成

産業文化センターと併設の図書館本館が2,218 m²と最も規模が大きく、次いで規模が大きいのは、単独施設の西武分館で2,120 m²です。

地区センターと複合・設置している図書館には、金子分館 308 m²、藤沢分館 836 m²、宮寺配本所 58 m²があります。

図表 スペース構成（令和5（2023）年度）



※宮本配本所は、地区センターの部屋を兼用しているため本所の面積のみを表示

⑥ 蔵書数

図書館の総蔵書数は57万5,203点です。内、図書資料（一般書・児童図書・雑誌）は56万4,005点（98%）です。

施設別内訳は、本館が26万4,785点と最も多く、次いで西武分館の14万3,272点、藤沢分館11万3,584点、金子分館5万4,596点になります。また、宮本配本所7,287点、移動図書館3,778点の蔵書があります。

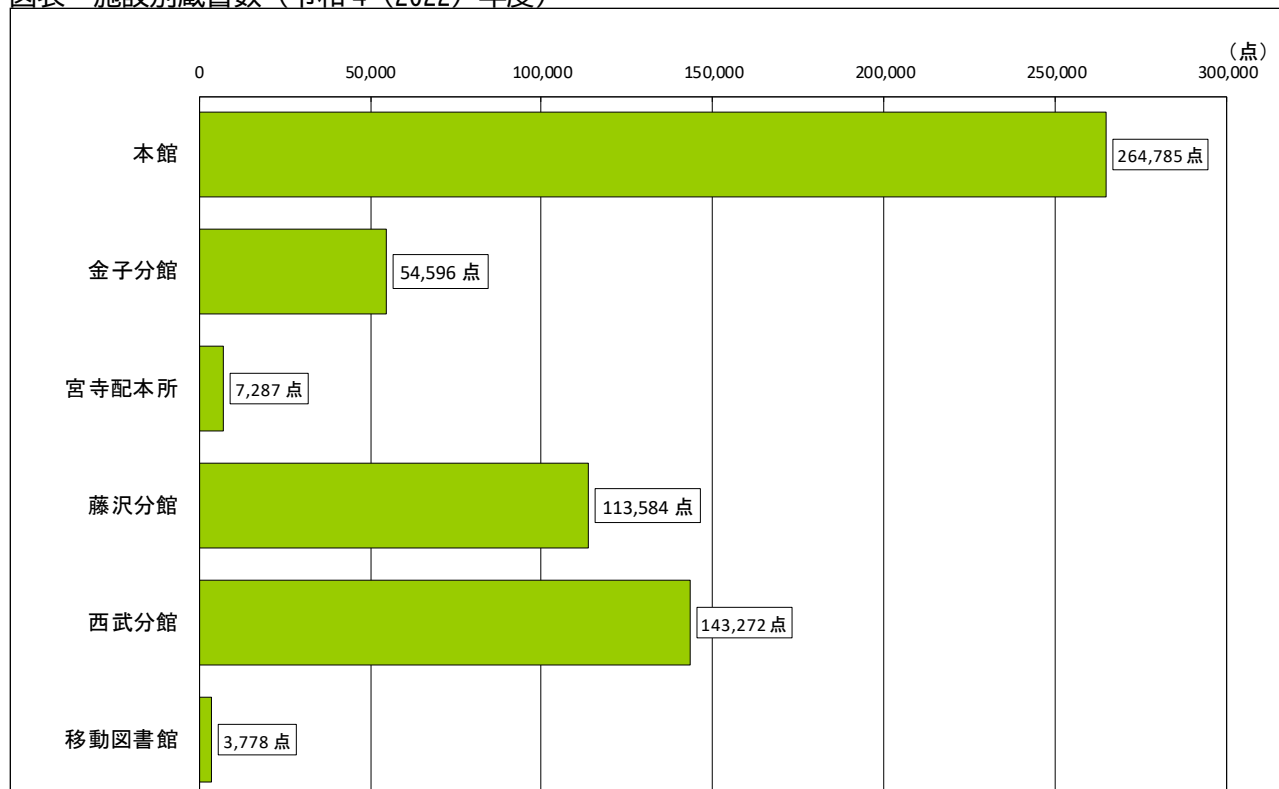
図表 総蔵書数（令和4（2022）年度）

（点）

	一般 図書	児童 図書	点字 資料	新 聞 (種類)	雑 誌 (種類)	複製画	コンパクト ディスク	カセット 含録音図書	ビデオ テープ	DVD	合計
令和4年度	493,318	70,371	783	46	316	39	5,474	2,065	1,354	1,437	575,203

出典：入間市統計書

図表 施設別蔵書数（令和4（2022）年度）



出典：令和5年度図書館要覧

2) 実態把握

① 利用状況

■ 全体の利用状況

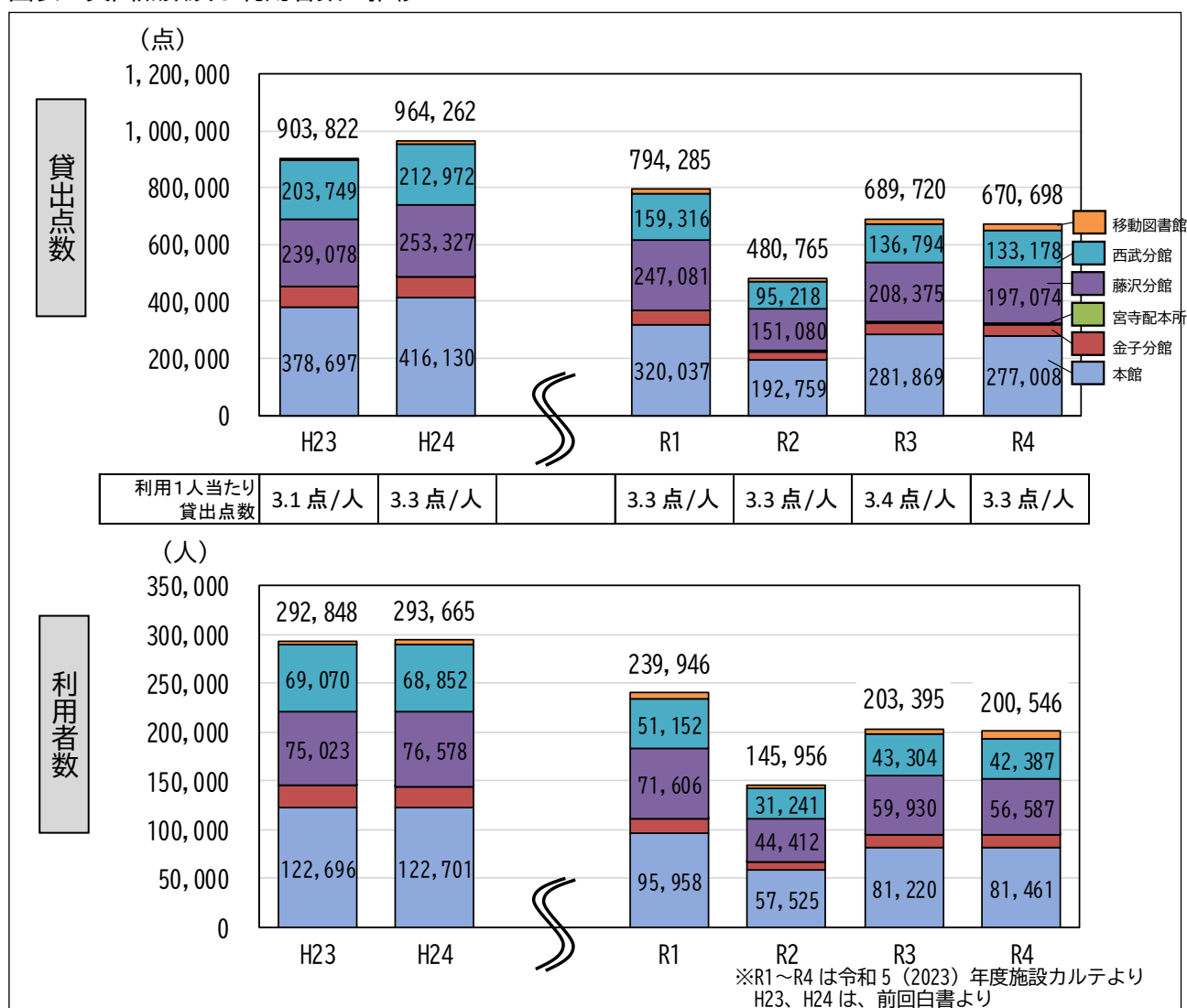
令和4（2022）年度の全体貸出点数は67万698点、利用者数は20万546人です。

■ 利用推移

令和元（2019）年度の貸出点数は79万4,285点から令和2（2020）年度は48万765点と大きく減少しましたが、令和3（2021）年度は68万9,720点、令和4（2022）年度は67万698点となっています。利用者数も同様に令和元（2019）年度は23万9,946人から令和2（2020）年度は14万5,956人と大きく減少しましたが、令和3（2021）年度は20万3,395人、令和4（2022）年度は20万546人となっています。

利用1人当たりの貸出点数をみると、どの年度も概ね3.3点/人と同程度の利用となっています。

図表 貸出点数及び利用者数の推移



※令和2（2022）年度の利用関連情報は、新型コロナウイルスの影響を受けています。

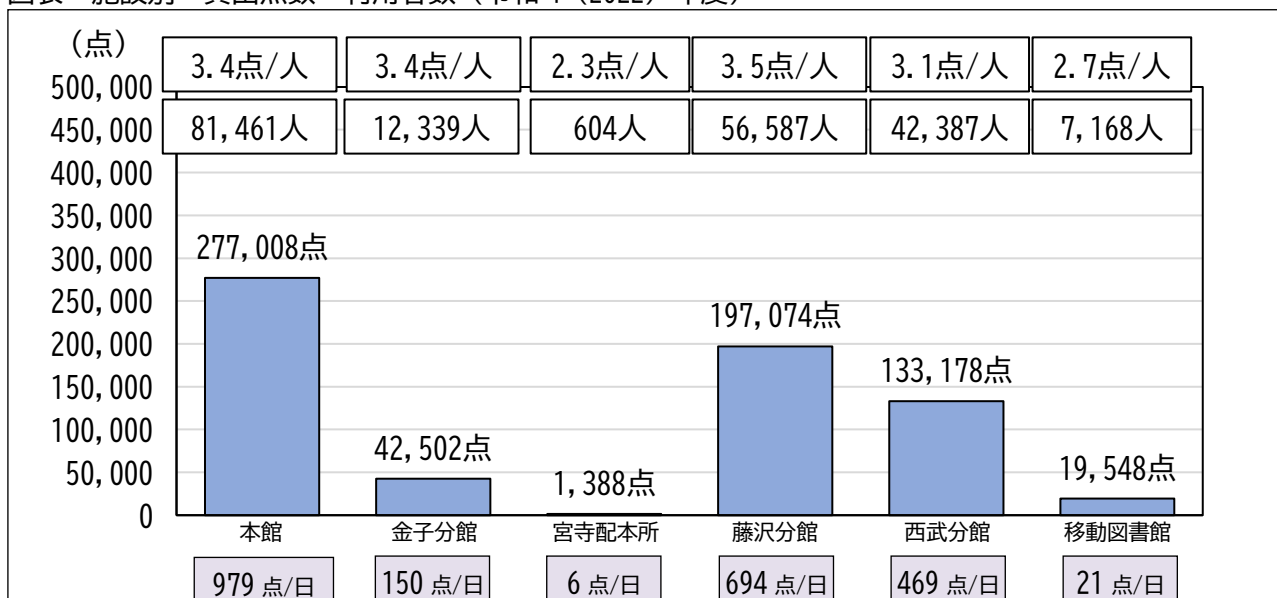
出典：入間市統計書

■ 施設別の利用状況

令和 4（2022）年度の施設別貸出点数と利用者数をみると、図書館本館が 27 万 7,008 点・8 万 1,461 人と最も多く、次いで藤沢分館となっています。

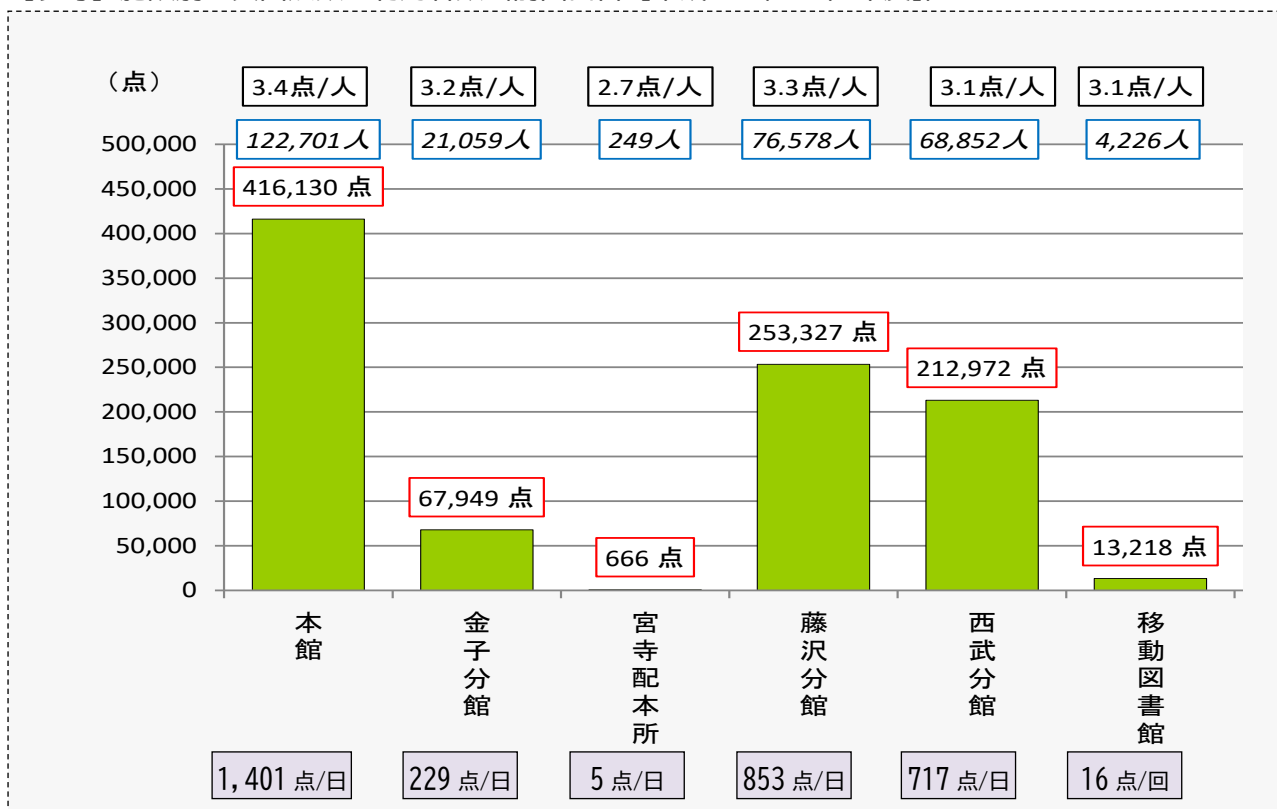
平成 24（2012）年度の施設別貸出点数と利用者数を比較すると、宮寺配本所と移動図書館は微増していますが、本館と分館は減少しています。

図表 施設別 貸出点数・利用者数（令和 4（2022）年度）



出典：入間市統計書、図書館要覧

【参考】施設別 貸出点数・利用者数（前回白書【平成 24（2012）年度】）



出典：入間市の教育

■ 図書館相互利用状況（所沢、飯能、狭山、入間、日高）

入間市の図書館は入間市に在住・在勤・在学の方の他、所沢市、飯能市、狭山市、日高市に在住の方も利用することができます。

令和 4（2022）年度の市外利用者数が最も多いのは、藤沢分館の 1 万 1,244 人で、次いで本館 9,809 人となっています。市外利用者率は藤沢分館が 20%で最も多く、次いで西武分館の 13%となっています。

平成 24（2012）年度と比較すると、市外利用者は 4 施設とも減少しています。減少率が高いのは、金子分館（-58%）で、次いで西武分館（-54%）となっています。

図表 図書館相互利用状況（所沢市、飯能市、狭山市、日高市、入間市）（令和 4（2022）年度）

（人）

	所沢市民	飯能市民	狭山市民	日高市民	その他 （左記以外）	市外利用 者計	市外利用 者率	入間市民
本館	1,698	682	6,861	82	486	9,809	(11%)	79,424
金子分館	78	520	19	8	163	788	(6%)	11,551
藤沢分館	8,654	228	2,253	15	94	11,244	(20%)	45,343
西武分館	306	4,501	575	92	148	5,622	(13%)	36,765

出典：入間市統計書、図書館相互利用状況

【参考】 図書館相互利用状況（所沢市、飯能市、狭山市、入間市）（前回白書【平成 24（2012）年度】）

（人）

	所沢市民	飯能市民	狭山市民	その他 （4市以外）	市外利用 者計	市外利用 者率	入間市民
本館・配本所 ・移動図書館	3,648	2,039	8,848	886	15,421	(12%)	111,755
金子分館	173	1,411	209	103	1,896	(9%)	19,163
藤沢分館	11,302	335	2,153	548	14,338	(19%)	62,240
西武分館	318	10,519	796	496	12,129	(18%)	56,723

② 運営状況

図書館の管理運営は、本館が市の直営で、分館は、令和 3（2021）年度より指定管理者が行っています。

令和 4（2022）年度の本館の運営人員は 38 人で、内訳は、一般職員が 10 人、再任用職員が 2 人、嘱託職員が 1 人、パート職員が 25 人となっています。

図表 運営人員（令和 4（2022）年度）

（人）

	本館	金子分館	藤沢分館	西武分館	合計
運営形態	直営	指定管理	指定管理	指定管理	
管理運営に 要する人員					
一般職員（正規職員）	10	0	0	0	10
再任用職員	2	0	0	0	2
嘱託職員	1	0	0	0	1
パート職員	25	0	0	0	25
計	38	0	0	0	38

③ コスト情報

図書館の4施設の年間トータルコストは、3億6,375万円です。

年間トータルコストのうち、事業にかかるコストは1億2,384万円(34%)、管理運営にかかるコストは5,622万円(16%)、指定管理委託料は1億5,756億円(43%)、減価償却相当額は2,612万円(7%)です。また、使用料収入12万円となっています。

※宮本配本所については、コストには含んでいません。

図表 施設別行政コスト計算書(令和4(2022)年度)

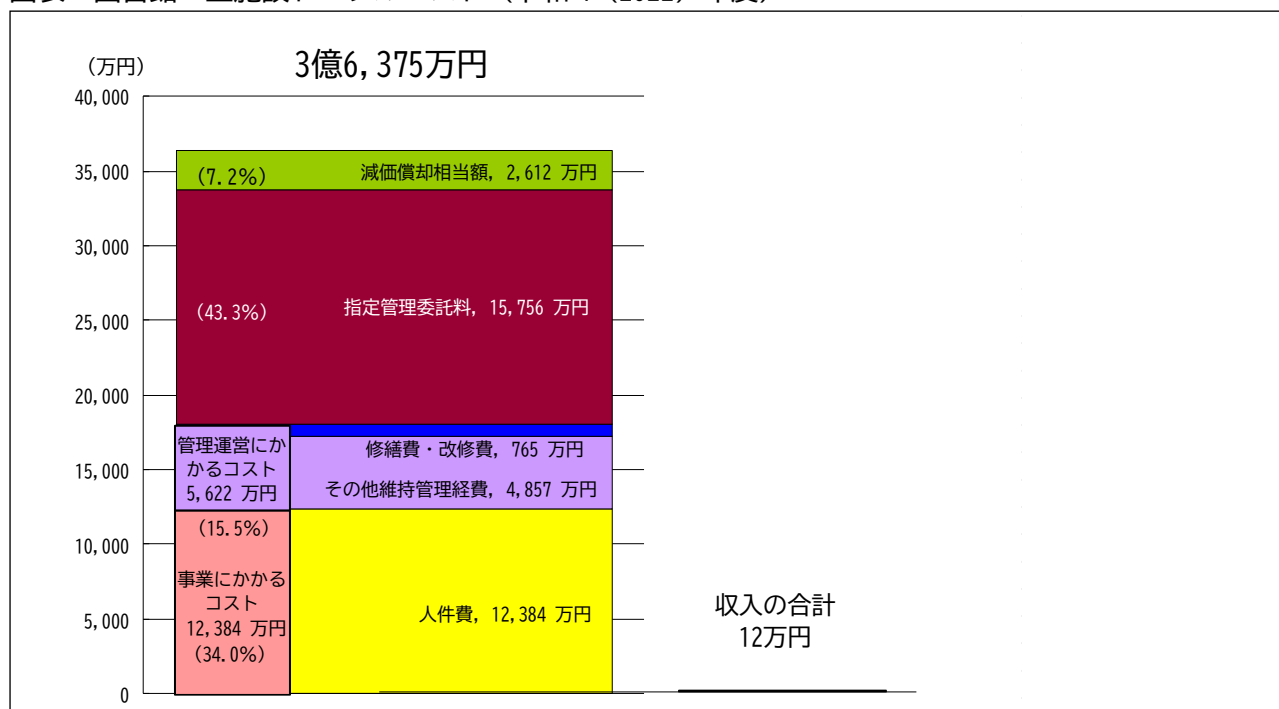
(円)

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		本館	金子分館	藤沢分館	西武分館	合計
か管理運営に かかるコスト	修繕費	42,900	0	0	0	42,900
	改修費	0	0	0	7,612,000	7,612,000
	委託費	9,173,670	0	0	0	9,173,670
	使用料及び賃借料	11,653,955	227,040	0	0	11,880,995
	その他物件費	27,471,000	5,230	11,904	25,840	27,513,974
	管理運営にかかるコスト	48,341,525	232,270	11,904	7,637,840	56,223,539
コカ事 スか業 トるに	人件費	123,842,000	0	0	0	123,842,000
	事業にかかるコスト	123,842,000	0	0	0	123,842,000
指定管理委託料		0	52,518,999	52,518,999	52,518,999	157,556,997
現金収支を伴うコスト 計		172,183,525	52,751,269	52,530,903	60,156,839	337,622,536
【収入の部】						
収入	使用料収入	80,720	0	0	38,097	118,817
収入の合計		80,720	0	0	38,097	118,817
II. 現金収支を伴わないもの						
コスト	減価償却相当額	6,788,181	830,979	5,854,020	12,651,000	26,124,180
III. 総括						
コストの部合計(トータルコスト)		178,971,706	53,582,248	58,384,923	72,807,839	363,746,716

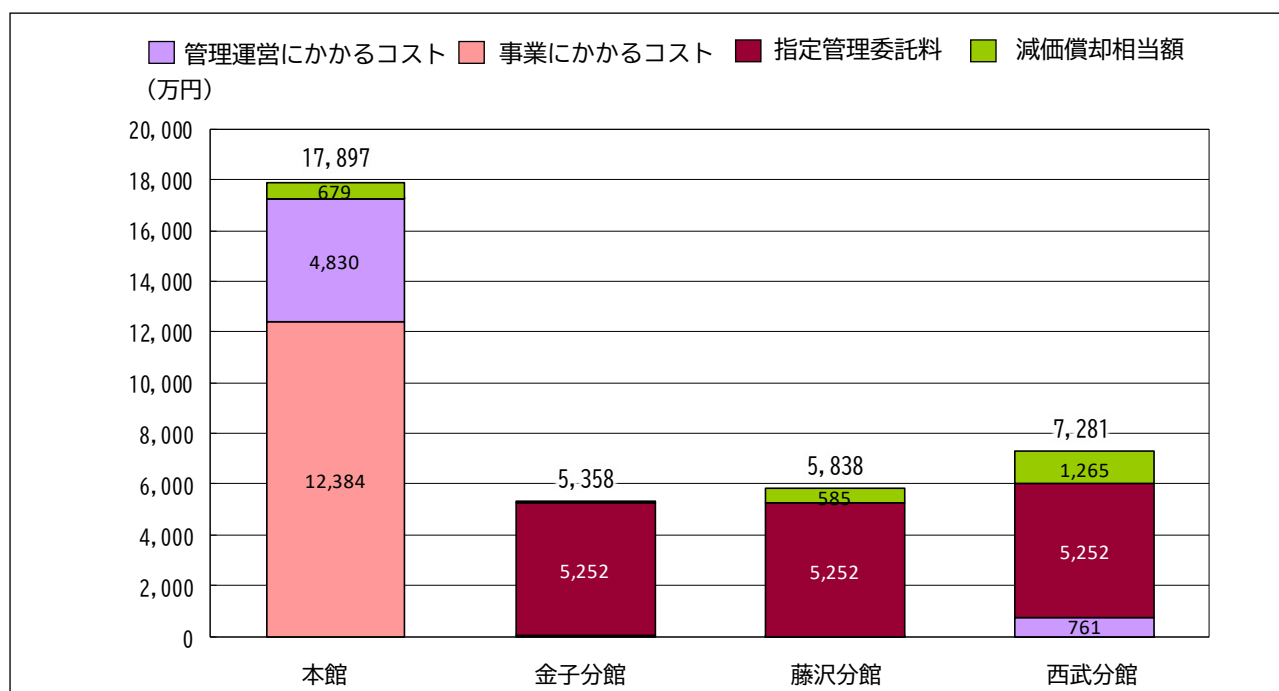
※指定管理料は施設数で按分して計上しています。

施設別トータルコストは、金子分館 5,358 万円から図書館本館 1 億 7,897 万円となっています。

図表 図書館 全施設トータルコスト（令和 4（2022）年度）



図表 図書館 施設別トータルコスト（令和 4（2022）年度）



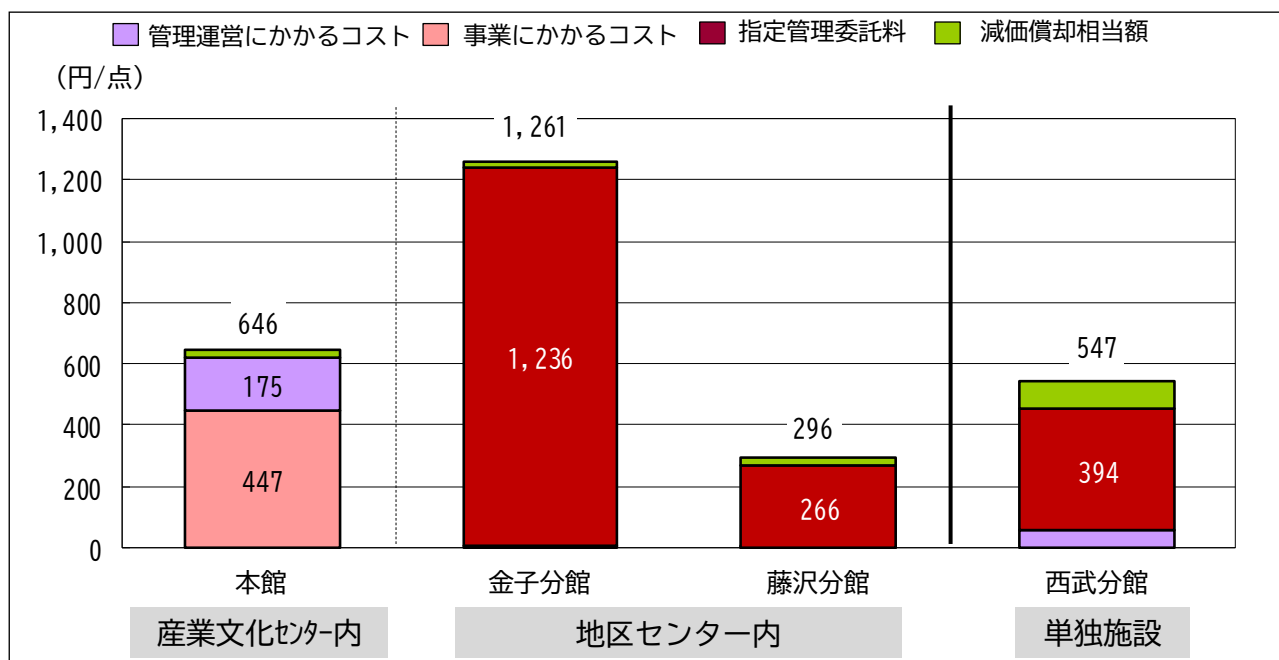
3) 分析

■ 貸出1点当たりのコスト

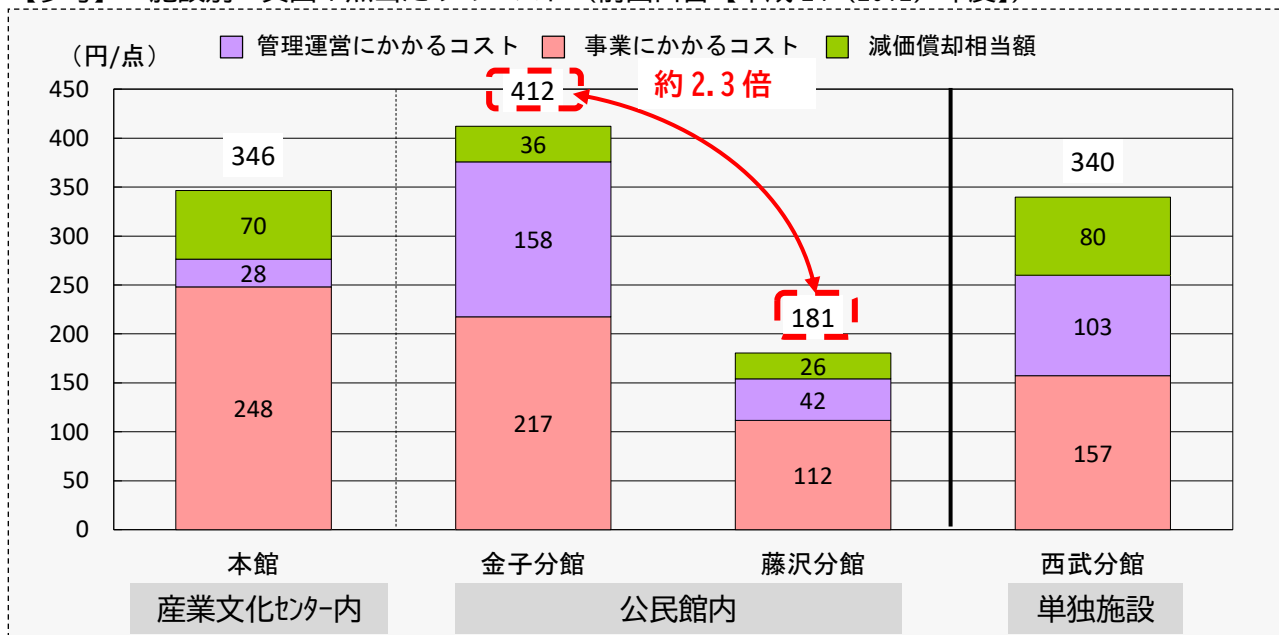
年間貸出点数とトータルコストから、貸出1点当たりにかかるコストを算出すると、藤沢分館の296 円/点から金子分館の1,261 円/点となっています。

平成24（2012）年度と比較すると各施設とも増加しており、特に、金子分館は約3倍となっています。

図表 施設別 貸出1点当たりのコスト（令和4（2022）年度）



【参考】 施設別 貸出1点当たりのコスト（前回白書【平成24（2012）年度】）

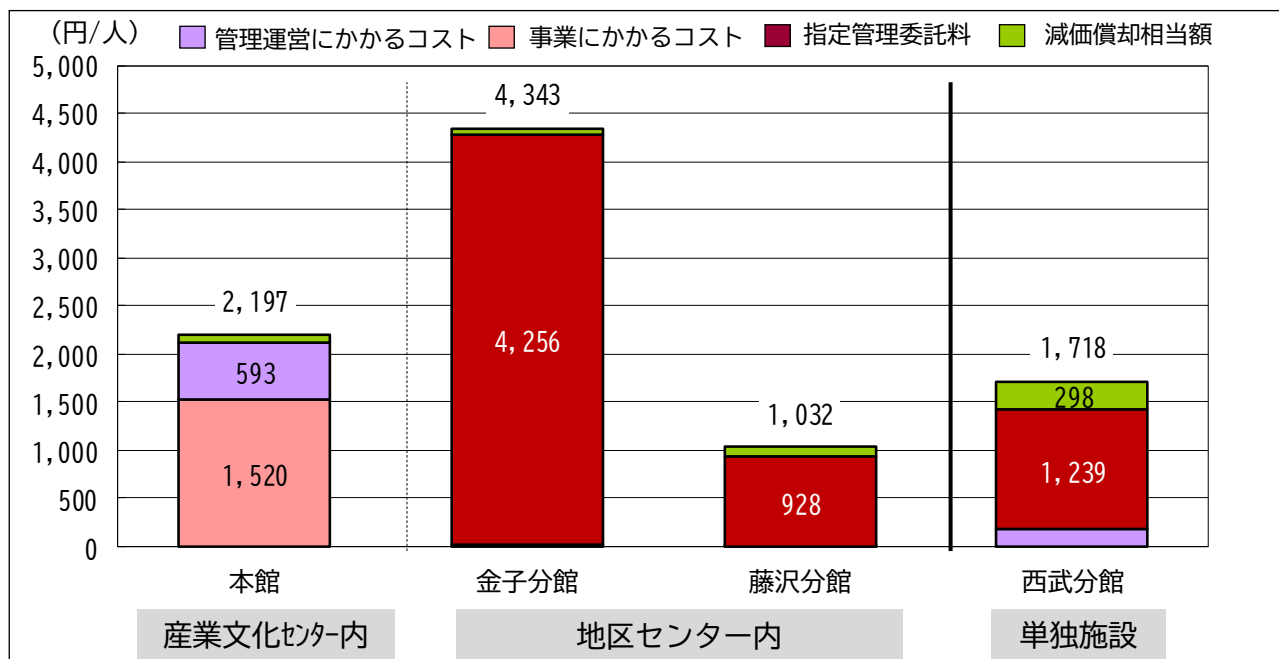


■ 利用者 1 人当たりのコスト

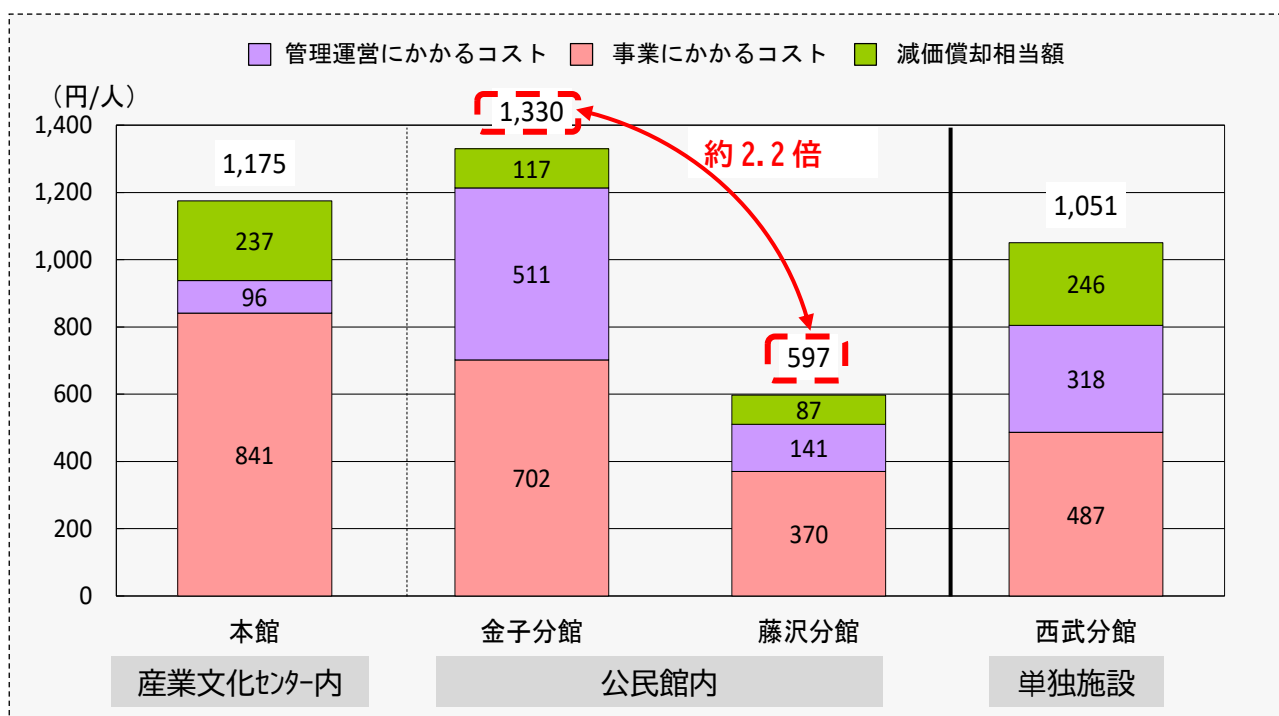
年間利用者数とトータルコストから、利用者 1 人当たりにかかるコストを算出すると、藤沢分館の 1,032 円/人から金子分館の 4,343 円/人となっています。

平成 24（2012）年度と比較すると各施設とも増加しており、特に、金子分館は約 3.3 倍となっています。

図表 施設別 利用者 1 人当たりのコスト（令和 4（2022）年度）



【参考】 施設別 利用者 1 人当たりのコスト（前回白書【平成 24（2012）年度】）



■ 分析のまとめ

<利用状況>

- ① 利用者数・貸出点数の推移をみると、平成 23（2011）年度、平成 24（2012）年度は貸出点数が 90 万点以上、利用者数は 30 万人程度でしたが、令和 4（2022）年度は貸出点数が 67 万点、利用者数が 20 万人と、平成 24（2012）年度の水準に達していません。
- ② 施設別貸出点数・利用者数をみると、令和 4（2022）年度の宮寺配本所と移動図書館は平成 24（2012）年度と比べ微増していますが、本館と分館は減少しています。
- ③ 利用 1 人当たり貸出点数は、平成 23（2011）年度から現在まで約 3.3 点/人と横ばいで推移しています。

<コスト状況>

- ④ 貸出 1 点当たりのコストパフォーマンスは、金子分館と藤沢分館で約 4 倍の差があります。
- ⑤ また、各施設の 1 人当たりコストパフォーマンスは、平成 24（2012）年度比べ 2 倍から 3 倍程度に増加しています。

4) 課題の明確化

- 本館は、市民ニーズに合わせた居場所としての施設づくりなど、新たなサービスの提供について検討する必要があります。
- 分館は、指定管理者と協力してサービスや機能向上を検討する必要があります。